

(様式－１)

工 事 名					令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事															金抜き設計書				
施 工 箇 所					安曇野市 室山アグリパーク																			
設 計 大 要										施 工 方 法					請 負									
■室山アグリパークの便所改築工事 ・公衆便所新築工事（木造 延べ面積：14.08㎡） ・既存便所解体工事（木造 延べ面積：11.11㎡） ・上記に伴う電気・機械設備工事一式 ■下水道本管布設工一式 ・公共枿設置工 A=1 箇所 ・マンホール工 組立マンホール工 A=4 箇所 ・舗装仮復旧 AS13F t=30 A=112.8㎡ ・舗装本復旧 AS20F t=50 A=183.8㎡										施 工 期 間					日間									
										契約年月日					令和 年 月 日									
										竣工予定年月日					令和 7 年 12 月 15 日									
										契約保証方法					金銭的保証									
										・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。														

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事						
内 訳 書						
A 共通仮設費		式	1			
B 直接工事費		式	1			
【純工事費】計						
現場管理費		式	1			
【工事原価】計						
一般管理費等		式	1			
【工事価格】計						
消費税相当額		式	1			
設計工事費合計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A 共通仮設費						
準 備 費						
仮 設 建 物 費						
工 事 施 設 費						
環 境 安 全 費						
動力用水光熱費		式	1			
屋外整理清掃費						
機 械 器 具 費						
整地そ の 他						
仮囲い	バリケードH=1.80m程度 5ヶ月	m	16.0			
交通誘導警備員B(昼間8時間)	建築荷揚工事等	人	10			
交通誘導警備員B(昼間8時間)	下水道工事中 昼間勤務 交代要員なし	人	30.0			
仮設トイレ設置(公園利用者用)	小便器(汲取り), 快適洋式便器(簡易水 栓)	ヶ月	7			
同上運搬費		式	1.0			
下水工事仮設材等の運搬	製品長12m以内 10km 往復運搬 深夜早朝割増 なし 0km 積込取卸費3000円 有料道路利用料	t	18.7			
技術管理料 管渠TVカメラ調査(未供用管)	φ150~250mm 管内清掃含まず	m	102.5			
重機運搬費	片道30km以内 バックホウ	往復	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 直接工事費						
I 建築工事		式	1			
II 電気設備工事		式	1			
III 機械設備工事		式	1			
B - 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I 建築工事						
1 直接仮設工事		式	1			
2 土工事		式	1			
3 事業工事		式	1			
4 鉄筋工事		式	1			
5 コンクリート工事		式	1			
6 木工事		式	1			
7 屋根・板金工事		式	1			
8 外壁サイディング工事		式	1			
9 建具工事		式	1			
10 ガラス工事		式	1			
11 左官・タイル工事		式	1			
12 塗装工事		式	1			
13 その他・雑工事・外構工事		式	1			
14 既存解体・撤去工事		式	1			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I 建築工事						
1 直接仮設工事						
水盛・遣り方	隅4カ所	ヶ所	4.0			
墨出し		m ²	14.1			
躯体養生費	ブルーシート程度	m ²	14.1			
床仕上養生		m ²	14.0			
サッシ養生		m ²	14.2			
方付け清掃費	工事期間中	m ²	15.7			
竣工時清掃費		m ²	15.7			
外部足場損料	クサビ緊結式, 手摺, 昇降階段共W600	m ²	76.0			
外部足場損料	クサビ緊結式, 手摺, 昇降階段共W900	m ²	32.0			
メッシュシート張り		m ²	108.0			
内部足場損料	脚立足場	m ²	14.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2 土工事						
根切	機械堀	m ³	21.1			
すき土		m ³	4.2			
床付け		m ²	23.1			
埋戻し		m ³	10.6			
残土処分	場外	m ³	10.4			
同上収集・運搬費	2 t ダンプ	回	7			
機械運搬費	往復	回	2			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3 地業工事						
砕石	再生 25-0	m ³	5.9			
防湿ポリエチレンシート	t =0.15	m ²	17.4			
床下断熱材	ポリスチレンフォーム ア) 50	m ³	13.5			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4 鉄筋工事						
鉄筋 D13	SD295	kg	121			
鉄筋 D10	SD295	kg	462			
同上加工組立		kg	583			
同上 運搬費		kg	583			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5 コンクリート工事						
合板型枠	合板ア) 12, 副資材	m ²	40.6			
型枠運搬費		m ²	40.6			
面木	面巾20	m	4.0			
コンクリート	捨 FC=18N	m ³	1.5			
同上打設手間		m ³	1.5			
コンクリート	基礎 FC=24N	m ³	7.75			
同上打設手間		m ³	7.75			
ポンプ車		回	4.0			
天端均し	セルフレベルング	m	21.2			
アンカーボルトセット	12φ1=400 座金共	ヶ所	29.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6 木工事						
木材（構造材）	長野県産 土台桧	m ³	0.25			
柱材	長野県産 桧	m ³	1.12			
梁材	長野県産 松	m ³	1.24			
一般材	ラス下含	m ³	1.20			
造作材	見切縁, 廻縁, 額縁等	m ³	0.11			
大工手間		式	1.0			
プレカット		式	1.0			
釘・金物・接着剤		式	1.0			
ライニング壁ふかし	D=150	m ²	4.0			
野地合板	A12	m ²	30.0			
MDF合板	A) 9	m ²	38.1			
構造用合板	A12	m ²	23.3			
構造用合板	A15	m ²	6.0			
針葉樹合板	A12	m ²	32.3			
耐水石膏ボード	A) 12.5	m ²	29.3			
化粧珪酸カルシウム板	A) 6	m ²	29.3			
パルプ混入珪酸カルシウム板	A12 軒天ボード	m ²	16.0			
化粧石膏ボード	A) 9.5 ジプトーン同等	m ²	10.1			

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
軒天通気金物		m	24.3			
断熱材	硬質ウレタンフォーム吹付 マ)100	m ²	51.0			
断熱材	グラスウール ア) 100 10 k	m ²	11.5			
防水紙	外壁	m ²	43.0			
防腐防蟻処理	腰部 20 k	缶	1.0			
窓額縁取付		m	13.6			
塩ビ廻縁		m	20.0			
ライニング	ℓ=1.0	ヶ所	3			
物入棚		ヶ所	2.0			
腰見切り縁		m	17.5			
建て方、荷揚費	ホイールクレーン20 t、オペレーター付き	式	1.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
7 屋根・板金工事						
カラーGL鋼板勘合式縦縦ハゼ葺き	TRX-4型 W455 H31 フッ素GL鋼板 t 0.4, 裏貼付	m ²	30.1			
ゴムアスルーフィング	t =1.0	m ²	30.1			
軒先伸縮唐草	フッ素G L 鋼板 T=0.4 (既製品)、面戸	m	6.7			
軒先水切り	フッ素G L 鋼板 T=0.4 (加工品)	m	6.7			
ケラバ唐草, 水切り	フッ素G L 鋼板 T=0.4 (加工品)	m	9.1			
水上唐草、水切り	フッ素G L 鋼板 T=0.4 (加工品)、面戸	m	6.7			
雪止アングル	L-50 x 50 亜鉛メッキ品 金物 (@455)	m	6.7			
破風・鼻隠し	フッ素GL鋼板 t =0.4, 2段	m	23.0			
運搬・荷揚費	4 t 車搬入、ミニラフターク レーン	式	1.0			
作図・施工副資材費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
8 外壁サイディング工事						
外壁サイディング	窯業系 ア) 16 木目調	m ²	38.1			
同上コーナー役物	l = 3.0	本	24.0			
止付け釘金物	平部、隅部	式	1.0			
ハットジョイナー	開口部共	本	20.0			
土台通気水切り	防鼠付, 出隅納共	m	15.6			
スターター	L = 3030	本	6			
施工費		m ²	38.1			
目地コーキング	ポリウレタン 10mm程度	m	52.6			
搬入運搬費		式	1			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
9 建具工事						
SD-1 額付スチール片引戸	アクリル樹脂焼付塗装, 自動閉鎖装置 3方枠, 鍵, マスターキー, 引手, 有効開 口900	セット	2.0			
取付工事費		セット	2.0			
金具現場取付		セット	2.0			
運搬費		式	1.0			
AD- 1	アルミ断熱サッシ, レバーハンドル, 2 ロック	セット	1.0			
PW-1	FIX樹脂サッシ, 付属品一式 W350	セット	1.0			
PW-2	FIX樹脂サッシ, 付属品一式 W640	セット	2.0			
搬入費		式	1.0			
TB-1	自動閉鎖装置, 表示錠大型サムターン 扉厚40, メラミン化粧板, 他付属品一 式	セット	1.0			
取付工事費		式	1.0			
運搬費		式	1.0			
法定福利費		式	1.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
10 ガラス工事						
SD-1	ポリカーボネート型クリア 5mm	枚	2.0			
	200×800					
小割板施工費		枚	2.0			
ガラス止コーキング	樹脂用シリコン6×6	m	8.0			
運搬費		式	1.0			
法定福利費		式	1			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
11 左官・タイル工事						
ラスモルタル金鰈	タイル下地	m ²	20.0			
コンクリート金鰈押え		m ²	3.7			
床防水モルタル金鰈	タイル下地	m ²	11.0			
磁器質床用タイル	300角	m ²	6.1			
磁器室床用段鼻タイル	300x150	m	8.1			
視覚障害者用誘導タイル	300角	m ²	1			
磁器質壁用タイル	100角	m ²	20.0			
磁器質床用モザイクタイル	50角	m ²	10.5			
汚垂石	900x600	ヶ所	1			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
13 その他 雑工事						
ライニング取合いコーキング	ポリウレタン 10mm程度	m	4.0			
ピクトサイン	男・女・車椅子・ベビー・チャイルド 150角	ヶ所	5.0			
雨水処理砂利舗装	砕石25-0	ヶ所	1.0			
雨垂受け浸透枘	0.5×0.5×600程度, 透水シート, 砕石40-0	ヶ所	1.0			
地先境界ブロック取付	120×120×600程度					
	砕石、コンクリート、共	式	1.0			
インターロッキング取外し再取付補修	2.7㎡程度	式	1.0			
電気配線部分掘削復旧工事	アスファルト撤去・処分は下水工事含む	式	1.0			
産廃収集・運搬費	コンテナ4㎡	回	2.0			
同 処分費	混合廃棄物	㎡	7.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
14 既存建物解体工事						
既存トイレ上屋解体		m ²	11.1			
解体前機器類撤去		m ²	11.1			
基礎、土間コンクリート解体	便槽撤去共	m ²	16.3			
基礎、土間モルタルはつり撤去	アスベスト含有散水実施	m ²	16.3			
重機回送費	ユニック	回	2.0			
産廃収集・運搬費	コンテナ4m ³	回	2.0			
モルタル収集・運搬	アスベスト含有 0.7m ³	回	1.0			
同 処分費	混合廃棄物	m ³	7.0			
同 処分費	コンクリート	t	7.5			
モルタル処分費	アスベスト含有最終処分費	m ³	0.7			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
Ⅱ 電気設備工事						
1 幹線設備		式	1.0			
2 電灯・コンセント設備		式	1.0			
3 弱電設備		式	1.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1 幹線 設備						
住宅分電盤	BFG 8642	面	1			
既設盤改修	MCB3P40A 取付	個所	1			
配管	HIVE36	m	2.0			
配管	PE36	m	1.0			
配管	FEP40	m	63.0			
異種管接続材	HIVE36-FEP40	個	1			
異種管接続材	PE36-FEP40	個	1			
ケーブル	EM-CE 8mm2-3	m	59.0			
ケーブル	EM-IE5. 5mm2	m	6.0			
位置ボックス	3連用 P共	個	1			
プールボックス	100□×100	個	1			
プールボックス	200□×200 WP SUS	個	1			
埋設シート	W=150 ダブル	m	46.0			

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
コア抜き	70φ	個所	8			
防水処理（コンクリート打ち）	0.15×0.15×0.15	個所	8			
呼び線	1.2mm	m	63.0			
土工事	掘削					
土工事	ASカット 撤去					
土工事	AS搬出処理					
接地	ED	個所	1			
接地埋設票	ED	個所	1			
既存盤改修（撤去工事）	MCB3P40A 撤去	個所	1			
ケーブル撤去	CV3.5mm ² -2C	m	63.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2 電灯・コンセント設備						
照明器具	DL1	台	2			
照明器具	DL2	台	1			
照明器具	DL3	台	1			
照明器具	BL	台	2			
照明器具	WBL	台	3			
配管	PF16	m	3.0			
配管	PF22	m	31.0			
ケーブル	E M-E EF1.6mm-2C	m	22.0			
ケーブル	E M-E EF1.6mm-3C	m	11.0			
ケーブル	E M-E EF2.0mm-3C	m	63.0			
ケーブル	エコキャプタイヤケーブル 3.5mm2-3C	m	2.0			
位置ボックス	中四角 浅型 P共	個	19			
位置ボックス	大四角 浅型 P共	個	2			

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
配線器具（埋込）	人感センサー 0A076225P1	個	3			
配線器具（埋込）	照度センサー	個	1			
配線器具（埋込）	1P15A x1 P共	個	1			
配線器具（埋込）	2P15A x1 P共	個	2			
配線器具（埋込）	2P15A x2 接地極 接地端子付き P共	個	5			
配線器具（露出）	2P15A x2 接地極 接地端子付き P共	個	1			
プレート	ノズル 大	枚	2			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3 弱電設備						
非常警報	パトライト RFT-10A-R	台	1			
受け台	RF-001	個	1			
押し釦	WN4500 P共	個	1			
防犯カメラ	WV-S1536	台	1			
カメラ取付金具	WV-Q120	個	1			
ACアダプター	WV-PS16	個	1			
S Dカード	256GB	個	1			
カメラ取付金具電源部収容ボックス	WB-3A0	個	1			
配管	PF22	m	2.0			
配管	PF28	m	3.0			
ケーブル	エコキャプタイヤケーブル 2mm2-3C	m	4.0			
位置ボックス	中四角 浅型 P共	個	3			
位置ボックス	大四角 深型 P共	個	1			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
Ⅲ 機械設備工事						
1 衛生機器設備		式	1.0			
2 給水設備工事		式	1.0			
3 排水設備工事		式	1.0			
4 下水道本管布設工事		式	1.0			
6 暖房設備工事		式	1.0			
7 換気設備工事		式	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1 衛生機器設備						
男子トイレ						
掃除口付床排水大便器・密結タンク	参考TOTO CS597BCS・SH596BAYR	セット	1.0			
ウォシュレット WLアプリコットP AP2	参考TOTO TCF5831AU	台	1.0			
スペア付き紙巻き器（棚付）	参考TOTO YH191KL	個	1.0			
シングルフック	参考TOTO YKH20R	個	2.0			
多用途手すり L型	参考TOTO T113BL9・T110D3R	個	1.0			
ベビーチェア コーナー設置タイプ	参考TOTO YKA16S一式	台	1.0			
壁掛壁排水自動洗浄小便器	参考TOTO UFS900WR	台	1.0			
小便器用手すり	参考TOTO T113BU22一式	個	1.0			
壁掛洗面器	参考TOTO L270CM・ TLE28SS1A・TLDP2105JA	セット	1.0			
耐食鏡 盗難防止形350×450	参考TOTO YM3545FE	枚	1.0			
横水栓	参考TOTO T28AKUH13	個	1.0			
便座クリーナー	参考サラヤ CS-SC-460R	個	1.0			
多目的トイレ						
掃除口付床排水大便器・密結タンク	参考TOTO CS597BCS・SH596BAYR	セット	1.0			
ウォシュレット WLアプリコットP AP2	参考TOTO TCF5831AU	台	1.0			
スペア付き紙巻き器（棚付）	参考TOTO YH191KL	個	1.0			
シングルフック	参考TOTO YKH20R	個	1.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
多用途手すり L型	参考TOTO T113BL9・T110D3R	個	1.0			
可動式手すり はね上げ・ロック付L型	参考TOTO T113BL9・T110D3R	個	1.0			
ベビーシート	参考TOTO YKA25N・ YPH62018W2R・T110D28	台	1.0			
壁掛洗面器	参考TOTO L270CM・ TLE28SS1A・TLDP2105JA	セット	1.0			
耐食鏡 盗難防止形450×600	参考TOTO YM4560FE	枚	1.0			
横水栓	参考TOTO T28AKUH13	個	1.0			
便座クリーナー	参考サラヤ CS-SC-460R	個	1.0			
消火器・消火器各行箱	参考初田製作所 PEP-10N・HH-1M型	セット	1.0			
機器設置工事		式	1.0			
試運転調整費		式	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2 給水設備工事						
水道用耐衝撃性塩化ビニル管布設工	地中埋設 HIVP20	m	5.7			
不凍栓取付費	Φ20	本	2.0			
水道用内外面塩化ビニルライニング鋼管布設工	便所 VD20	m	17.1			
水道用塩化ビニルライニング鋼管	便所 VB20	m	2.5			
保温工	隠ぺい グラスウール保温筒	m	2.5			
既設給水管止水栓取付工		箇所	1.0			
仮設水道設置工		式	1.0			
管明示シート工	安曇野市 上水 W=75	m	5.7			
土工費						
機械掘削・埋め戻し工		式	1.0			
通水試験工		式	1.0			
給水申請検査手数料	申請料含む	式	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3 排水設備工事						
硬質塩化ビニル管布設工事	地中配管 VU100	m	5.7			
硬質塩化ビニル管布設工事	便所配管 VP100	m	4.6			
硬質塩化ビニル管布設工事	便所配管 VP50	m	15.9			
小口径桝設置工	100-150 45L・90L H=1201~1500	個	2.0			
小口径桝設置工	100-150 YS45 H=1201~1500	個	2.0			
小口径桝設置工	100-150 YS45 H=801~1200	個	2.0			
小口径桝設置工	100-200 目皿トラップ桝	個	2.0			
排水金物取付	T5B 50	個	2.0			
床上掃除口取付	COA50	個	2.0			
土工費						
機械掘削・埋め戻し工	基礎内部掘削は給水工事に含む	式	1.0			
公共桝接続工	塩ビ管φ100	箇所	1.0			
公共桝既設流入管撤去・閉栓工事	掘削・埋め戻し工含む	式	1.0			
排水設備申請竣工検査手数料	申請料含む	式	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4 下水道本管布設工事						
1. 既存構造物撤去						
舗装版切断工	アスファルト舗装版 4cm	m	232.0			施工 第0-0001号表
舗装版破碎(バックホ直接掘削・積込)	4cm 排出ガス対策型1次基準	m ²	110.2			施工 第0-0003号表
ダンプトラック運搬(舗装版破碎工)	舗装版をバックホで直接掘削・積込 アスファルト殻 DID地区なし 7km 運搬路面状況 良好	m ³	4.4			施工 第0-0005号表
処分費	As掘削廃材	t	10.4			
小小計						
2. 本管土工						
機械掘削工(バックホ)	バックホ 山0.28(平0.20)m ³ 排ガス対型(第1次 基準値)	m ³	240.0			施工 第0-0007号表
機械投入埋戻工(バックホ)	礫質土[1.33] 123.2m ³ /100m ³ バックホ 山 0.28(平0.20)m ³ 排ガス対型(第1次基準値)発	m ³	150.0			施工 第0-0009号表
発生土運搬工(4t 積級、BH山0.28(平 0.20)m ³)	D I D区間無し 10.0km以下 土 砂 (0.00) 良 好	m ³	70.0			施工 第0-0011号表
残土処分費		m ³	70.0			
小計						
3. 基礎工						
碎石基礎工(機械投入施工)	バックホ 山0.28(平0.20)m ³ 10cm 排ガス対型 (第1次基準値) [標準]再生クラッシャー 40mm以	m ²	134.0			施工 第0-0013号表
小小計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4. 土留工（建て込み簡易土留）						
簡易土留建込工	掘削深 2.0m以下 バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準値)	m	141.1			施工 第0-0015号表
簡易土留建込工	掘削深 2.5m以下 バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準値)	m	141.1			施工 第0-0019号表
建込簡易土留賃料(1セット30m)	0.95m 2.12m 102.5m 1セット(30m)当りの 供用日数入力 5日 施工延長より使用回数	現場	1.0			施工 第0-0022号表
建込簡易土留賃料(1セット30m)	0.95m 2.12m 102.5m 1セット(30m)当りの 供用日数入力 5日 施工延長より使用回数	現場	1.0			施工 第0-0023号表
小小計						
5. マンホール工						
組立マンホール設置工	1号 深3m以下	箇所	4.0			
小型マンホール工(塩化ビニル製φ300)	深2m以下 本管径150・200	箇所	1.0			
1号マンホール 材料費		式	1.0			施工 第0-0024号表
小型マンホール工 鋳鉄製防護蓋設置費	手間のみ	箇所	1.0			
小型マンホール工(塩ビ φ300)底部会合	深2m以下 本管径150・200	箇所	1.0			
鋳鉄製マンホールふた(下水道用)	直接ふた 有効径φ300mm T-25 かぎ付	組	1.0			
底部工（組立式）既設マンホール	1号	箇所	1.0			施工 第0-0057号表
底部工（組立式）	1号	箇所	4.0			施工 第0-0059号表
小小計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6. 管布設工						
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	呼び径150	m	116.0			施工 第0-0073号表
硬質塩化ビニール管設置工	呼び径150	m	26.2			施工 第0-0074号表
埋設表示シート	W=150	m	116.0			
小小計						
7. 公共ます設置工						
インターロッキングブロック工	撤去及び再設置 設置 直線配置 厚8cm 砂(クッション用) 現場条件から算出 10cm 施工規模 100m2未満 夜間作業(20時～6時)なし 新品材料(不足分)の計上あり 4週8休以上 インターロッキングブロック標準品 厚さ 8 cm インターロッキングブロック標準品 厚さ 6 cm 砂 クッション用	m	35.0			施工 第0-0075号表
小規模土工 掘削積込[バックホウ]	バックホウ 山積0.28m3 地山の掘削積込 排出ガス対策型1次基準	m ³	38.9			施工 第0-0030号表
砂基礎工(機械投入施工)	砂[1.26] バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対策型(第1次基準値) [標準]洗滌砂	m ³	7.9			施工 第0-0032号表
バックホウ投入工(バックホウ)	バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対策型(第1次基準値)	m ³	7.9			施工 第0-0034号表
小型マンホール工(塩ビφ300)底部会合	深2m以下 本管径150・200	箇所	1.0			
塩化ビニル製ます設置工[材工共]	市場単価 ます(径200)	箇所	1.0			
硬質塩化ビニル管設置工	管径 150mm 20m以上 時間的制約なし 夜間作業(20時～6時)なし 4週8休以上	m	26.2			施工 第0-0074号表
小型マンホール工 鋳鉄製防護蓋設置費	手間のみ	箇所	1.0			
小口径マンホール鉄蓋(塩ビ製φ300用)保護鉄蓋(台座込)ロック式	T-14 一般型	箇所	1.0			
公共樹保護鉄蓋	T-25 径200用	個	2.0			

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
蓋設置工 (鑄鉄製防護蓋)		箇所	2.0			施工 第0-0076号表
小計						
8. 舗装工						
下層路盤工(歩道)	下層路盤 20cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型2次基準再生クラッシャーラン 40mm以下	m ²	112.8			施工 第0-0036号表
上層路盤工(歩道)	上層路盤 10cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型2次基準粒調砕石 25mm以下	m ²	112.8			施工 第0-0039号表
アスファルト舗装工(人力)	3cm 車道・路肩 プライムコート 砂散布有り 夜間単価採用しない [2.35] 粗粒度及び密粒度As	m ²	112.8			施工 第0-0040号表
小計						
9. 舗装本復旧	(管路掘削幅+影響幅30cm*2)					
舗装版切断工	アスファルト舗装版 4cm	m	240.3			施工 第0-0001号表
舗装版破碎(バックホ直接掘削・積込)	4cm 排出ガス対策型1次基準	m ²	183.8			施工 第0-0003号表
ダンプトラック運搬(舗装版破碎工)	舗装版をバックホで直接掘削・積込 アスファルト殻 DID地区なし	m ³	7.4			施工 第0-0047号表
As掘削廃材	共和興業(株)	t	17.3			
不陸整正	路盤材(補足材)あり 2cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型1	m ²	183.8			施工 第0-0048号表
アスファルト舗装工(機械)	5cm 車道・路肩 3.0m<施工幅 プライムコート 砂散布有り 夜間単価採用しない 排出ガス対策	m ²	183.8			施工 第0-0052号表
小計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
10. 擁壁法面巻き立てコンクリート						
型枠工(張りコンクリート工)	縦排水溝	m ²	6.5			施工 第0-0077号表
鉄筋組立	縦排水溝	個所	1.0			施工 第0-0081号表
無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設	普通車運搬生コン 30-12-25(20)-N (W/C=55%以下)	m ³	1.0			施工 第0-0078号表
ポンプ車基本料		回	1.0			
小計						
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6 暖房設備工事						
EPH-1 パネルヒーター	縦型 デジタル式サーモスタット内蔵	台	2.0			
	最大放熱量：1,800kJ/h					
	430kcal/h					
	1φ100V 500W					
機器据付費		式	1.0			
試験・調整費		式	1.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
7 換気設備工事						
FP-1 パイプファン	角形格子グリル 人感センサータイプ	台	2			
	ダクト接続パイプ径：150φ					
	風 量：145m ³ /h 1φ 100V 6.7W					
同バンドキャップ	深型フード ステンレス製 キヤリ付	個	2			
0A-1 給(排)気グリル	ネットフィルター付 風量調節機構付	個	2			
	ダクト接続パイプ径：150φ					
0A-2 給(排)気グリル	ネットフィルター付 風量調節機構付	個	2			
	ダクト接続パイプ径：100φ					
機器据付費		式	1			
試験・調整費		式	1			
スパイラルダクト	100φ	m	0.3			
スパイラルダクト	150φ	m	1.1			
計						

舗装版切断工
アスファルト舗装版 4cm

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号表

100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.417	人			
コンクリートカッタ バキューム式 切削深20cm級 [機-23]	0.417	日			施工 第0-0002号表
プレート (コンクリートカッタ) 径22インチ (56cm)	0.21	枚			
諸雑費 (率+まるめ)	56	%			
合計					
1m当り					

コンクリートカッタ バキューム式 切削深20cm級 [機-23]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ガソリン ；レギュラー スタンド	21	L			
コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm	1	供用日			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1日当り					

舗装版破碎(バックホ直接掘削・積込)
4cm 排出ガス対策型1次基準

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.123	人			
普通作業員	0.247	人			
バックホ 山0.45(平0.35)m3(排1次) [機-18]	0.123	日			施工 第0-0004号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m2当り					

バックホウ 山0.45(平0.35)m3(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	72	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(1次基準)] 標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)	1.62	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

ダンプトラック運搬(舗装版破碎工)					
舗装版をバックホで直接掘削・積込 アスファルト殻 DID地区なし 7km 運搬					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック(オンロード・ディーゼル) 10t積級 [機-22	6.11	日			施工 第0-0006号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

ダンプトラック(オンロード・ディーゼル) 10t積級 [機-22]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	76	L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	1.24	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック ; 10 t 良好	1.24	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

機械掘削工(バックホ)

バックホ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準値)

施 工 内 訳 表					
施工 第0-0007号表					
100 m3当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.9	人			
普通作業員	5	人			
バックホ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	11.1	時間			施工 第0-0008号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

バックホウ 山0.28(平0.20)m³(排1次)

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号表

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.16	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	5.9	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(1次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m ³)	1	時間			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1時間当り					

機械投入埋戻工(バックホ)

礫質土[1.33] 123.2m3/100m3 バックホ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型

施 工 内 訳 表					
施工 第0-0009号表					
100 m3当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
発生土	133	m3			
バックホ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	7.6	時間			施工 第0-0008号表
タンバ 締固め	123.2	m3			施工 第0-0010号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

発生土運搬工(4 t 積級、BH山0.28(平0.20)m3)
D I D区間無し 10.0km以下 土 砂 (0.00) 良 好

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック 4 t 積級	0.8	日			施工 第0-0012号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

ダンプトラック 4 t 積級

施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	32	L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック ; 4 t 良好	1.29	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

砕石基礎工(機械投入施工)

バックホ 山0.28(平0.20)m3 10cm 排ガス対型(第1次基準値) [標準] 1

施 工 内 訳 表					
施工 第0-0013号表					
100 m2当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.701	人			
特殊作業員	0.908	人			
普通作業員	1.908	人			
再生クラッシャーラン 40mm以下	12	m3			
バックホ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	2.759	時間			施工 第0-0014号表
諸雑費 (率+まるめ)	2	%			
合計					
1m2当り					

バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排1次)

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号表

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	7.2	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(1次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	時間			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1時間当り					

簡易土留建込工
掘削深 2.0m以下 バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準)

施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号表

10 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.2	人			
特殊作業員	0.2	人			
普通作業員	0.4	人			
バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	1.1	時間			施工 第0-0016号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m当り					

バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排1次)

施 工 内 訳 表

施工 第0-0016号表

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	5.9	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(1次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	時間			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1時間当り					

簡易土留引抜工

掘削深 2.0m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊

施 工 内 訳 表					
施工 第0-0019号表					
10 m当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.12	人			
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.23	人			
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕賃料 ∴ 4.9 t吊（燃料油脂費含む）	0.12	日			
諸雑費 （まるめ）	1	式			
合計					
1m当り					

施 工 内 訳 表

建込簡易土留賃料(1セット30m)

施工 第0-0022号表

0.95m 2.12m 102.5m 1セット(30m)当りの供用日数入力 5日 施

1 現場当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込簡易土留機材賃料 (片面) 深 2.5 幅 3.0 未満 重量 14.6 t	150	日・m2			
たて込簡易土留機材賃料 (片面) 深 2.5 幅 3.0 未満 重量 14.6 t	150	日・m2			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1現場当り					

建込簡易土留賃料(1セット30m)

0.95m 2.12m 102.5m 1セット(30m)当りの供用日数入力 5日 施

施 工 内 訳 表

施工 第0-0023号表

1 現場当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込簡易土留機材賃料 (片面) 深 2.5 幅 3.0 未満 重量 14.6 t	150	日・m2			
たて込み簡易土留(修理損耗費) L=30m 深1.5~3.5m 幅3.0未満	150	m2			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1現場当り					

1号マンホール 材料費

施 工 内 訳 表

施工 第0-0024号表

1 式当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号マンホール 斜壁 上径 600 下径 900 高 300	2	個			
1号マンホール 斜壁 上径 600 下径 900 高 450	2	個			
1号マンホール く体ブロック 内径 900 mm 有効高 1200 mm	2	個			
1号マンホール く体ブロック 内径 900 mm 有効高 1500 mm	2	個			
1号マンホール 底版 外径 1100 mm 有効高 130 mm	4	個			
底部工 (組立式) 1号 インバート付底塊を使用しない 1.3m2 10cm 参考数量を計上 2cm 0.02円/m3 コンクリート	4	箇所			施工 第0-0067号表
底部工 (組立式) 1号 インバートのみ	1	箇所			施工 第0-0070号表
マンホール 調整リング 径 600 mm 有効高 100 mm	5	個			
マンホール 調整金具 調整高 25 mm まで	2	組			
マンホール 調整金具 調整高 45 mm まで	2	組			
下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 削孔代 2号 (I 種) ヒューム管用 径150用	9	箇所			
下水道用铸铁蓋 除雪用 T-25 径600	4	組			

1号マンホール 材料費

施 工 内 訳 表

施工 第0-0024号表

1 式当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蓋及び調整コンクリートブロック据付 調整コンクリートブロック使用する	4	組			施工 第0-0029号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1式当り					

施 工 内 訳 表

蓋及び調整コンクリートブロック据付
調整コンクリートブロック使用する

施工 第0-0029号表

1 組当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.13	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.26	人			
トラックレーン〔油圧伸縮ジブ型〕賃料 ∴ 4.9 t吊（燃料油脂費含む）	0.13	日			
諸雑費 （率＋まるめ）	6	%			
合計					
1組当り					

施 工 内 訳 表

小規模土工 掘削積込[バックホウ]

施工 第0-0030号表

バックホウ 山積0.28m3 地山の掘削積込 排出ガス対策型1次基準

10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ 山積0.28(平積0.2)m3(排1次) [機-18]	0.263	日			施工 第0-0031号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

バックホ 山積0.28(平積0.2)m3(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0031号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	38	L			
バックホ(クローラ型)[標準型・排対型(1次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	1.52	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

砂基礎工(機械投入施工)

砂[1.26] バックホウ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準値) [標

施 工 内 訳 表

施工 第0-0032号表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	7	人			
洗滌砂	126	m3			
バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	9	時間			施工 第0-0014号表
タンク 60~80 T=5h	3	日			施工 第0-0033号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

タンパ 60~80 T=5h

施 工 内 訳 表

施工 第0-0033号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ガソリン ；レギュラー スタンド	4.5	L			
タンパ (ランマ) 賃料 ； 質量 60~80 kg	1.38	日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

施工 第0-0034号表

100 m3当り

バックホ投入工(バックホ)

バックホ 山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第1次基準値)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
バックホ 山0.28(平0.20)m3(排1次)	7.6	時間			施工 第0-0008号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

施 工 内 訳 表

下層路盤工(歩道)

施工 第0-0036号表

下層路盤 20cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型2次基準再生

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.41	人			
普通作業員	1	人			
再生クワッシャー 40mm以下	25.4	m3			
振動ロー 搭乗式コンバインド型 3～4t(排1次) [機	0.373	日			施工 第0-0037号表
バックホ 山積0.11(平積0.08)m3(排2次) [機-28	0.373	日			施工 第0-0038号表
諸雑費 (率+まるめ)	3	%			
合計					
1m2当り					

振動ロー 搭乗式コンバインド型 3～4t(排1次) [機-28]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0037号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	11	L			
振動ロー [搭乗式・コンバインド型] 賃料 排ガス1次:質量3～4t	1.52	日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

バックホウ 山積0.11(平積0.08)m3(排2次) [機-28]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0038号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	22	L			
小型バックホウ [クローラ型] 賃料 排ガス2次: 山積 0.11 m3	1.8	日			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1日当り					

上層路盤工(歩道)

上層路盤 10cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型2次基準粒調

施 工 内 訳 表					
施工 第0-0039号表					
100 m2当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.41	人			
普通作業員	1	人			
粒調碎石 25mm以下	12.7	m3			
振動ロー 搭乗式コンパインド型 3～4t(排1次) [機	0.373	日			施工 第0-0037号表
バックホ 山積0.11(平積0.08)m3(排2次) [機-28	0.373	日			施工 第0-0038号表
諸雑費 (率+まるめ)	3	%			
合計					
1m2当り					

施 工 内 訳 表

アスファルト舗装工(人力)

3cm 車道・路肩 プライムコート 砂散布有り 夜間単価採用しない [2.35]

施工 第0-0040号表

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	1.6	人			
⑤再生アスファルト混合物 密粒度(13F) [再生材混入率50%以下]	7.544	t			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ローバントガイト式 0.5～0.6t [機-23]	0.4	日			施工 第0-0041号表
振動コンパクタ 前進型 40～60kg [機-23]	0.8	日			施工 第0-0042号表
諸雑費 砂散布費	3	%			
諸雑費 (率+まるめ)	17	%			
合計					
1m2当り					

振動ロー ハンドガイ式 0.5～0.6t [機-23]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0041号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
軽油 ;小型ローリー ハンドール給油	2	L			
振動ロー(舗装用)[ハンドガイ式] 運転質量0.5～0.6t	1.23	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

振動コンパクタ 前進型 40～60kg [機-23]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0042号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ガソリン レギュラー スタンド	3	L			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg	1.4	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

ダンプトラック運搬（10t積級）					
舗装版をバックホで直接掘削・積込 アスファルト殻 DID地区なし 10km 運搬					
100 m3当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック(オンロード・ディーゼル) 10t積級 [機-22	6.11	日			施工 第0-0006号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m3当り					

施 工 内 訳 表

不陸整正

施工 第0-0048号表

路盤材(補足材)あり 2cm 排出ガス対策型1次基準 排出ガス対策型1次

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.14	人			
粒調碎石 25mm以下	2.54	m3			
モータグレーダ(土工用) 3.1m(排1次) [機-18]	0.063	日			施工 第0-0049号表
ロートローラ マカダム 10～12t(排1次) [機-18]	0.063	日			施工 第0-0050号表
タイヤローラ(普通型) 8～20t(排1次) [機-18]	0.063	日			施工 第0-0051号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m2当り					

モータグレーダ（土工用） 3. 1m(排1次) 〔機-18〕

施 工 内 訳 表

施工 第0-0049号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	54	L			
モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型(第1次基準値 プレート幅3. 1m	1. 45	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

ロートロー マカダム 10～12t(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0050号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	30	L			
ロートロー[マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量10～12t締固め幅2.1m	1.47	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

タイヤローラ(普通型) 8～20t(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0051号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローラー パトロール給油	36	L			
タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量8～20t	1.49	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

アスファルト舗装工(機械)

施工 第0-0052号表

5cm 車道・路肩 3.0m<施工幅 プライムコート 砂散布有り 夜間単価採用

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.043	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.261	人			
⑤再生アスファルト混合物 密粒度(13F)[再生材混入率50%以下]	12.573	t			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
アスファルトフィニッシャ ホイル型 2.4～6.0m(排2次) [機-17]	0.043	日			施工 第0-0053号表
ロータリー マカダム 10～12t(排1次) [機-18]	0.043	日			施工 第0-0054号表
タイヤローラ(普通型) 8～20t(排1次) [機-18]	0.043	日			施工 第0-0055号表
諸雑費 砂散布費	10	%			
諸雑費 (率+まるめ)	19	%			
合計					
1m2当り					

アスファルトフィニッシャ ホイール型 2.4～6.0m(排2次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0053号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	62	L			
アスファルトフィニッシャ[ホイール型・排出ガス対策型(第2次基準) 舗装幅2.4～6.0m	1.75	供用日			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

ポトルマ マカダム 10～12t(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0054号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ポルマ パトル給油	35	L			
ポトルマ[マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量10～12t締固め幅2.1m	1.63	供用日			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1日当り					

タイヤローラ(普通型) 8～20t(排1次) [機-18]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0055号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1	人			
軽油 ;小型ローラー パトロール給油	41	L			
タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量8～20t	1.78	供用日			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

施工 第0-0056号表

仮設材等の運搬

製品長12m以内 10km 往復運搬 深夜早朝割増なし 0km 積込取卸費3

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運賃料金 鋼材の運送に関わる運賃料金	1	t			
仮設材積込み・取卸費 (積込+取卸) × 2	1	t			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1 t 当り					

施 工 内 訳 表

底部工（組立式）既設マンホール
1号 インバートのみ

施工 第0-0057号表

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル上塗り	1	m2			施工 第0-0058号表
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1箇所当り					

モルタル上塗り

施 工 内 訳 表

施工 第0-0058号表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官	0.33	人			
普通作業員	0.33	人			
モルタル練工	0.02	m3			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m2当り					

底部工（組立式）
1号

施 工 内 訳 表

施工 第0-0059号表

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生クラッシャーラン 40mm以下	0.24	m3			
コンクリート 小型構造物 人力打設 生コン 18-8-25(20)-BB 一般養生 無し	0.18	m3			施工 第0-0060号表
モルタル上塗り	0.84	m2			施工 第0-0061号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1箇所当り					

モルタル上塗り

施 工 内 訳 表

施工 第0-0061号表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官	0.33	人			
普通作業員	0.33	人			
モルタル練工	0.02	m3			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m2当り					

高圧洗浄車清掃工(強力吸引車4t使用)
一般管きょ内清掃 標準値を使用 5% Φ200mm 標準作業量を補正し

施 工 内 訳 表

施工 第0-0062号表

830 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧洗浄車 147kW 4t	1	日			施工 第0-0063号表
強力吸引車 154kW 4t	1	日			施工 第0-0064号表
給水車 132kW 4t	1	日			施工 第0-0065号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m当り					

高圧洗浄車 147kW 4t

施 工 内 訳 表

施工 第0-0063号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	39	L			
清掃技師(土木一般世話役)	1	人			
清掃作業員(特殊作業員)	1	人			
運転手(特殊)	1	人			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

強力吸引車 154kW 4t

施 工 内 訳 表

施工 第0-0064号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	48	L			
清掃作業員(特殊作業員)	1	人			
運転手(特殊)	1	人			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

給水車 132kW 4t

施 工 内 訳 表

施工 第0-0065号表

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 ;小型ローリー パトロール給油	34.8	L			
運転手(一般)	1	人			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1日当り					

施 工 内 訳 表

底部工（組立式）

施工 第0-0067号表

1号 インバート付底塊を使用しない 1.3m2 10cm 参考数量を計上

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート用骨材 砂利25mm(洗い)	0.156	m3			
コンクリート 小型構造物 人力打設 生コン 18-8-25(20)-BB (W/C=60%以下) 一般養生 無し	0.18	m3			施工 第0-0068号表
モルタル上塗り	0.84	m2			施工 第0-0069号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1箇所当り					

モルタル上塗り

施 工 内 訳 表

施工 第0-0069号表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官	0.33	人			
普通作業員	0.33	人			
モルタル練工	0.02	m3			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m2当り					

底部工（組立式）
1号 インバートのみ

施 工 内 訳 表

施工 第0-0070号表

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 人力打設 生コン 18-8-40-BB (W/C=60%以下) 一般養生 無し	0.18	m3			施工 第0-0071号表
モルタル上塗り	0.84	m2			施工 第0-0072号表
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1箇所当り					

モルタル上塗り

施 工 内 訳 表

施工 第0-0072号表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官	0.33	人			
普通作業員	0.33	人			
モルタル練工	0.02	m3			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m2当り					

施 工 内 訳 表

リブ付硬質塩化ビニル管設置工

管径 150mm 20m以上 時間的制約なし 夜間作業(20時～6時)なし 4t

施工 第0-0073号表

1 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径150	1	m			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m当り					

施 工 内 訳 表

硬質塩化ビニル管設置工 管径 150mm 20m以上 時間的制約なし 夜間作業(20時～6時)なし 4i					
施工 第0-0074号表					
1 m当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径150	1	m			
諸雑費 (まるめ)	0	式			
合計					
1m当り					

施 工 内 訳 表

施工 第0-0075号表

インターロッキングブロック工

撤去及び再設置 設置 直線配置 厚8cm 砂(クッション用) 現場条件から算出

100 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
インターロッキングブロック工 撤去 T=6cm、8cm 再利用目的	100	m2			
インターロッキングブロック工 設置 T=8cm 直線配置	100	m2			
インターロッキングブロック標準品 厚さ 8 cm	-102	m2			
インターロッキングブロック標準品 厚さ 6 cm	2	m2			
砂 クッション用	12.9	m3			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1m2当り					

蓋設置工（鋳鉄製防護蓋）

施 工 内 訳 表

施工 第0-0076号表

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.016	人			
普通作業員	0.016	人			
諸雑費 （まるめ）	0	式			
合計					
1箇所当り					

型枠工(張りコンクリート工)
縦排水溝

施 工 内 訳 表

施工 第0-0077号表

10 m2当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.2	人			
型わく工	1.6	人			
普通作業員	1.2	人			
諸雑費 (率+まるめ)	6	%			
合計					
1m2当り					

施 工 内 訳 表

無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設

施工 第0-0078号表

無筋構造物 一般養生 構造物・床版(10～300m3未満) 圧送管組立な

10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.14	人			
特殊作業員	0.4	人			
普通作業員	0.54	人			
生コン 30-12-25(20)-N (W/C=55%以下)	10.7	m3			
コンクリートポンプ車(トラック架装) プーム式 90～110m3／	1.03	時間			施工 第0-0079号表
養生工(一般養生)	10	m3			施工 第0-0080号表
諸雑費 (率+まるめ)	1	%			
合計					
1m3当り					

コンクリートポンプ車(トラック架装) プーム式 90～110m³/h [機-3]

施 工 内 訳 表

施工 第0-0079号表

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	0.15	人			
軽油 ;小型ローリー バトル給油	13	L			
コンクリートポンプ車[トラック架装・プーム式] 圧送能力90～110m ³ /h	1	時間			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1時間当り					

養生工(一般養生)

施 工 内 訳 表

施工 第0-0080号表

10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.31	人			
諸雑費 (率+まるめ)	12	%			
合計					
1m3当り					

鉄筋工事

施 工 内 訳 表

施工 第0-0081号表

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工〔市場単価〕（1000kg当り） 一般構造物 10t未満 無 無 有 10%未満(補正 無) 現場閉所(通期) 有 異形棒鋼	100	kg			施工 第0-0082号表
ウェブレン D10 φ 1 5 0 用	25	個			
異形棒鋼 SD295A/SD295 D10	0.004	t			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1箇所当り					

施 工 内 訳 表

鉄筋工[市場単価] (1000kg当り)

施工 第0-0082号表

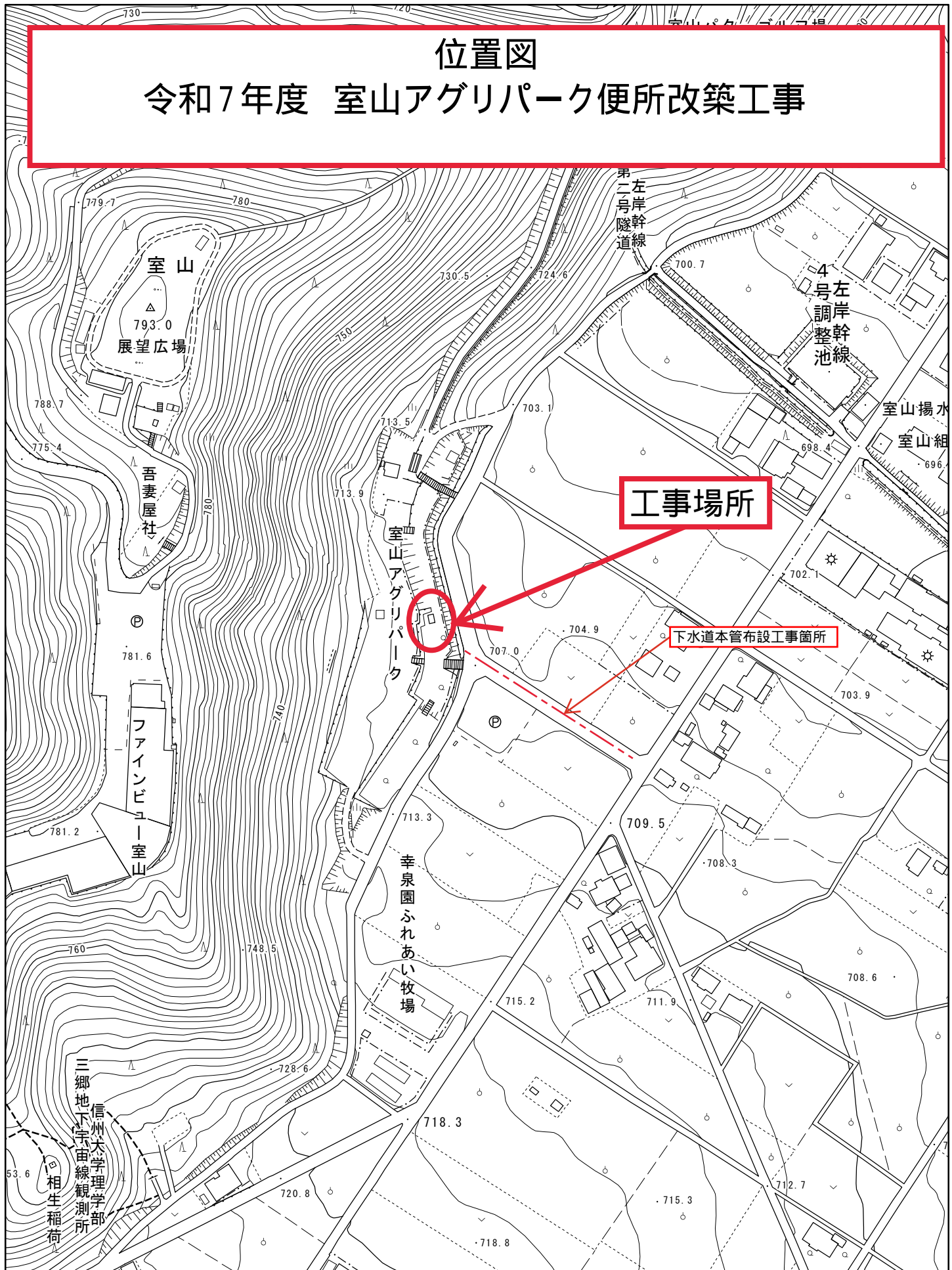
一般構造物 10t未満 無 無 有 10%未満(補正無) 現場閉所(通期) ヲ

1,000 kg当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼 SD295A/SD295 D10	1.03	t			
鉄筋工 加工・組立共	1	t			
諸雑費 (まるめ)	1	式			
合計					
1kg当り					

位置図

令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事



1:2,500

0 45 90 180 m

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称） 令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事

2. 工事場所： 安曇野市 室山アグリパーク

3. 工事概要： ■室山アグリパークの便所改築工事

- ・公衆便所新築工事（木造 延べ面積：14.08 m²）
- ・既存便所解体工事（木造 延べ面積：11.11 m²）
- ・上記に伴う電気・機械設備工事一式

■下水道本管布設工一式

- ・公共枳設置工 A=1箇所
- ・マンホール工

組立マンホール工 A=4箇所

- ・舗装仮復旧 AS13F t=30 A=112.8 m²
- ・舗装本復旧 AS20F t=50 A=183.8 m²

4. 工期 契約日 から 令和7年12月15日

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	協議とする
駐車場	同上
現場事務所	同上

(2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3)周辺施設利用者の安全に十分配慮すること。

(4)工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(5)本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。
(工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)

(6)工程は施設管理者、監督員と協議の上で決定し施工すること。施設管理者との協議により、施工期間及び施工時間の調整を行い施工すること。

(7)各官公庁手続きについて、

下水道本管布設工事に関わる公共マス設置届等及び道路占用申請等の申請書類を作成し提出すること。

また、事前に監督員・監理者に申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8)搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること

(9)残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

・建設発生土

【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
共和興業(株)	1,900 円/m ³	11 km	安曇野市穂高牧 766-1

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予想することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
イ. 完成写真を公表すること。
ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度

室山アグリパーク便所改築工事

図面リスト

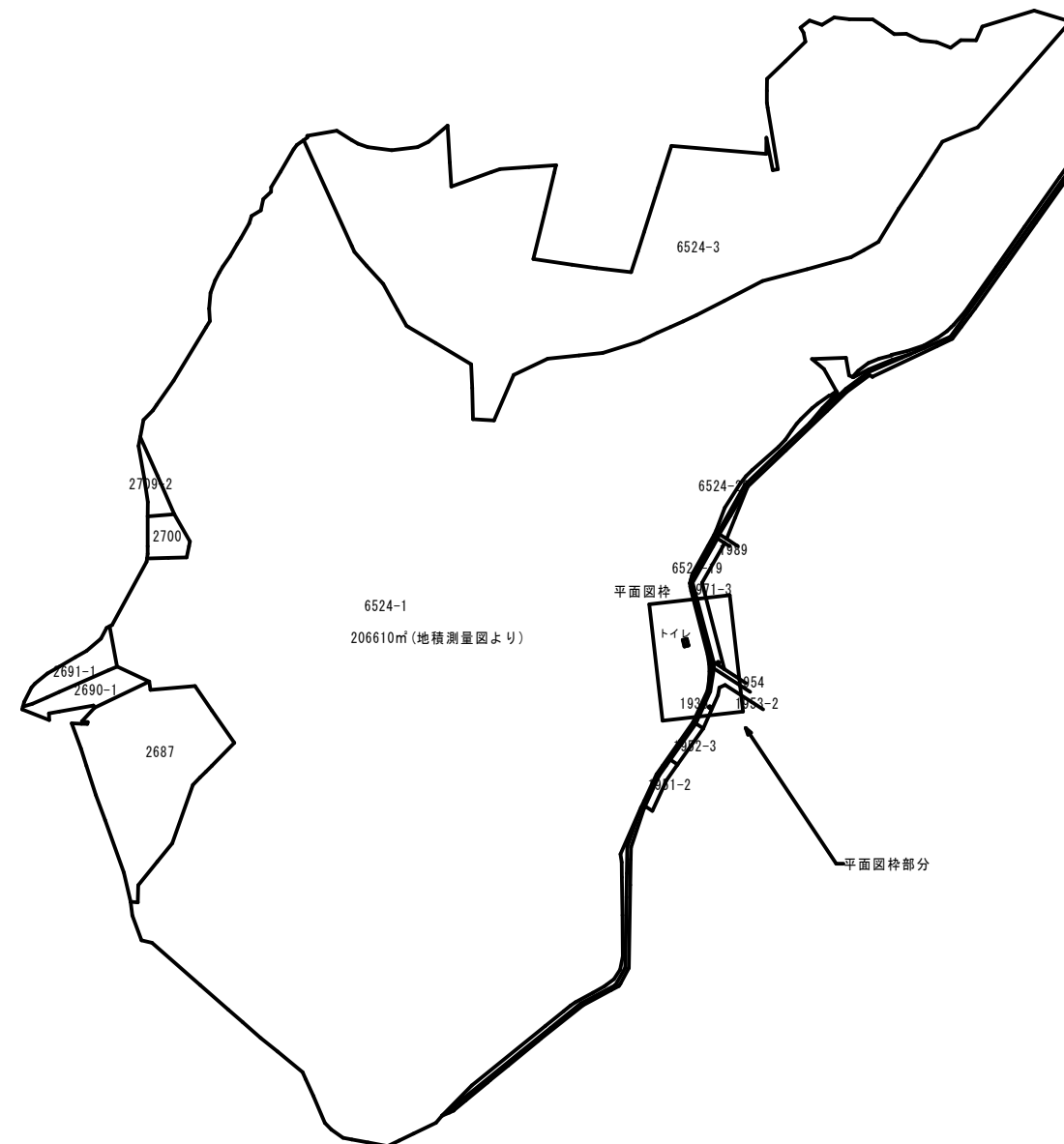
[illegible]

				検 印	工事名称	日 付	図面名 図面リスト	No.
					令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事		縮 尺	A-00

8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1. 建築用 コンクリートブロック	補強コンクリートブロック造 ※空洞ブロック16 空洞ブロック16-W (8. 2. 2)
		2. ALCパネル	横壁及び縦 ※横仕8. 3. 1及び下表による (8. 3. 2)
9	防水工事	1. アスファルト防水	適用箇所 ・地下二重壁 ・外壁 ・塀 高さ 2m以下 ・120 2mを超える ・150 ・衛生配管用裏積みブロック ・100 ・ ・ (8. 4. 2～8. 4. 6) (表8. 4. 2) (表8. 4. 3)
		2. 改質アスファルトシート防水	種 類 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 取付け工法 (種別) ・外壁パネル ・1180 ・1960 ※100 ・ ・A ・B ・C ・間仕切パネル ・ ※100 ・ ・B ・C ・D ・E ・屋根パネル ・980 ※100 ・ ※F種 (横仕8. 4. 5による) ・床パネル ・2350 ・3530 ※100 ・150 ・床パネルの耐火性能 (・1時間 ・2時間) 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※20 ・ (8. 4. 3) 伸縮目地への耐火目地材の充てん ・適用する (8. 4. 4)
10	石工事	1. 天然石張り	耐火性能 ・有り () ・無し (8. 5. 2～8. 5. 5) (表8. 5. 1) (表8. 5. 2)
		2. テラゾ張り	施工箇所 表面形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法種別 ・外壁パネル ※F ・F-R ・ ・A種 ・ ・D ・D-R ・ ・B種 ・ ・T ・T-R ・ ・ ・間仕切パネル ※F ・F-R ・ ・B種 ・ ・D ・D-R ・ ・C種 ・ ・T ・T-R ・ ・ 耐火性能 ・有り () ・無し
11	木工工事	①木材の品質	種 別 施 工 箇 所 ※A1-2 ・ ・A-2 ・ ・D-2 ・ ・B1-2 床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ ・ アスファルト ※3種 ・4種 (9. 2. 2) 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 ・ (9. 2. 2) ただし、ノンフロンのものである。 立り部の保護 ・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 (9. 2. 5) ・乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 (厚さ 15mm) 製造所 評価名簿による
		②樹 種	種別 ・AS-1 ・AS-2 厚さ () (9. 3. 2～9. 3. 4) (表9. 3. 1) 施工箇所 ・ (9. 4. 2) (9. 4. 3) (表9. 4. 1)
12	左官工事	3. 合成高分子系 M-Fingシート防水	種 別 厚さ (mm) 施 工 箇 所 仕 上 げ 塗 料 塗 り 使用分類 ・S-F1 ※1. 2 ・ ・シルバー ※非歩行 ・S-F2 ※2. 0 ・ ・カラー ・軽歩行 ・S-M1 ※1. 5 ・ ・ ・S-M2 ※1. 5 ・ ・ ・S-M3 ※1. 2 ・ ・
		4. 塗膜防水	種 別 施 工 箇 所 備 考 ・X-1 仕上り塗料塗り ・X-2 ・シルバー ・ ・カラー ・Y-1 地下外壁防水 Y-2工法の保護シート ・Y-2 ※適用する ・適用しない X-1の脱気装置 ・設ける 材質 () 設置数量 (m ² 当たり1箇所) (1～4についての保証) ③シーリング 防水工事施工者及び請負者連名の保証書 (10年) を提出すること。 (9. 6. 2) (表9. 6. 1)
13	屋根及びびとい工事	①長尺金属板葺き	種 別 厚さ (mm) 施 工 箇 所 仕 上 げ の 種 類 ・ ・

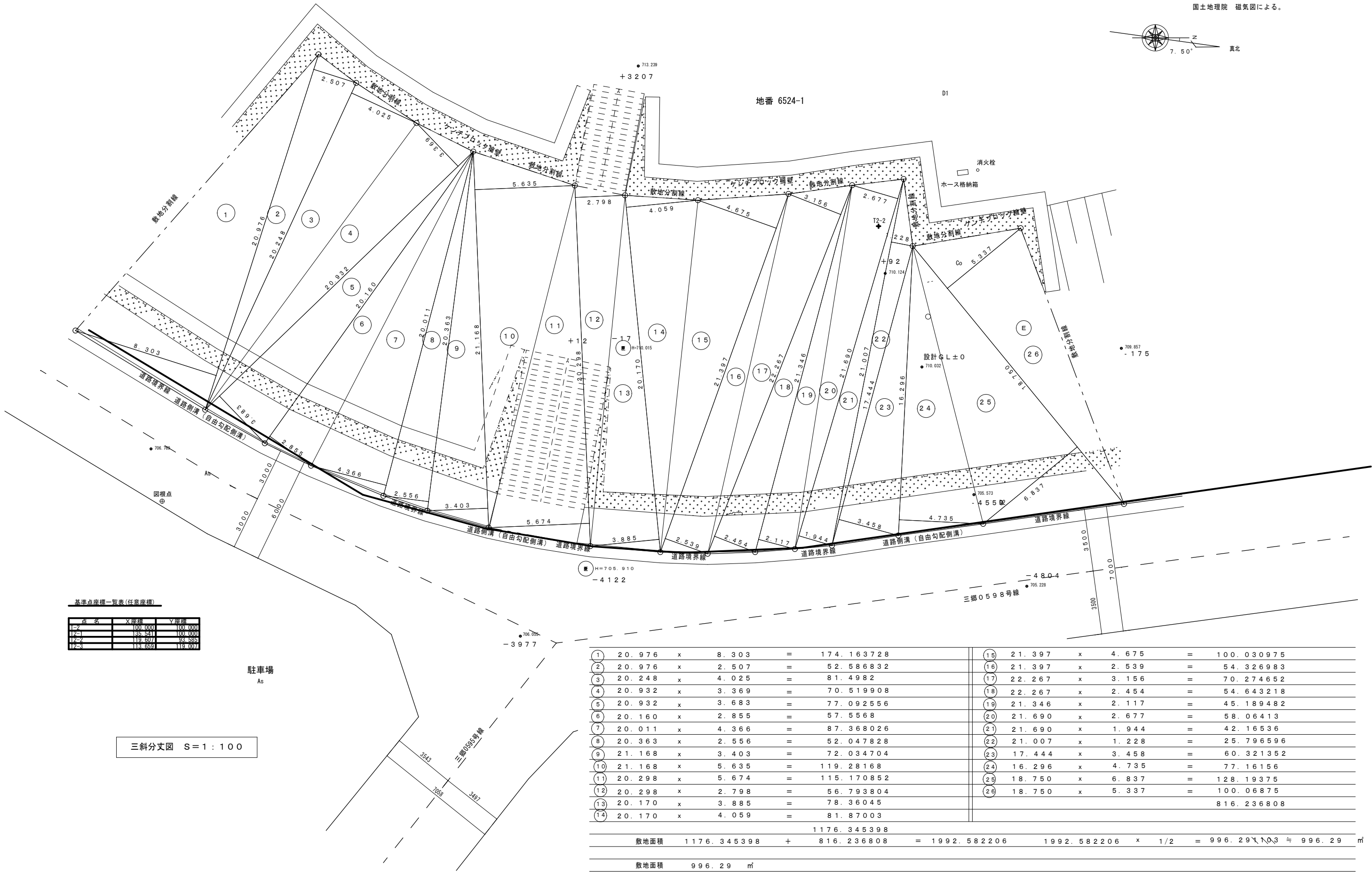
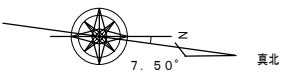
[illegible]

S=1 : 500



				校 印	工事名称	日 付	図面名 公園	N o .
					令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事	工事	縮 尺 1 : 5 0 0	A - 06

国土地理院 磁気図による。



基準点座標一覧表(任意座標)

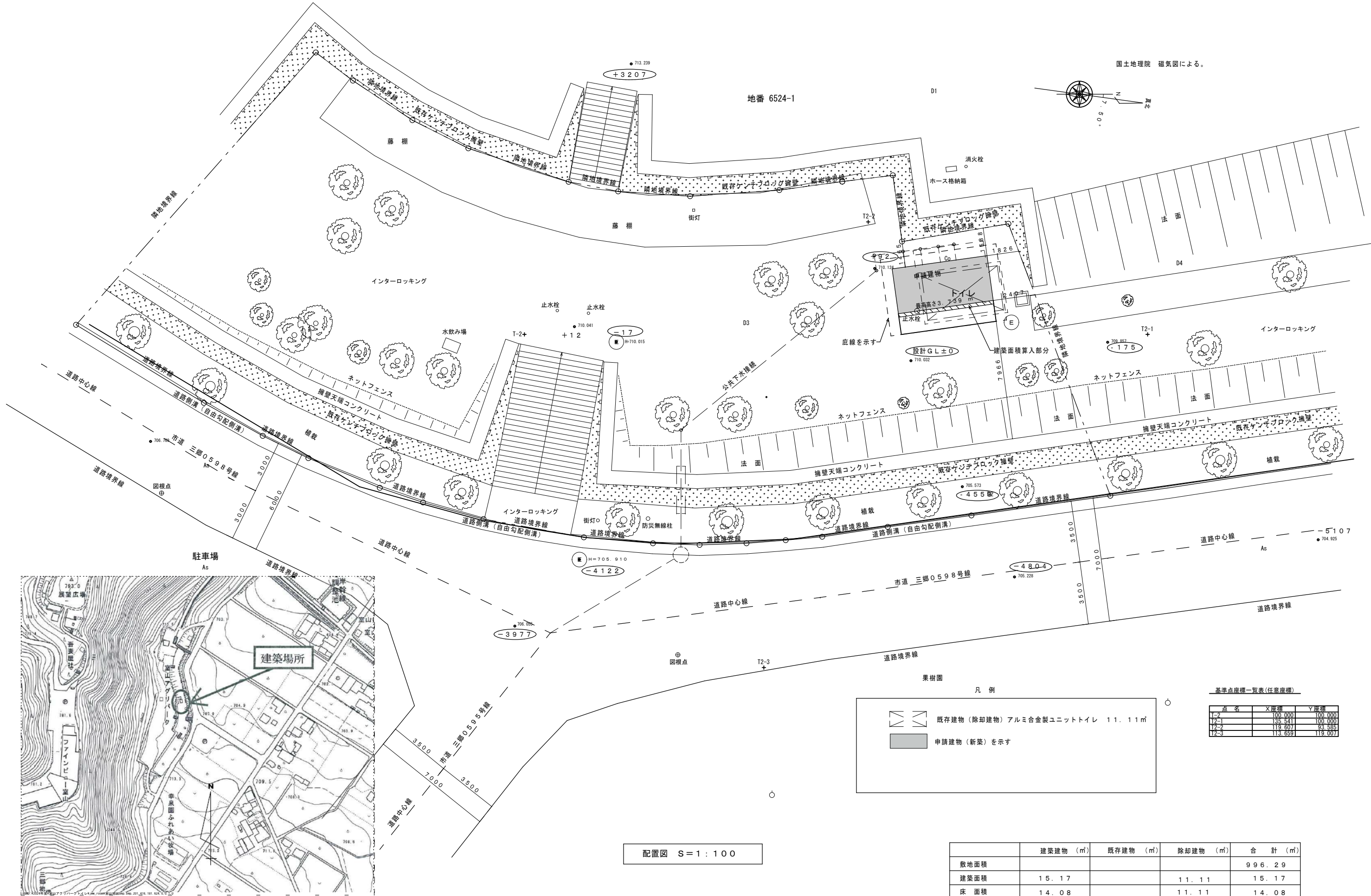
点 名	X座標	Y座標
127	100.000	100.000
127-1	185.541	100.000
127-2	119.307	13.355
127-3	118.650	119.000

駐車場
As

三斜分丈図 S=1:100

①	20.976	x	8.303	=	174.163728	⑬	21.397	x	4.675	=	100.030975
②	20.976	x	2.507	=	52.586832	⑭	21.397	x	2.539	=	54.326983
③	20.248	x	4.025	=	81.4982	⑮	22.267	x	3.156	=	70.274652
④	20.932	x	3.369	=	70.519908	⑯	22.267	x	2.454	=	54.643218
⑤	20.932	x	3.683	=	77.092556	⑰	21.346	x	2.117	=	45.189482
⑥	20.160	x	2.855	=	57.5568	⑱	21.690	x	2.677	=	58.06413
⑦	20.011	x	4.366	=	87.368026	⑲	21.690	x	1.944	=	42.16536
⑧	20.363	x	2.556	=	52.047828	⑳	21.007	x	1.228	=	25.796596
⑨	21.168	x	3.403	=	72.034704	㉑	17.444	x	3.458	=	60.321352
⑩	21.168	x	5.635	=	119.28168	㉒	16.296	x	4.735	=	77.16156
⑪	20.298	x	5.674	=	115.170852	㉓	18.750	x	6.837	=	128.19375
⑫	20.298	x	2.798	=	56.793804	㉔	18.750	x	5.337	=	100.06875
⑬	20.170	x	3.885	=	78.36045						
⑭	20.170	x	4.059	=	81.87003						
					1176.345398						

敷地面積	1176.345398	+	816.236808	=	1992.582206	1992.582206	x	1/2	=	996.291103	≒	996.29	m ²
敷地面積	996.29	m ²											



凡 例

既存建物（除却建物）アルミ合金製ユニットトイレ 11.11㎡

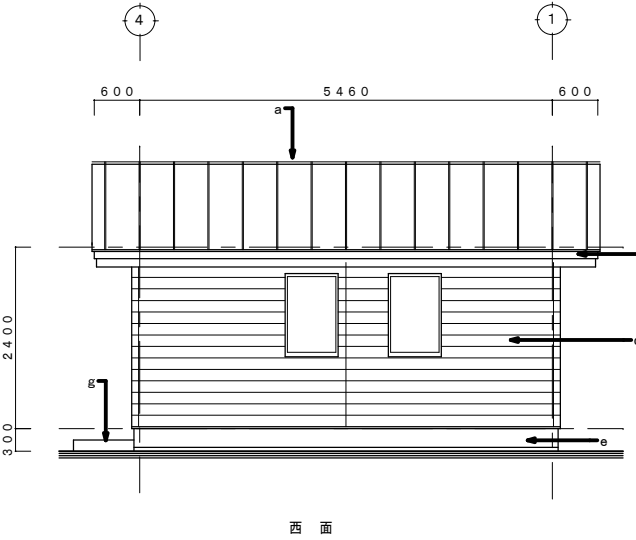
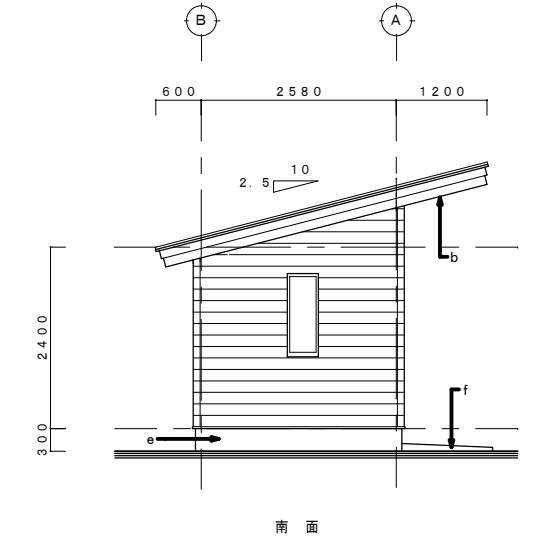
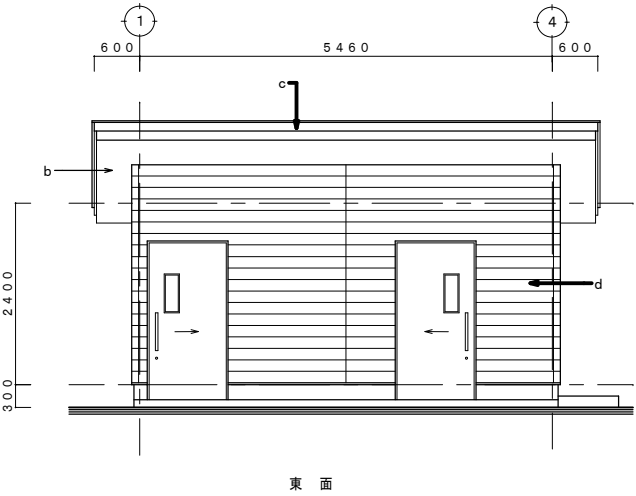
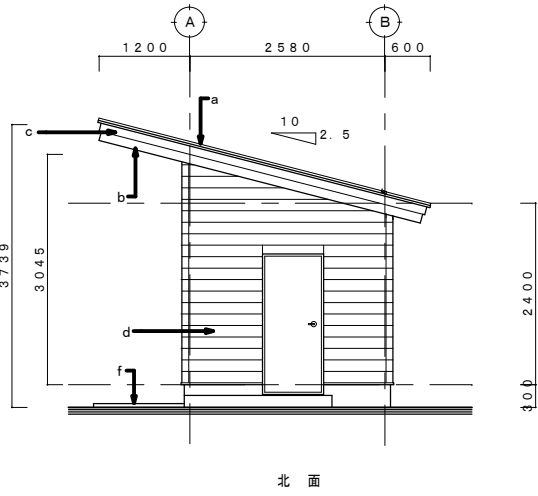
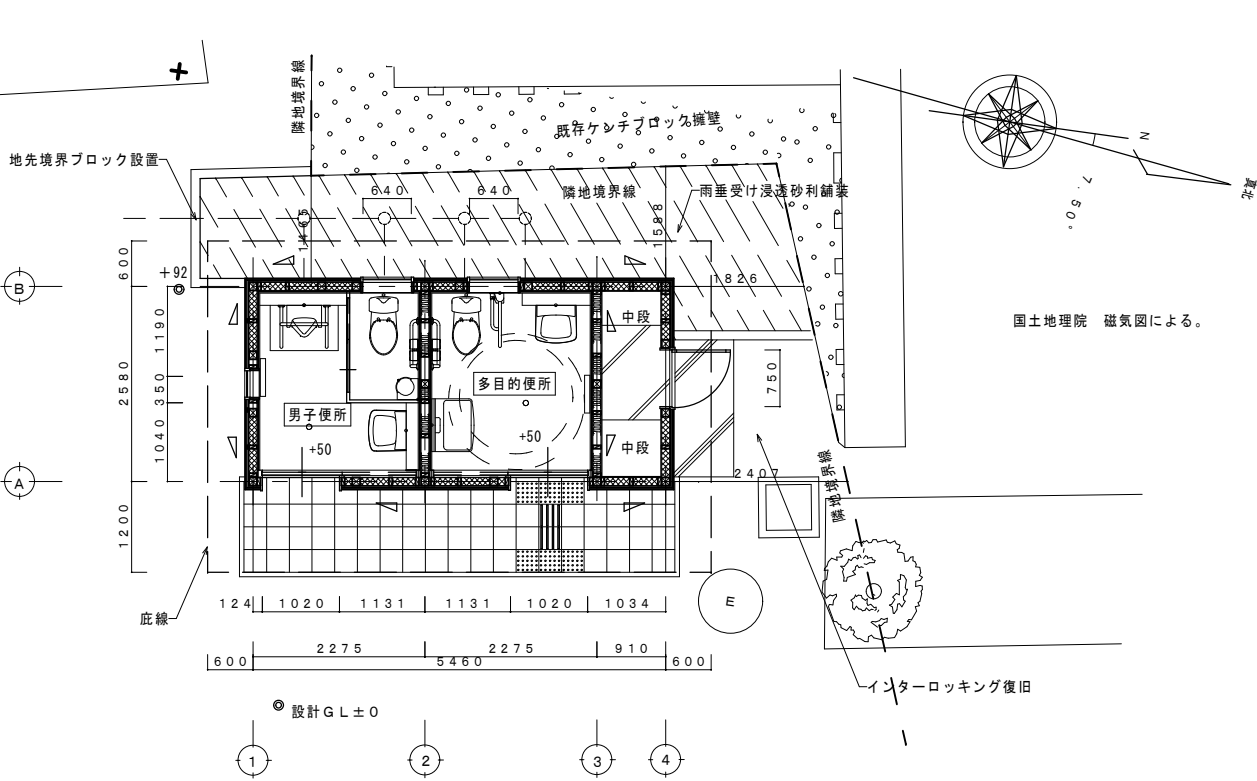
申請建物（新築）を示す

基準点座標一覧表(任意座標)

点 名	X座標	Y座標
T-2	100.000	100.000
T-1	135.541	100.000
T-2	119.607	93.585
T-3	113.659	119.007

	建築建物 (㎡)	既存建物 (㎡)	除却建物 (㎡)	合 計 (㎡)
敷地面積				996.29
建築面積	15.17		11.11	15.17
床 面積	14.08		11.11	14.08
延床面積	14.08		11.11	14.08

配置図 S=1:100



立面図 S=1:50

外 部 仕 上 表									
屋 根	a : カラーガルバリウム鋼板嵌合式緩葺き t=0.4 ハゼ高31mm 裏貼付 雨樋 : なし 雪止アングル : L-50*50 亜鉛メッキ								
軒 天	b : パルプ系繊維混入珪酸カルシウム化合物板 t=12 (不燃) 軒天通気金物								
破風・鼻隠し	c : カラーガルバリウム鋼板 (2 段) t=0.4								
外 壁	d : 構造用体力面材 t=9+防水紙+通気胴縁 t=18+窯業系サイディング T=16 土台通気水切り								
基 礎	e : コンクリート打放								
土 間	f : 磁器質床用タイル300角張り 視覚障害者誘導タイル300角 ノンスリップ段鼻タイル g : コンクリート打放金縁押え 面木								
建 具	窓 : 断熱樹脂サッシ (low-eペアガラス) 引戸 : 溶融亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装) T=0.8 開戸 : アルミ・樹脂断熱サッシ								
そ の 他	ピクトサイン (男子、女子、車椅子、チャイルド、ベビー)								

5.46

2.58

1.0

0.20

底線

①

②

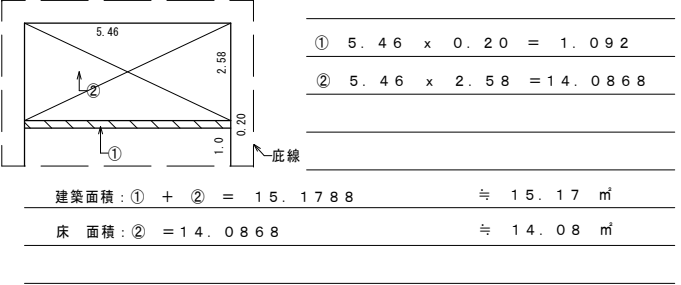
① 5.46 x 0.20 = 1.092

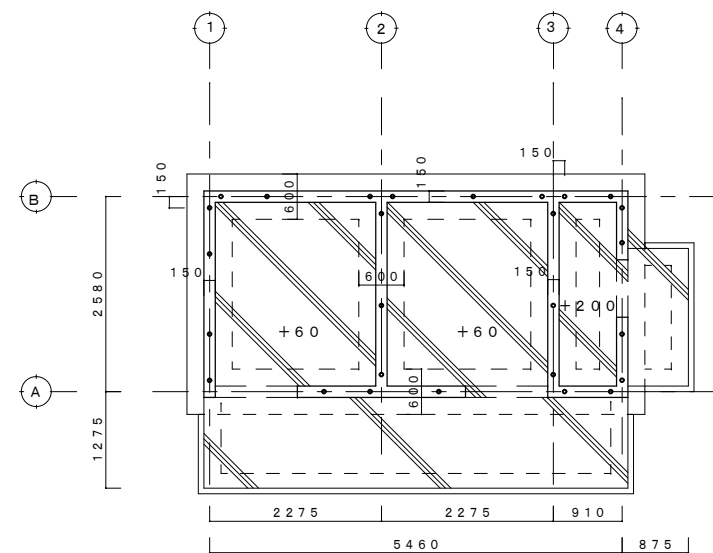
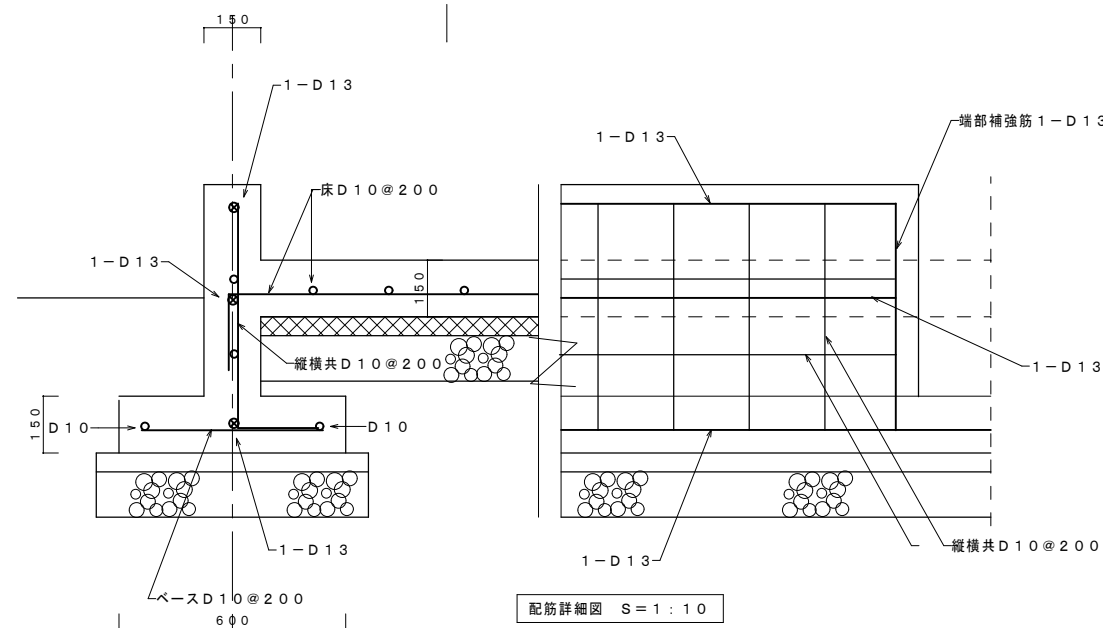
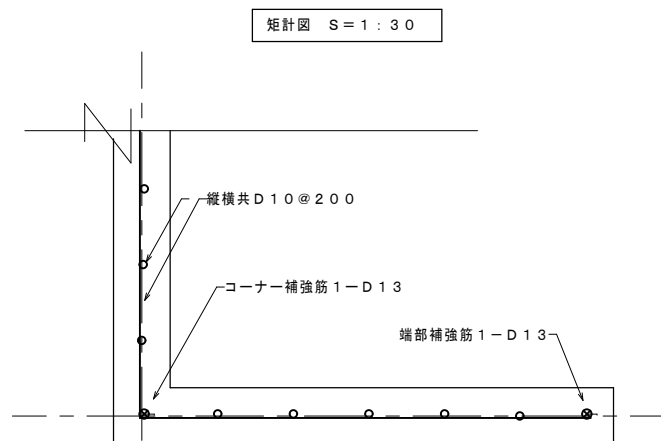
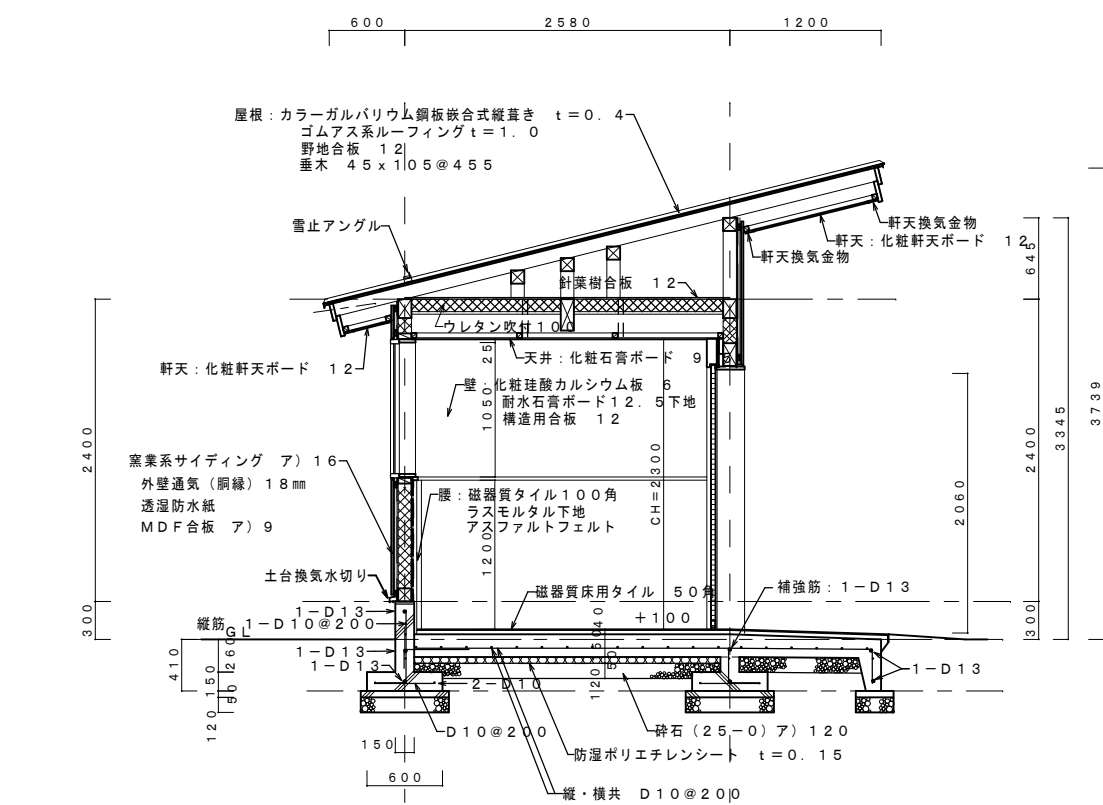
② 5.46 x 2.58 = 14.0868

建築面積 : ① + ② = 15.1788 ≒ 15.17 m²

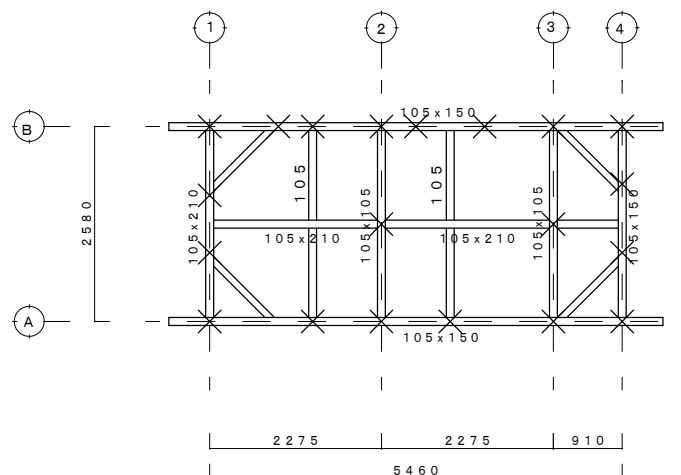
床 面積 : ② = 14.0868 ≒ 14.08 m²

内 部 仕 上 表									
■	室 名	床	床 高	巾 木	腰	内 壁	天 井	天 井 高	備 考
	男子便所	磁器質床用タイル 50角	GL+100	磁器質タイル	磁器質タイル 100角張り H=1200	化粧珪酸カルシウム板 6	化粧石膏ボード t=9.5	2300	汚垂石 トイレブース (巾木、H2000) フック 給気ガラリ
		コンクリート・モルタル下地			ラスモルタル下地	構造用合板12 (L手摺部15) +耐水石膏ボード12.5下地			
	多目的便所	磁器質床用タイル 50角	GL+100	磁器質タイル	磁器質タイル 100角張り H=1200	化粧珪酸カルシウム板 6	化粧石膏ボード t=9.5	2300	車椅子対応 消火器 (埋込ボックス共) フック 給気ガラリ
		コンクリート・モルタル下地			ラスモルタル下地	構造用合板12 (L手摺部15) +耐水石膏ボード12.5下地			
	物 入	コンクリート打ち放し 金ごて押え	GL+200	コンクリート表し	――	木材保護塗装 (外部用)	木材保護塗装 (外部用)	2300	中段 給気ガラリ
						針葉樹合板 t=12下地	針葉樹合板 t=12		
その他・備考		断熱材 : 床下 ポリスチレンフォーム t=50、壁 ウレタンフォーム吹付 t=100、天井 ウレタンフォーム吹付 t=100 界壁 グラスウール t=100 設備機器取付位置の下地補強 (建築工事) ピクトサイン							

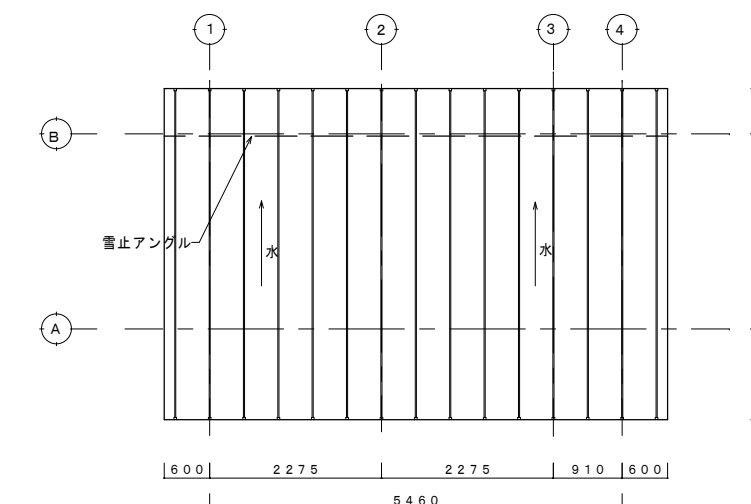




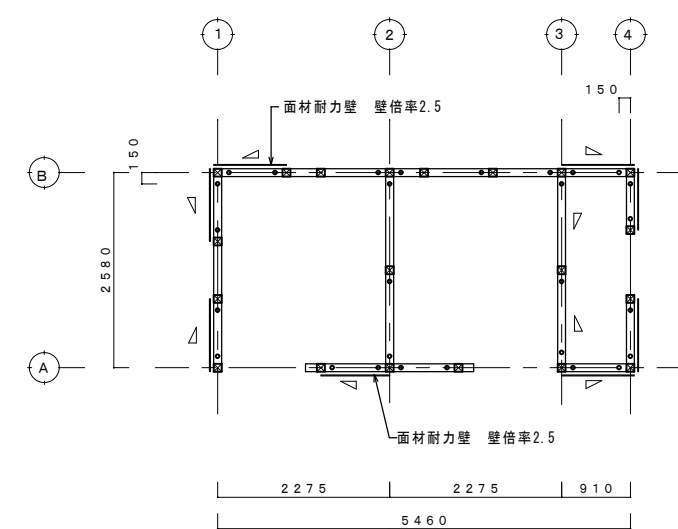
鉄筋 : S D 2 9 5
コンクリート : $F_c = 21 + 3 N$
• アンカーボルト : $12 \Phi 1 = 400$



梁・桁：県産材松 105 x 105 ~ 210
火打梁：県産材 90 x 90
間柱：県産材桧 45 x 105

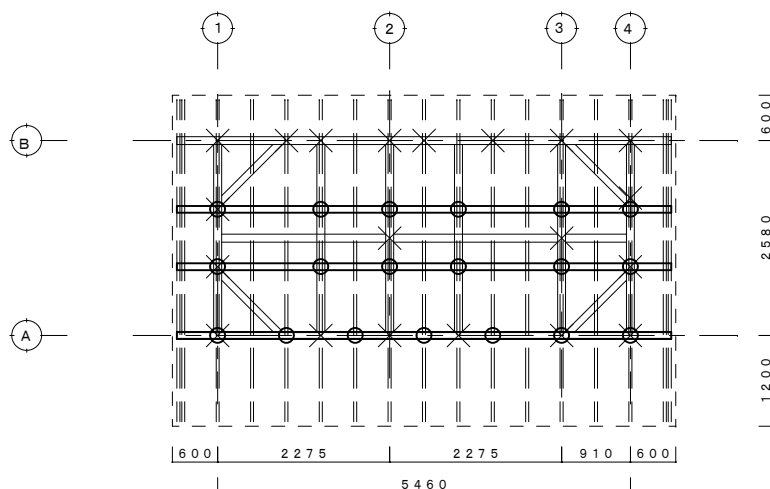


屋根：カラーガルバリウム鋼板嵌合式縦葺き t=0.4 ハゼ高31mm
雪止アングル：L-40×40メッキ品



・アンカーボルト 12Φ1=400 (芯ヨリ150)

土台:	県産桧	105*105
柱:	県産桧	105*105
筋違:	県産桧集成	45*90
間柱:	県産材桧	45x105



母屋：県産材唐松 90 x 90
束：県産材唐松 90 x 90 又は、柱破材使用
垂木：県産材唐松 45 x 105 @ 455

木 造 壁 量 計 算 表 （建築基準法施工令 第46条）

軸 組 の 種 類		倍 率	設 計 壁 量 の 小 計 （ X 単 位 壁 量 X ケ 所 ）			
			X 方 向		Y 方 向	
			2 階	1 階	2 階	1 階
4 5 × 9 0 の筋違いを有する軸組	2 . 0		9 1 × 4 ケ 7 2 8		9 1 × 2 ケ 3 6 4	
					1 2 9 × 2 ケ 5 1 6	
設 計 壁 量 の 合 計 cm			7 2 8		8 8 0	

IIV		IIV		IIV		IIV	
①+③		③+④		①+⑤		⑤+⑥	
必要壁量 cm		250		750			

2階必要壁量

2階床面積㎡
14.08

X

下表の数値
11

=

必要壁量 cm
154.88

-

①

②

X面立面必要壁量

2階見付面積㎡
5.0

X

下表の数値
50

=

必要壁量 cm
250

-

③

④

Y面立面必要壁量

2階見付面積㎡
15.0

X

下表の数値
50

=

必要壁量 cm
750

-

⑤

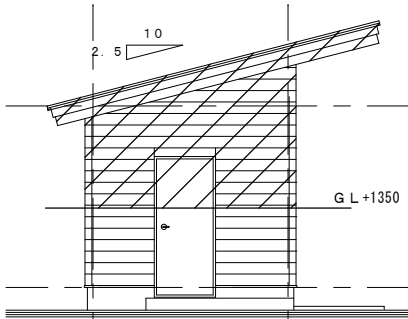
⑥

地震力によって定まる壁量

建築物	階の床面積に乗ずる数値 単位 cm/㎡					
	階数が 1の建築物	階数が 2の建築物の 1階	階数が 2の建築物の 2階	階数が 3の建築物の 1階	階数が 3の建築物の 2階	階数が 3の建築物の 3階
屋根を金属板、スレート等 軽い材料で葺いたもの	11	29	15	46	34	18
屋根を瓦等 重い材料で葺いたもの	15	33	21	50	39	24

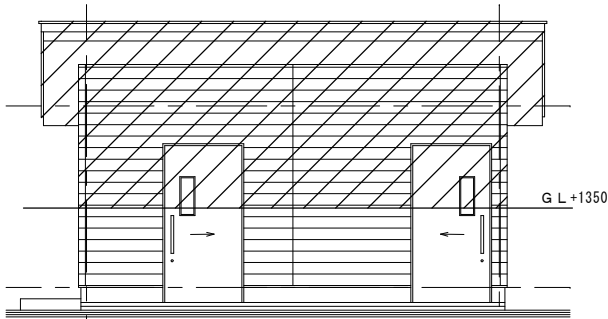
風圧力によって定まる壁量

	区 域	見付面積に乗ずる数値 単位 cm/㎡
	特定行政庁が過去の記録を考慮して しばしば強い風が吹くとして 規則で指定する区域	50を超え、75以下の範囲内 において 特定行政庁が 規則で定める数値
1		
2	(1)の区域以外の区域	50



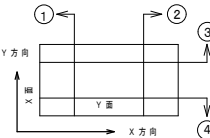
見附面積=5.0㎡

X面立面図



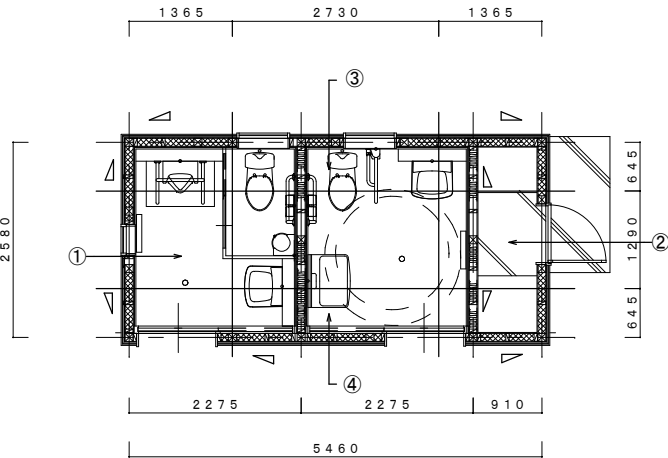
見附面積=15.0㎡

Y面立面図

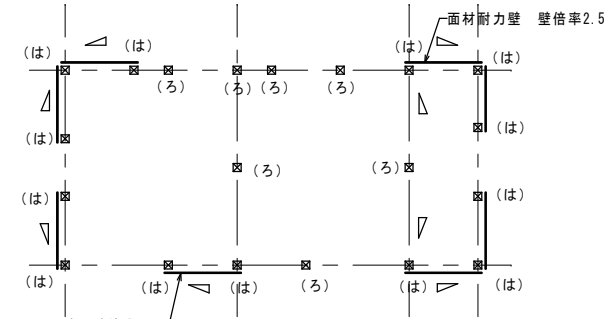


壁量充足率の検討

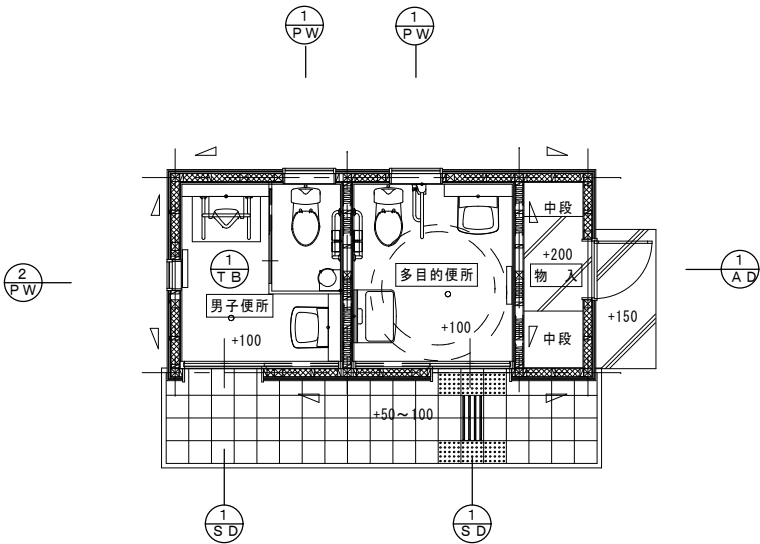
		1 階	2 階
側 端 部 分	①	床面積 1.365 x 2.580 = 3.5217 必要壁量 3.5217 x 11 38.7387 存在壁量 91 x 2ヶ x 2.0 364 壁量充足率 9.3963	床面積 必要壁量 存在壁量 壁量充足率
	②	床面積 1.365 x 2.580 = 3.5217 必要壁量 3.5217 x 11 38.7387 存在壁量 129 x 2ヶ x 2.0 516 壁量充足率 13.320	床面積 必要壁量 存在壁量 壁量充足率
	③	床面積 5.460 x 0.645 = 3.5217 必要壁量 3.5217 x 11 38.7387 存在壁量 91 x 2ヶ x 2.0 364 壁量充足率 9.3963	床面積 必要壁量 存在壁量 壁量充足率
	④	床面積 5.460 x 0.645 = 3.5217 必要壁量 3.5217 x 11 38.7387 存在壁量 91 x 2ヶ x 2.0 364 壁量充足率 9.3963	床面積 必要壁量 存在壁量 壁量充足率
判 定		壁率比 ①:② 0.7054 0.5以上である ∴ OK 壁率比 ③:④ 1.0 ∴ OK	壁率比



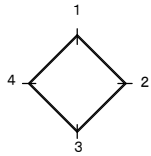
平面図



金物図

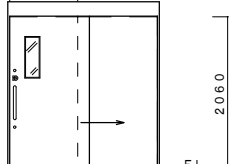
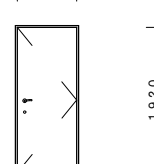
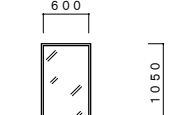
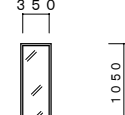


建具表キープラン

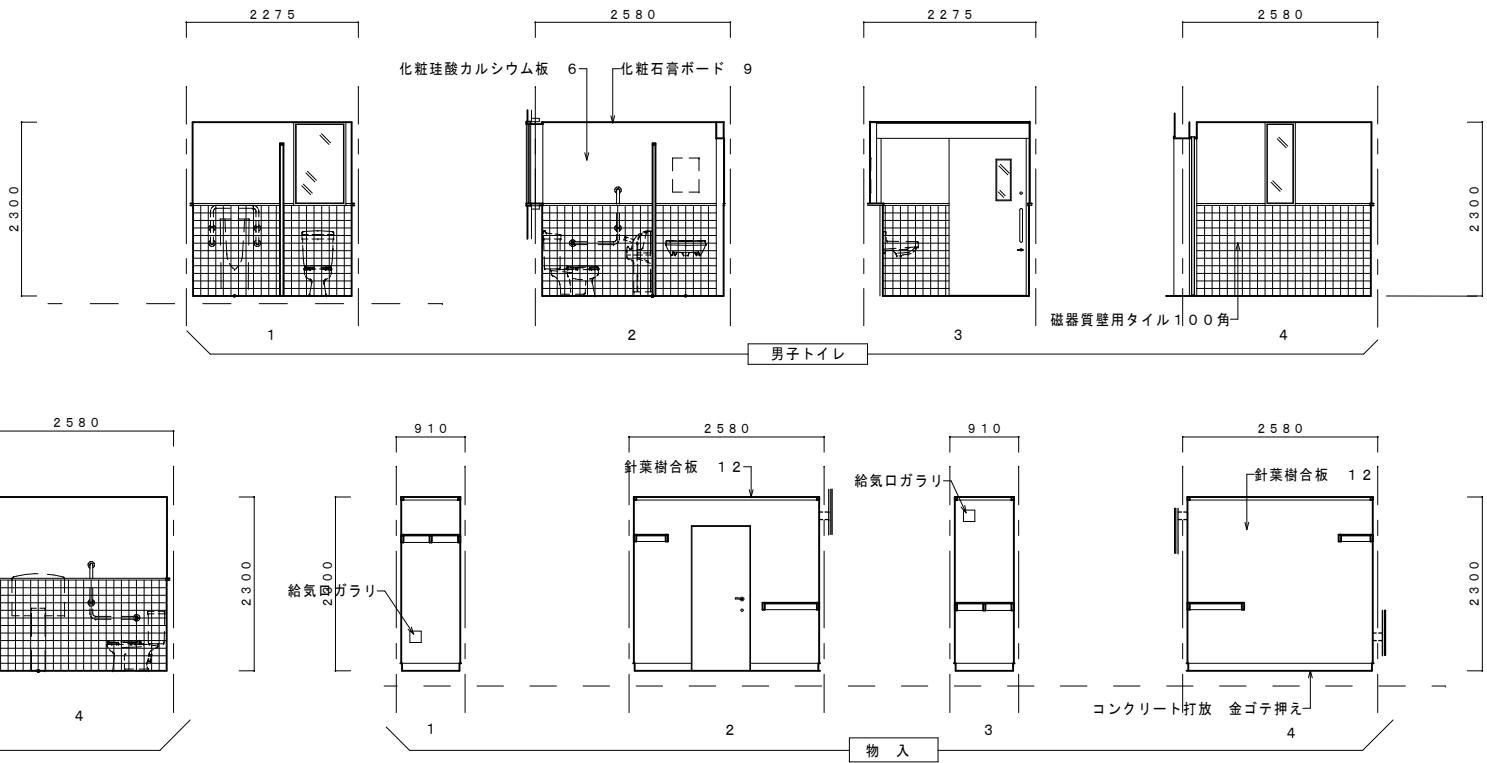


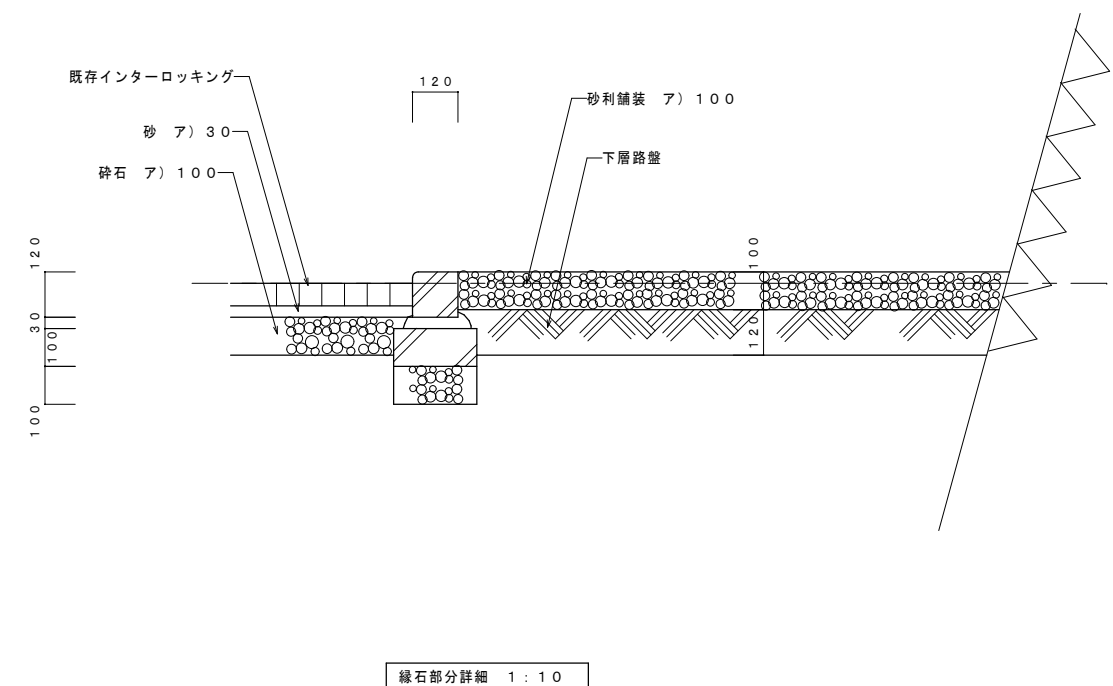
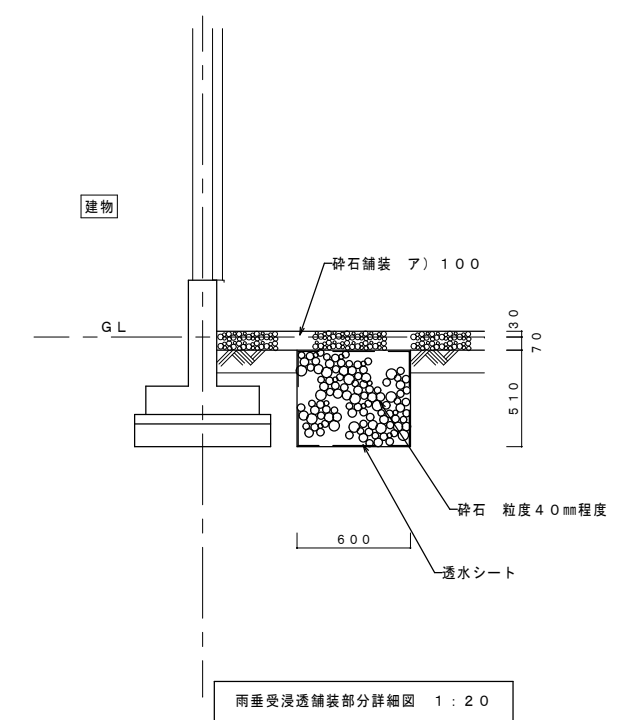
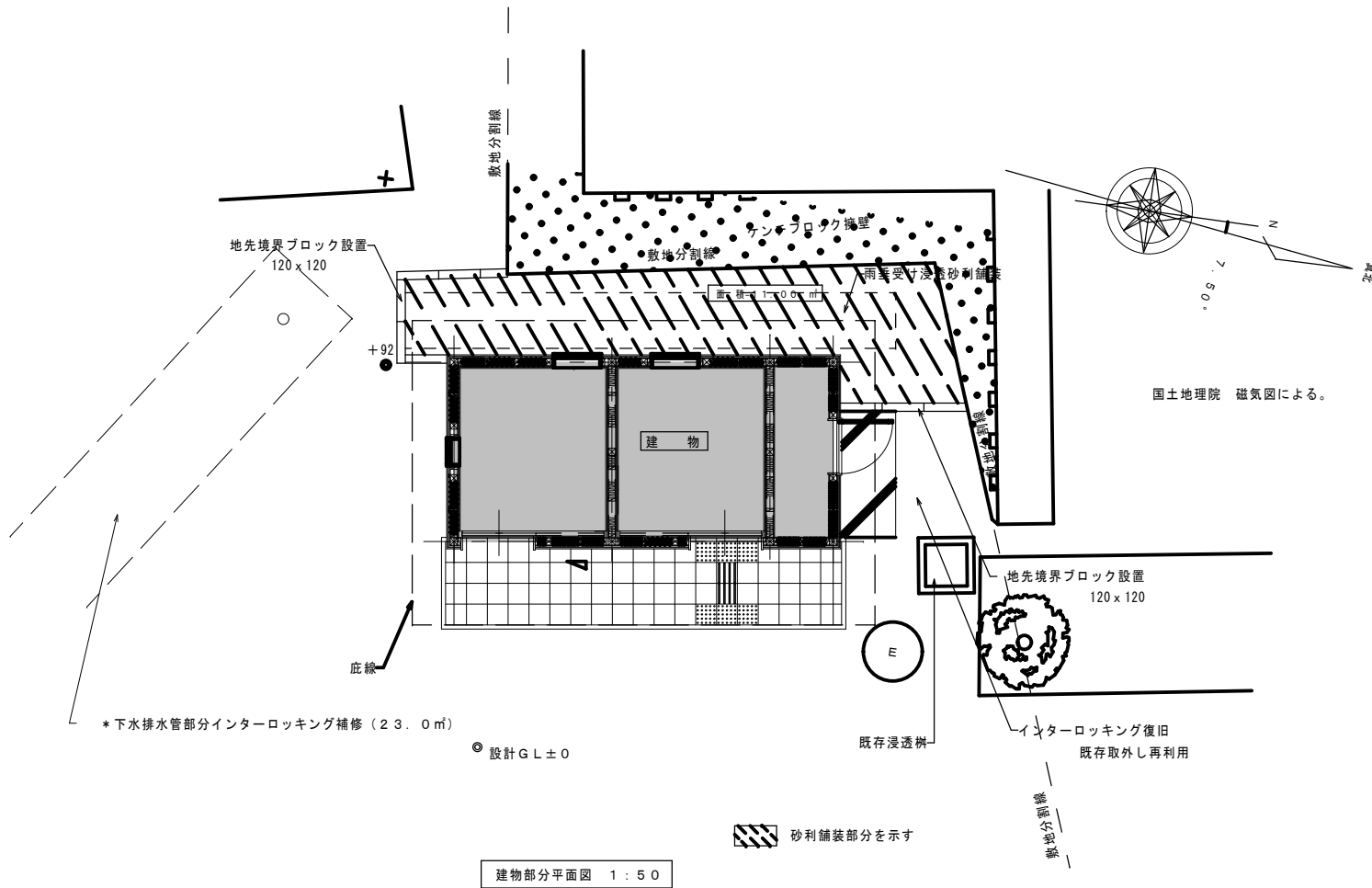
展開方向

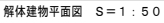
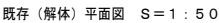
建 具 表

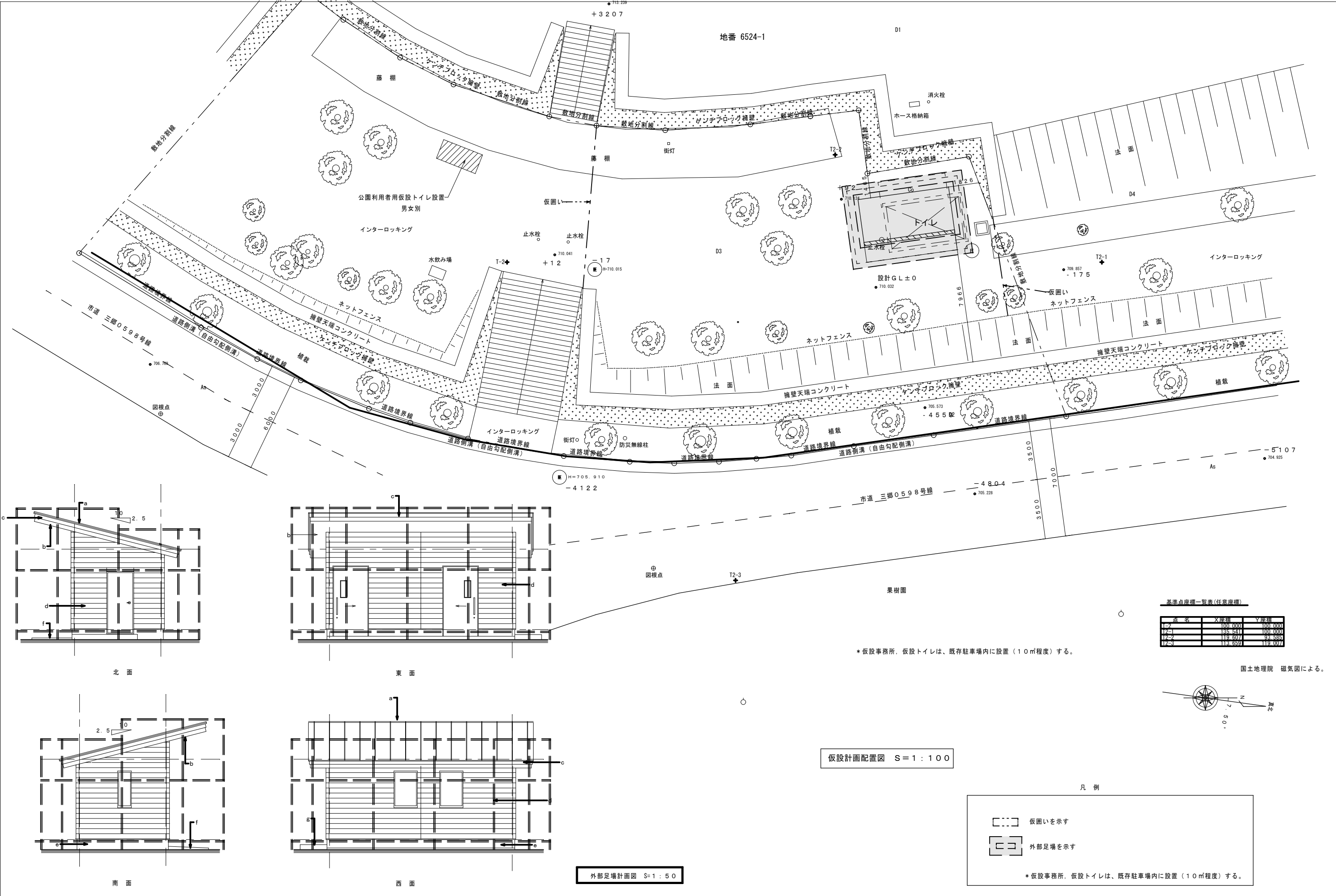
記 号・数 量	1 S D	右引込 1, 左引込 1	1 A D	物置 1	1 P W	男子, 多目的 2	1 P W	男子 1
姿 図	有効開口W=900 		785 		600 		350 	
型 式	スチール片引き戸 (3方枠付)		片開戸 (断熱サッシ)		嵌め殺し断熱樹脂サッシ		嵌め殺し断熱樹脂サッシ	
材 料・見 込	銀入りフラッシュ 見込90 (厚36)		アルミ+樹脂 見込77 (ドア36)		樹脂断熱サッシ		樹脂断熱サッシ	
ガ ラ ス	ポリカーボネート板 (型5)		—		LOW-E断熱ペア 型		LOW-E断熱ペア 型	
金 物 類	大型ハンドル (操作ラベル) 打掛錠レバーハンドル (操作ラベル) , 釜錠 他付属品一式		丁番, レバーハンドル錠, 2ロック, 他付属品一式		付属品一式		付属品一式	
そ の 他	定トルク式自動閉鎖装置 ドア下等隙間部モヘア取付		D2仕様 断熱枠					
備 考	溶融亜鉛メッキ鋼板焼付塗装 t=0.8 GW入り		ドア色 ショコラウォールナット (暫定)					

記 号・数 量	1 T B	トイレブース (上吊引戸タイプ) 男子トイレ 1		
姿 図				
型 式		トイレブース 上吊引戸タイプ H=2000		
材 料・見 込		メラミン化粧合板フラッシュ 見込 パネル 36		
ガ ラ ス				
金 物 類		ステンレス把手, 表示錠 (大型レバーハンドル) 手触防止ゴム, コーナーガード		
そ の 他		定トルク式自動閉鎖装置 フック (H=1600)		
備 考				





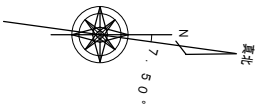
室山アグリパーク東側トイレ



基準点座標一覧表(任意座標)		
点 名	X座標	Y座標
12-1	100.000	100.000
12-2	185.541	100.000
12-3	118.507	98.589
12-4	118.659	119.007

* 仮設事務所、仮設トイレは、既存駐車場内に設置（10m程度）する。

国土地理院 磁気図による。



仮設計画配置図 S=1:100

外部足場計画図 S=1:50

凡 例

- 仮囲いを示す
- 外部足場を示す

* 仮設事務所、仮設トイレは、既存駐車場内に設置（10m程度）する。

電気設備工事

I 工事概要

1 工事場所 安曇野市三郷小倉6524-1

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備考
公園トイレ (室山アグリパーク)	木造	1	14.08		

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外
電灯設備		○
動力設備		
電熱設備		
雷保護設備		
受変電設備		
静止形電源設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		○
駐車場管制設備		
防火・入退室管理設備		
自動火災報知設備		
自動閉鎖設備		
非常警報設備		○
ガス漏れ警報設備		
中央監視制御設備		
構内配電線路		
構内通信線路		

4 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
E-01	特記仕様書		
E-02	配置図		
E-03	照明器具 弱電機器要図		
E-04	弱電機器要図		
E-05	盤図		
E-06	既設改修図		
E-07	幹線 警報 配線図		
E-08	電灯 コンセント配線図		
E-09	立面プロット図		

II 工事仕様

① 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
③ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂材、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びビシレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISの E○規格品 ④旧JASの F○O規格品
4 電気保安技術者	電気事業法に定める家用電気工作に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
⑤ 電気工事士 ⑥ 実施工程表及び施工計画書	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑦ 使用材料発注先調査 8 発生材の処理	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ・無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ・有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) ○設けない ・設ける (規模 :) ・備品 () すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ・できる ・できない ・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等 (・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場) ・外部仮設足場等 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種) ・防護シート () 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
9 監督員事務所	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
10 工事用仮設物	標準仕様書及び別表による。
11 足場・さん橋類	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
12 工事用電力・水・その他	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
⑬ 工事写真 ⑭ しゅん工時提出物 15 再使用機器	(1)設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。
16 耐震施工	

項 目		特 記 事 項					
		設計用標準水平地震度					
		設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0	
	防振支持の機器		2.0	2.0	2.0	1.5	
	水槽類（※1）		2.0	1.5	1.5	1.0	
中 間 階	機 器		1.5	1.0	1.0	0.6	
	防振支持の機器		1.5	1.5	1.5	1.0	
	水槽類（※1）		1.5	1.0	1.0	0.6	
地下・1階	機 器		1.0	0.6	0.6	0.4	
	防振支持の機器		1.0	1.0	1.0	0.6	
	水槽類（※1）		1.5	1.0	1.0	0.6	
(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。							
◎重要機器の定義は次による。							
・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置							
・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・							
◎上層階の定義は次による。							
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、							
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。							
(2)設計用鉛直地震力							
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。							
17 あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。						
	(2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。						
	（引抜き試験を ・実施する ・実施しない）						
18 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。						
⑬ 電線・ケーブル	(1) EM-EFF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ｸﾞﾗｽ ｴﾓ EM-EFF」と表記されたものを使用する。						
	(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。						
20 予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。						
⑭ 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。						
22 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。						
	・屋 外 ・屋 内（ ）						
⑭ 埋め戻し土	・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種						
	○底の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める						
⑭ 建設発生土の処理	・構外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し						
⑭ ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製						
	(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。						
	(3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。						
26 ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。						
	(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。						
27 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製						
28 プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。						
29 配 線 器 具	タンブラスイッチは大角形とする。						
	壁付けコンセント(2P15A)は原則として大角形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。						
30 フロアコンセント	・直付（ビス止め）型上下式（ ・銅合金製 ・アルミ製）とする						
	・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする						
31 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。						
32 照 度 測 定	(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。						
	(2) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 個所、測定黒板面： 個所）						
	※教室の照度値、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する						
⑬ 盤 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。						
	(2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。						
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目						
	＜資材＞ ・照明制御システム ・変圧器 ・（ ）						
	＜建設機器＞ ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器						
35 他工事又は他工種との取合い	工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。						
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)						
(別表) しゅん工時提出物（ ・に○印のついたものを提出する。）							
個 別 提 出 物		一 括 提 出 物					
1 完成図	5 機器完成図						
○ 施工図（A3 2つ折り製本 1部）	6 工事写真						
	7 完成写真						
○ CADデータ	8 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書）						
	9 機材の試験成績書						
2 設計図	10 施工の試験成績書						
	11 社内試験成績書						
3 引渡書	12 発生材処理報告書						
	（廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・ manifests の写し、フロー図）						
4 納入品	13 納入品一覧表						
・ 予備品 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	14 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）						
	15 保全に関する資料（取扱説明書も含む）						
○ 盤類の鍵 ・							

3 ハンドホール

下表による。(棒子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様準ずるものとする。

・	ハンドホール No. -	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ棒子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No. -	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No. -	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A種接地	銅板1.5t×900×900 リード端子付	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	B種接地	銅板1.5t×600×600 リード端子付	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
○	C種接地	銅板1.5t×300×300 リード端子付	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
○	D種接地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

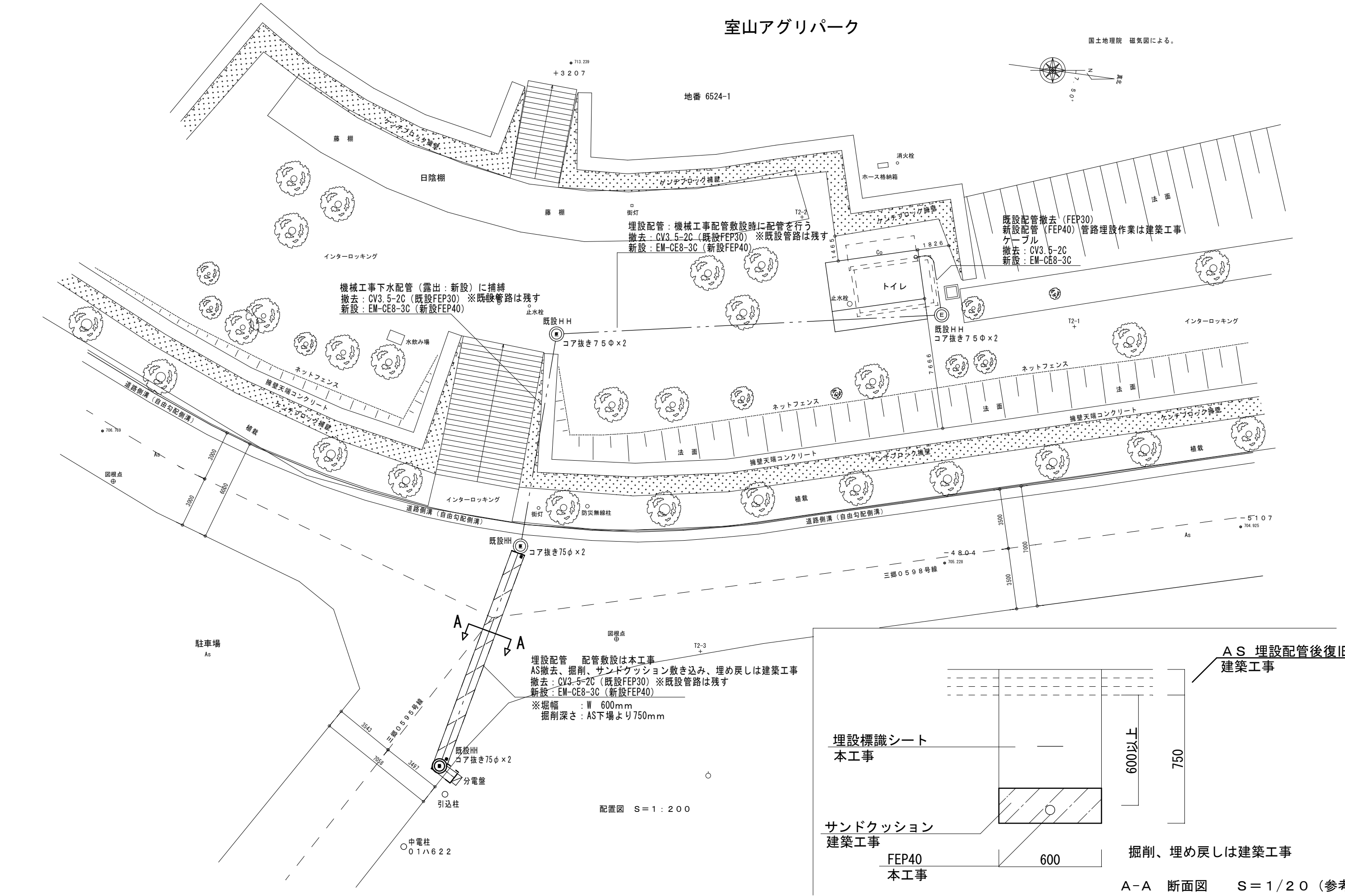
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)
共通	取引用計器 引込開閉器 警報装置	地上～上端 床上～上端 床上～中心	2,000 1,800 1,500	時計・ 拡声	壁掛形時計 子時計 壁掛形スピーカ アツチネーター	床上～中心	1,500 (上端1,900以下) " (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300
	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		表示盤 壁付発信器 ベル ブザー 押ボタン " (身障者用押印) 身障者用表示灯 復帰ボタン	床上～中心	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000 1,800
	タンブラスイッチ " (身障者用) コンセント(一般) " (和室) " (便所等) " (台所) ブラケット(一般) " (踊場) " (鏡上)	台上～中心 床上～中心 床上～上端 床上～上端	150 100 300 150 500 150 2,100 2,500	灯	壁付インターホン " (身障者用) 壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く) " (一般) " (和室)	床上～中心	1,500 1,100 " 300 150
動力	壁掛形制御盤 手元開閉器 操作スイッチ " (一般) " (和室)	床上～中心	1,500 (上端1,900以下) 1,500 1,300		機器収容箱 アウトレット " (一般) " (和室)	床上～中心	(天井高)×0.9 " 300 150
	室内端子盤 (廊下・室内) 中間端子盤 (EPS・電気室) 集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般) " (和室)	床上～下端 床上～中心	300 1,500	電話	受信機 副受信機 機番収容箱 発信器 ベル 消火栓表示灯	床上～操作部 床上～中心	800～1,500 800～1,500 800～1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8

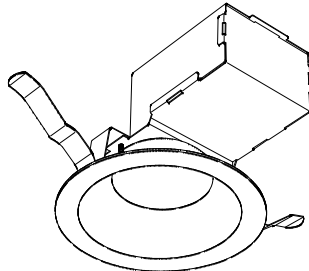
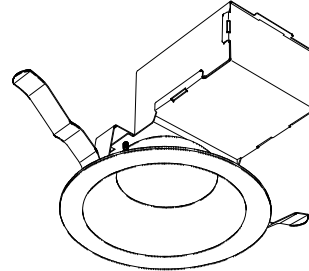
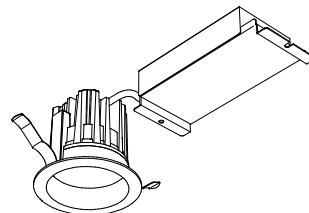
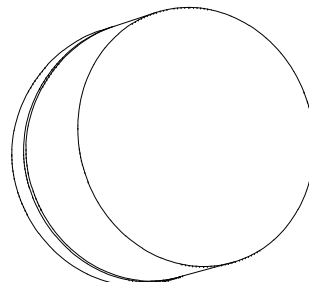
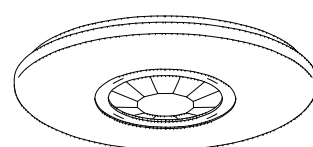
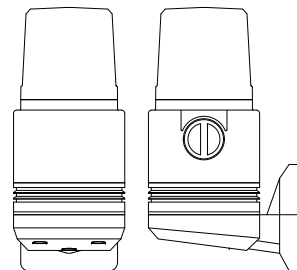
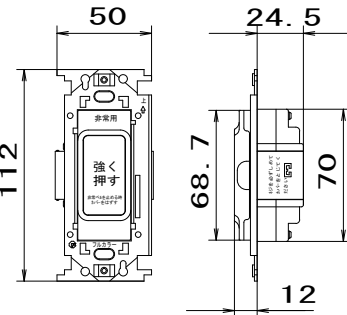
				検印	工事名称 令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事	日付	図面名 特記仕様書 縮尺 A3 : non	No. E-01
--	--	--	--	----	------------------------------	----	--------------------------	----------

室山アグリパーク

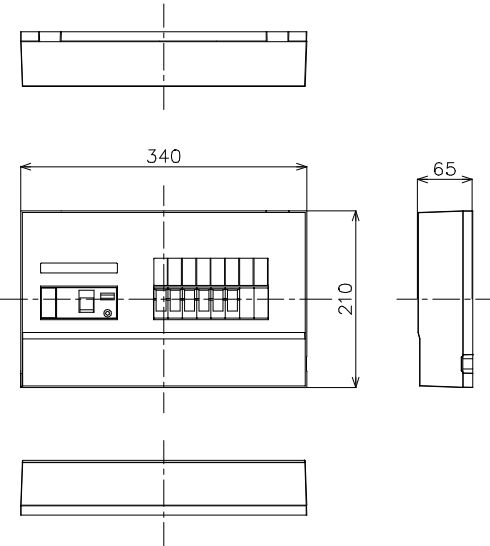
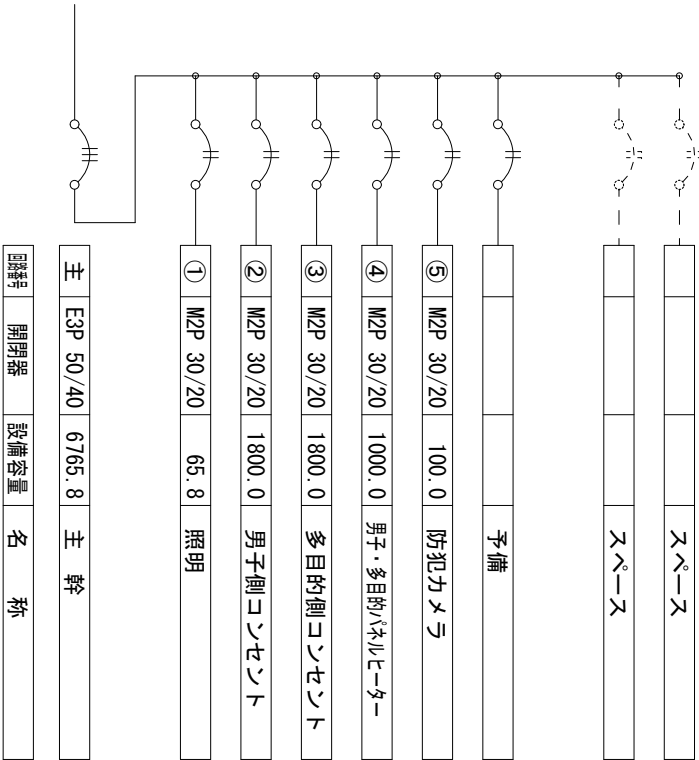
国土地理院 磁気図による。



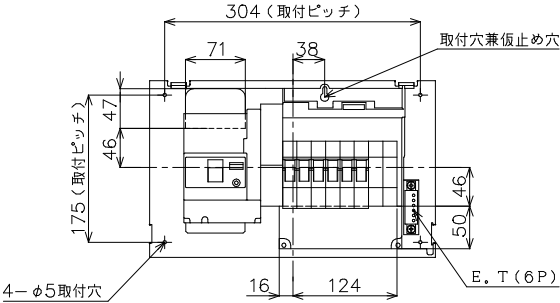
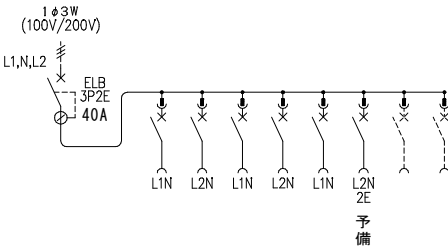
				検印	工事名称	日付	図面名	配置図	No.
					令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事		縮尺	A3 S=1/200	E-02

A	DL 1	(参考)	B	DL 2	(参考)	C	DL 3	(参考)	D	BL	(参考)
 OD261892R LED 4W 5000K 幅Φ114 埋込アナΦ100 埋込高80 高演色LED 調光器負荷			 OD261886R LED 6.8W 5000K 幅Φ114 埋込アナΦ100 埋込高80 高演色LED 調光器負荷			 OD361488R LED 11.4W 5000K 幅Φ114 埋込アナΦ100 埋込高100 高演色LED 兆候 移送制御			 OB555098R 直管形LED 7.2W 5000K 幅621 こう86 で101 高演色LED 調光器負荷		
E	WBL	(参考)	F	SS	(参考)		電子音内臓LED回転灯	(参考)		フルカラー非常用埋込押釦D（プレート別）	(参考)
 OG264002LR LED電球フラット形 6W 2700K 幅Φ125 こう87 高演色LED 防雨・防湿型 調光器負荷			 OA076225P1 幅Φ100 埋込アナΦ75 埋込高62 防雨型 調光器不可			 形式：RTF-100□-□ 定格電圧：AC100V 50/60HZ 定格消費電力：最大13W 温厚レベル：最大90dB以上 音量調整：ボリューム調整 Min~Max 信号入力方式：レベルホールド入力 回転等：高原：LED 色：赤 黄 緑 青 のうち どれかを設定（変更不可） 点滅回数：115±15回/分 使用温度：-10度～50度 使用周囲湿度：85%RH以下（結露無きこと） 取付場所：屋内/屋外 保護投球：IP54（IEC 60529）制方向取付のみ 取付台座：RF-001			ON保持型押し釦  WN4500		

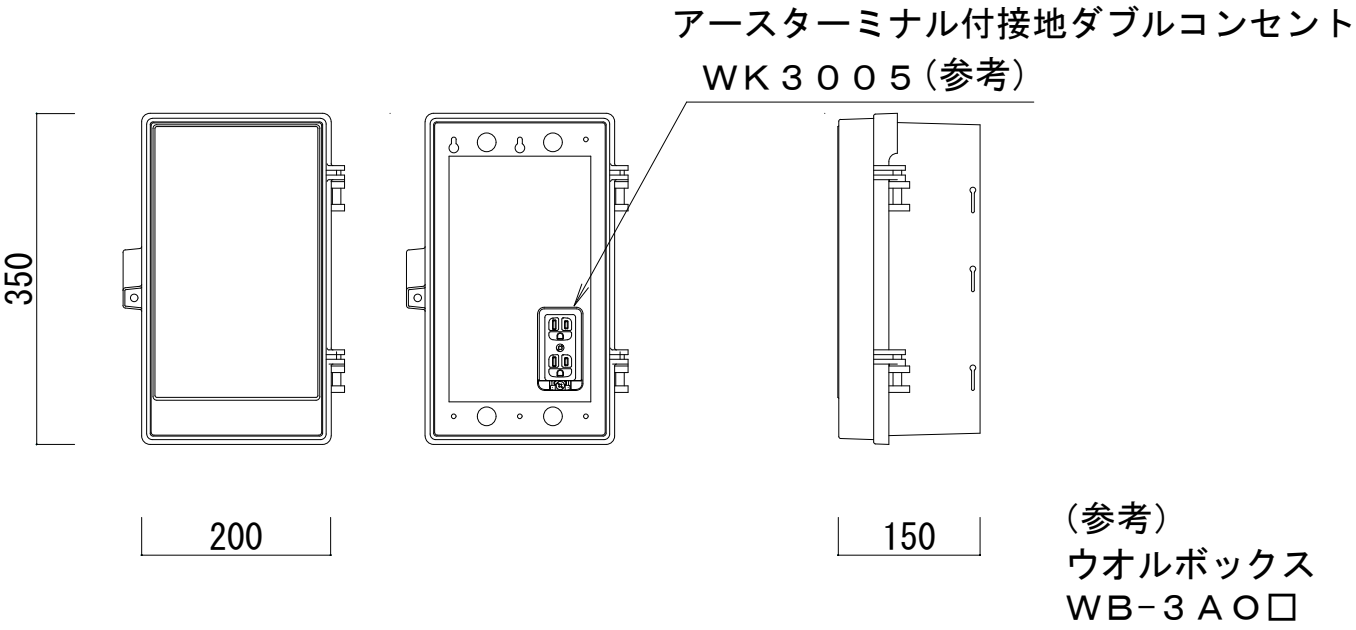
防犯カメラ		※（参考）パナソニック株式会社コネクティッドソリューション社			
<					



(下長尾公園 室山アグリパーク)
M) 漏電ブレーカ-ABF型3P2E 30A 単3中世線血相保護付き (BJF330325)
B) SH2P1E20A × 5 (100V) (BSH2201)
B) SH2P2E20A × 1 (100V) (BSH2202) 2Cスペース
(参考) BFG8362A

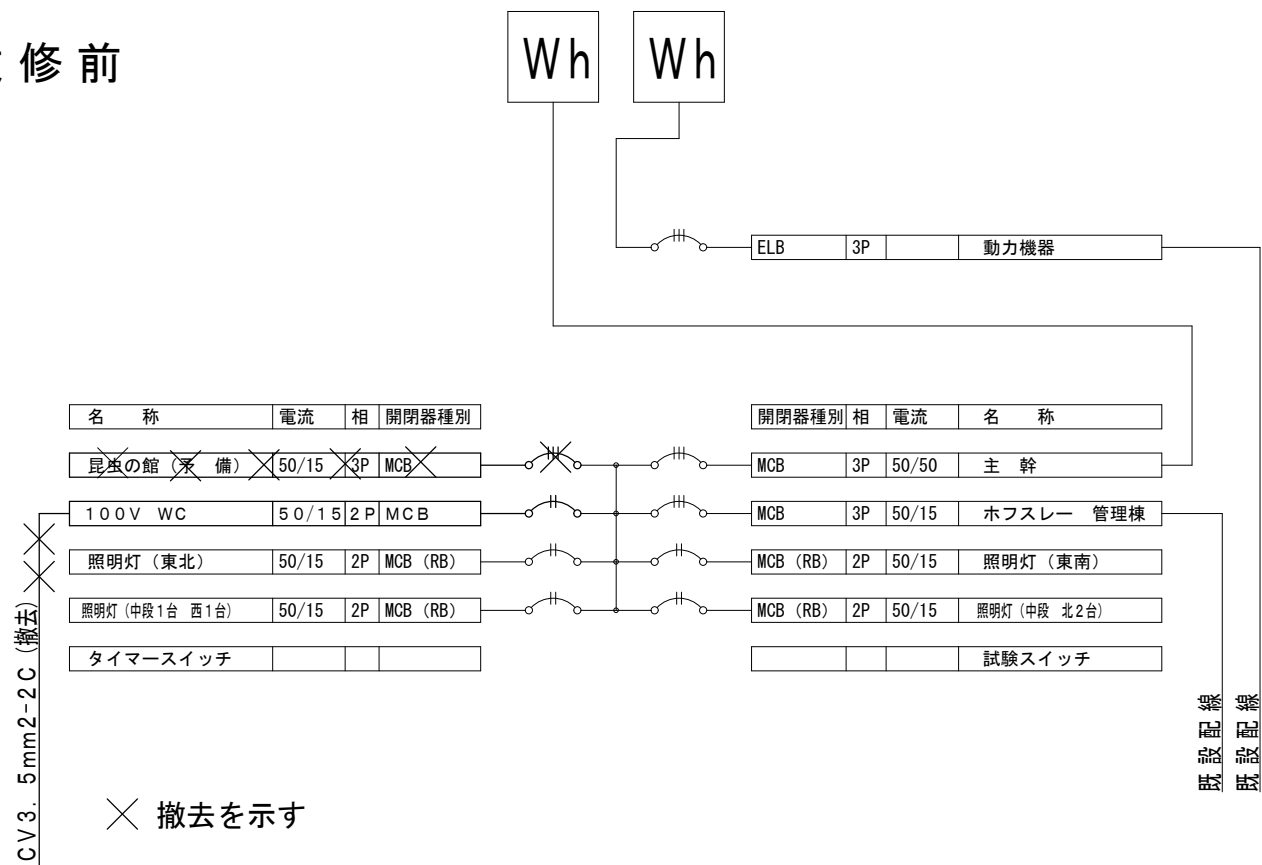


分電盤 (参考)

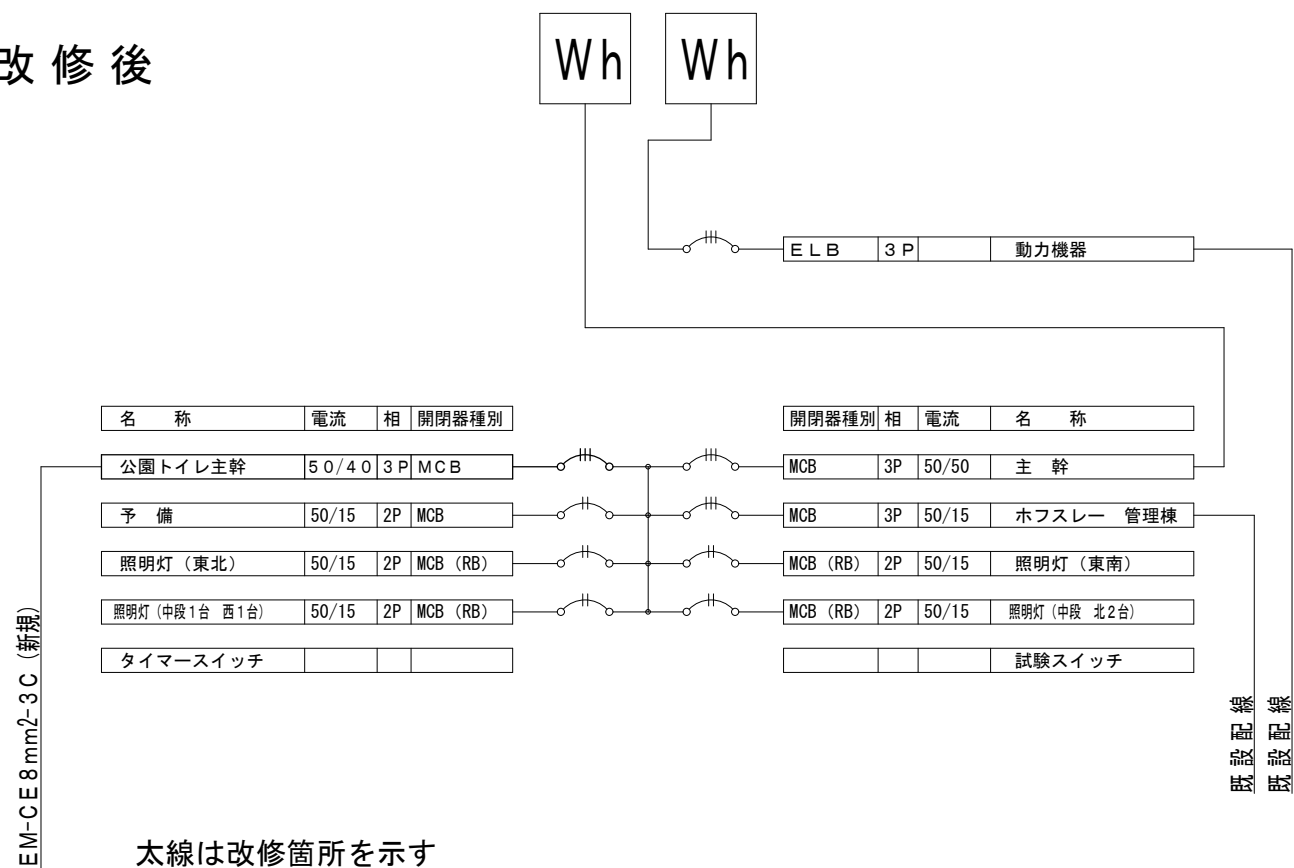


カメラ電源部収容ボックス (参考)

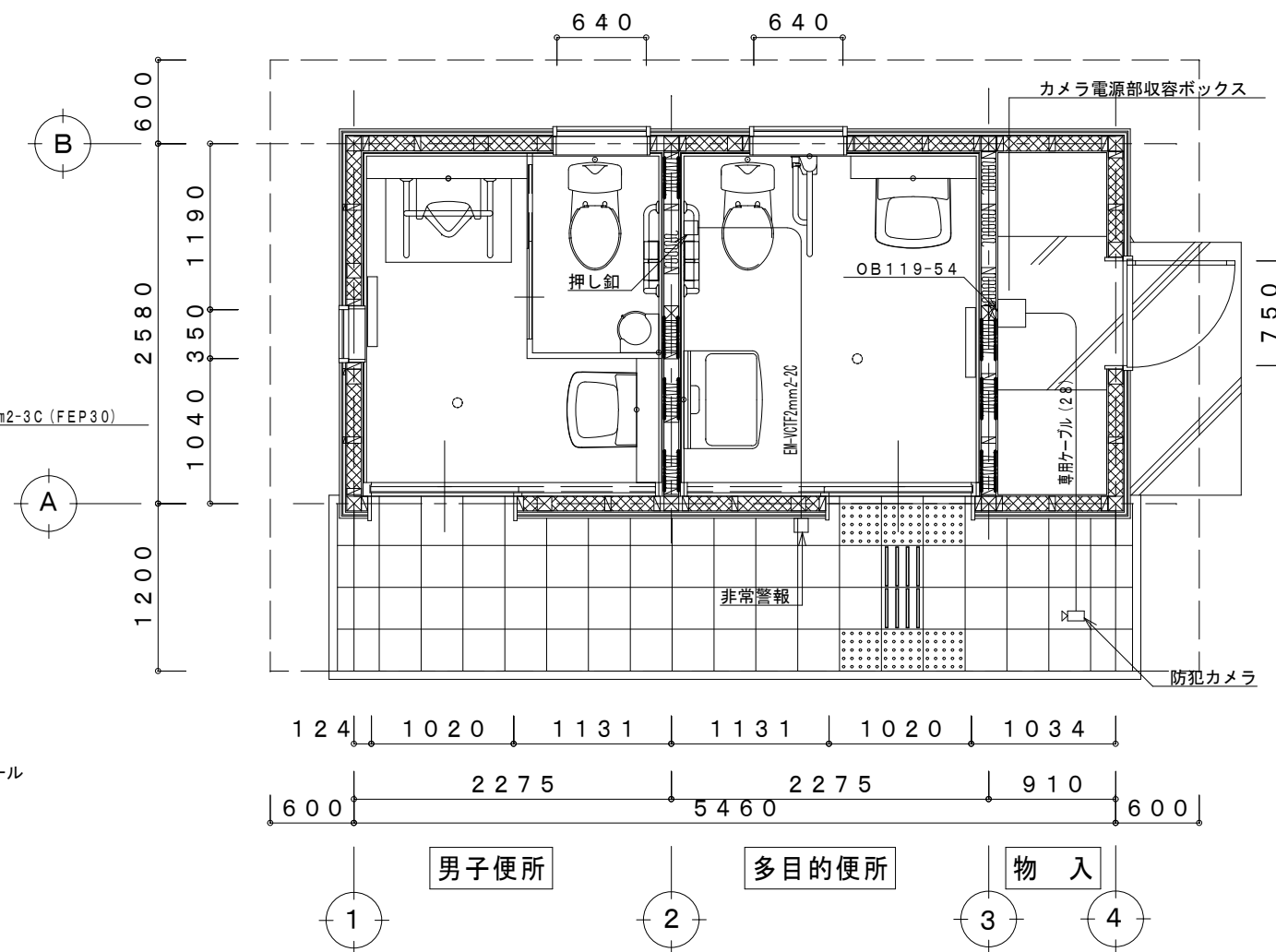
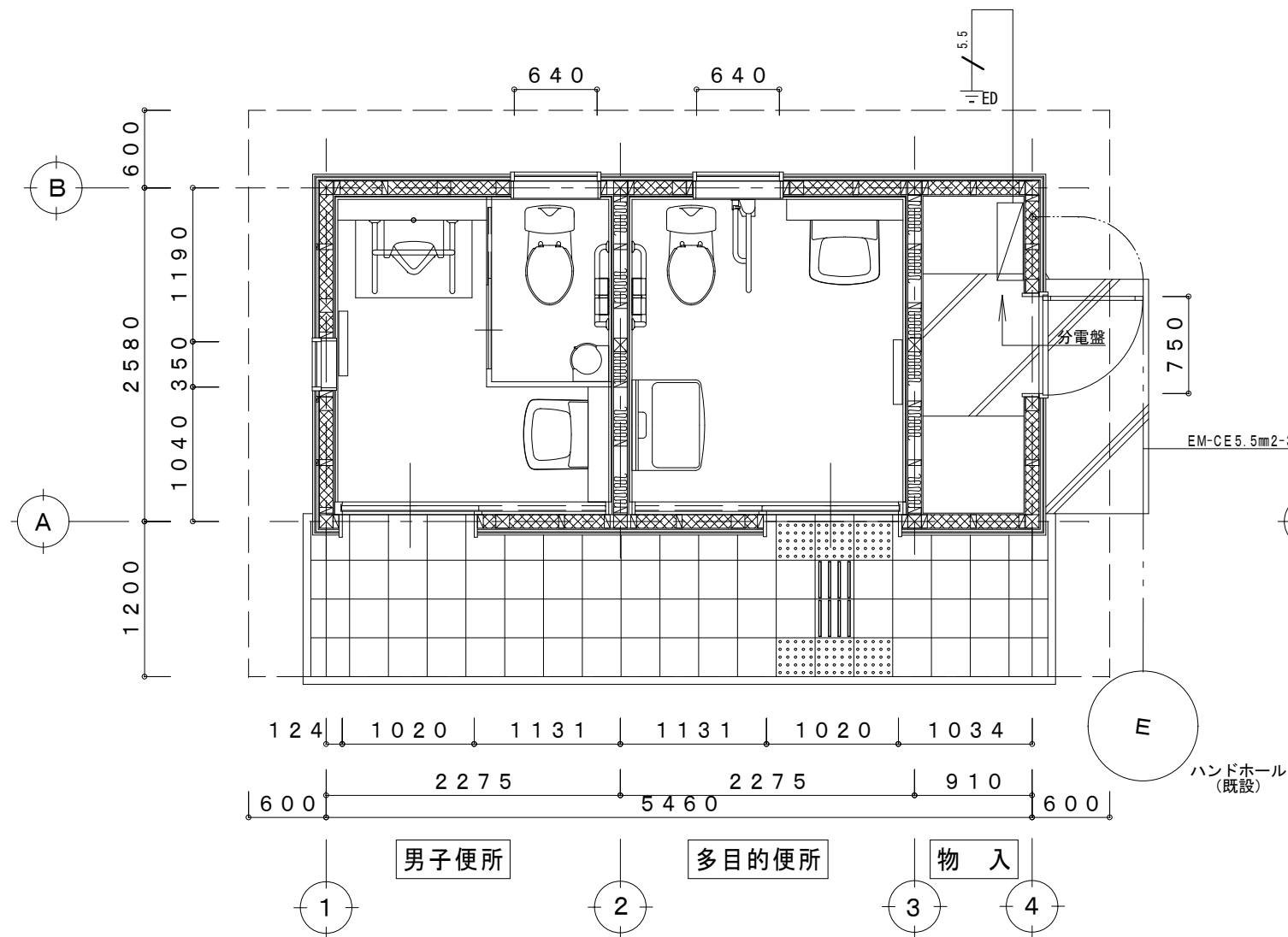
改修前



改修後

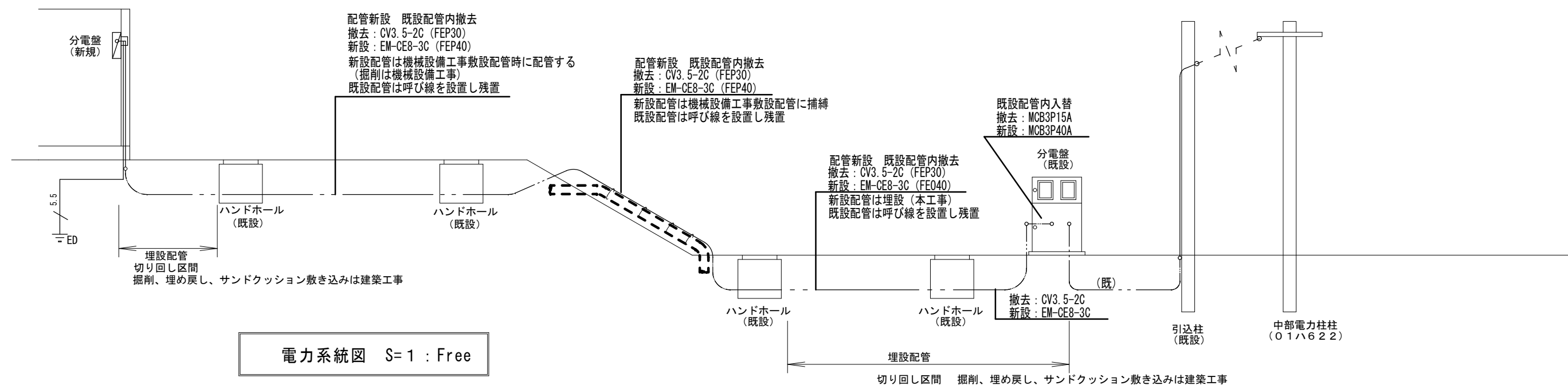


駐車場配電盤

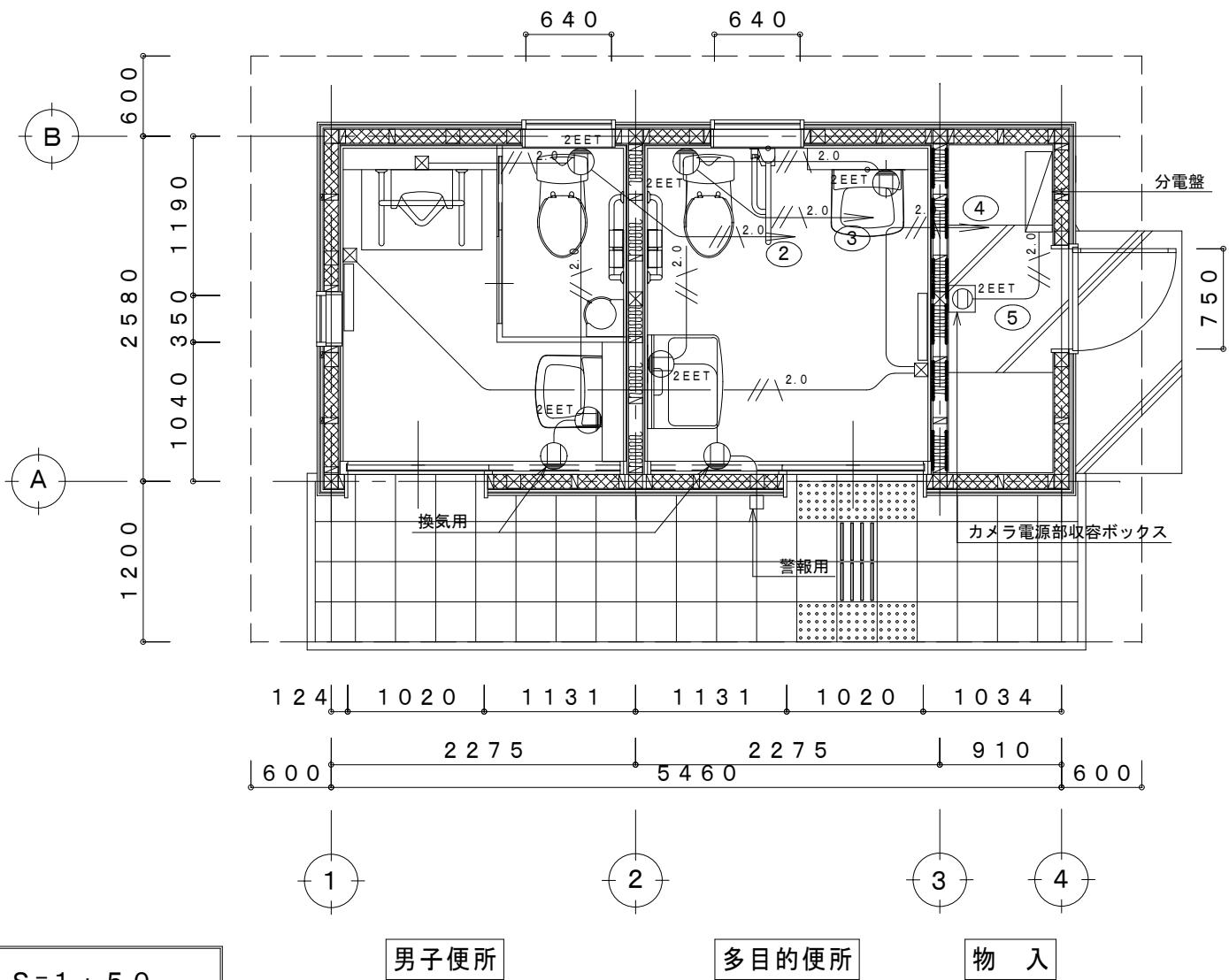
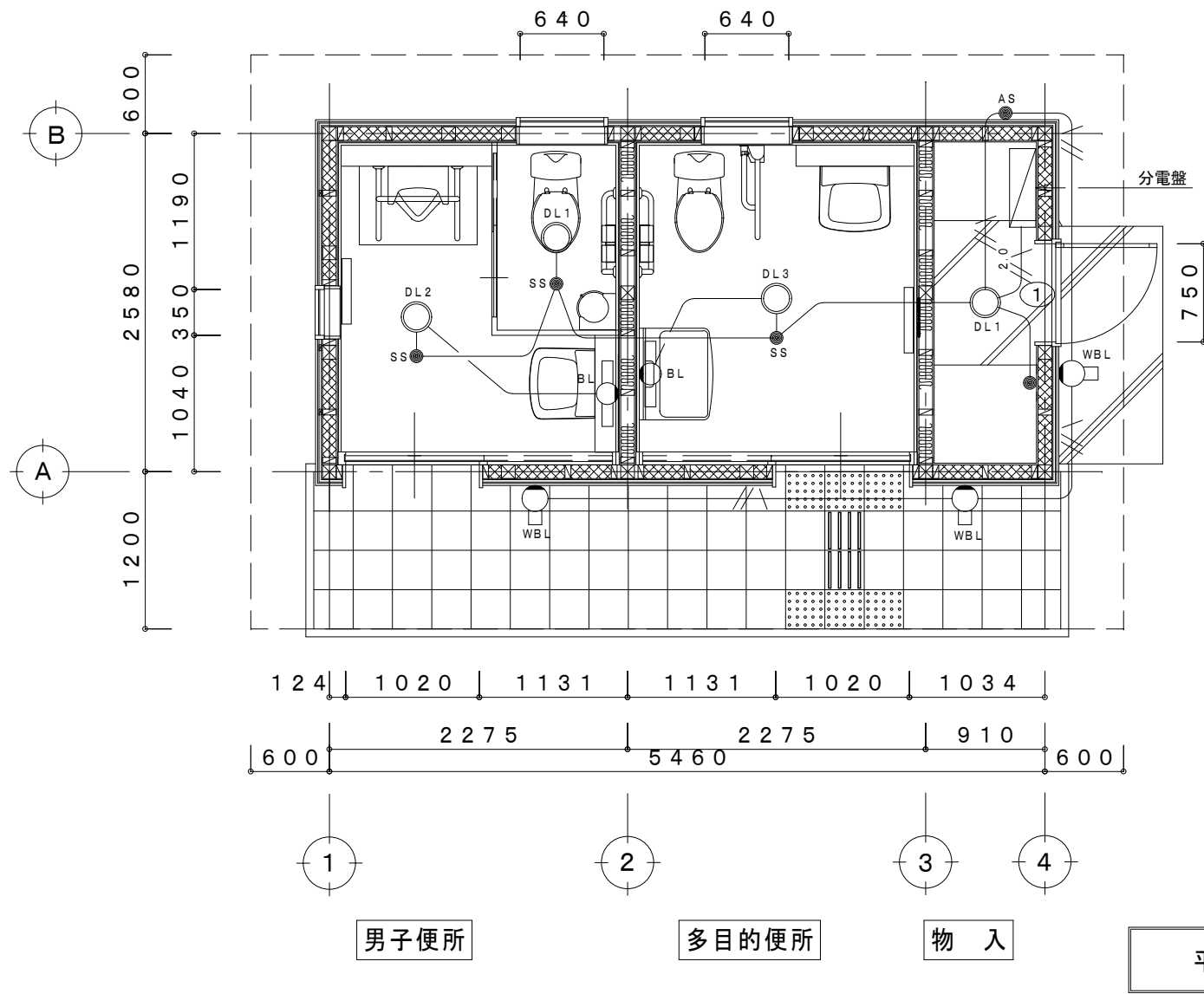


平面図 S=1 : 50

壁内配線、貫通部はPF管にて保護する事



			検印	工事名称 令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事	日付	図面名 幹線 警報 配線図 (室山アグリパーク)	No. E-07
						縮尺 A3 : S=1/50	



特記無き配線器具は下記による

●	1P15A x 1
---	-----------

特記無き配管配線は下記による

—	EM-EEF 1.6-2C
—//—	EM-EEF 1.6-3C (1線接地)
—//— ^{2.0}	EM-EEF 2.0-3C (1線接地)

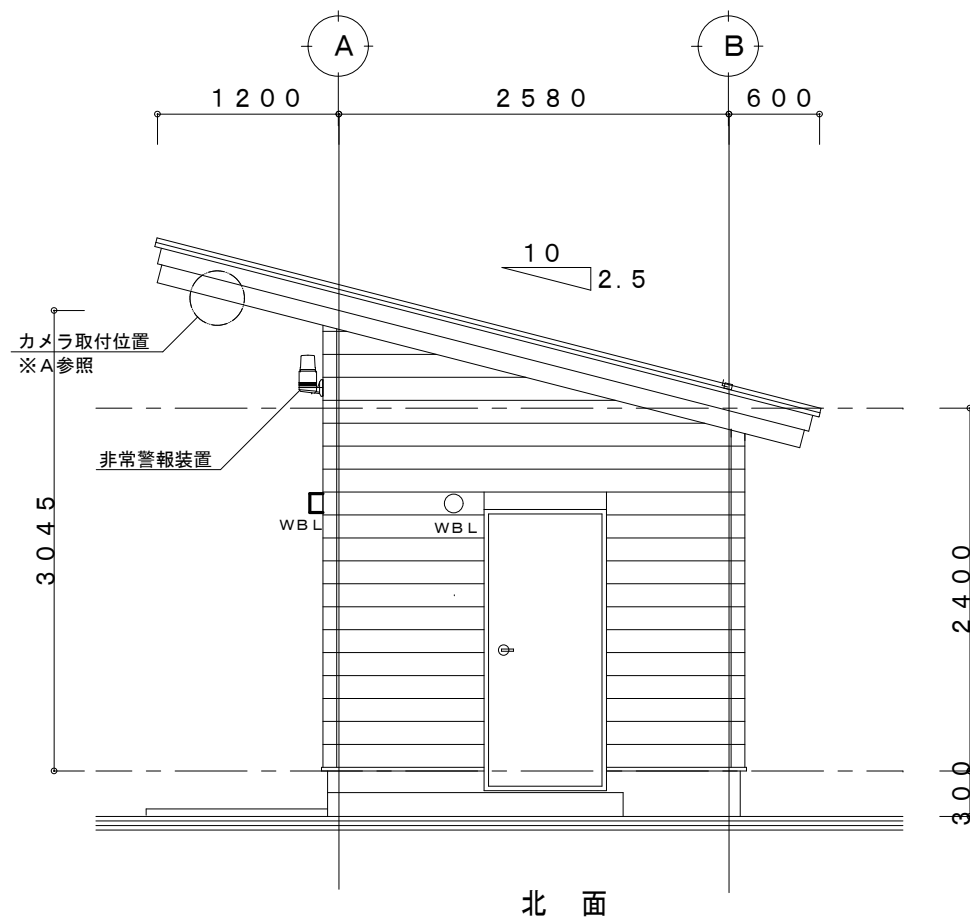
特記無き配線器具は下記による

○	1P15A x 1
○ ^{2EET}	2P15A x 2 接地極接地端子付き

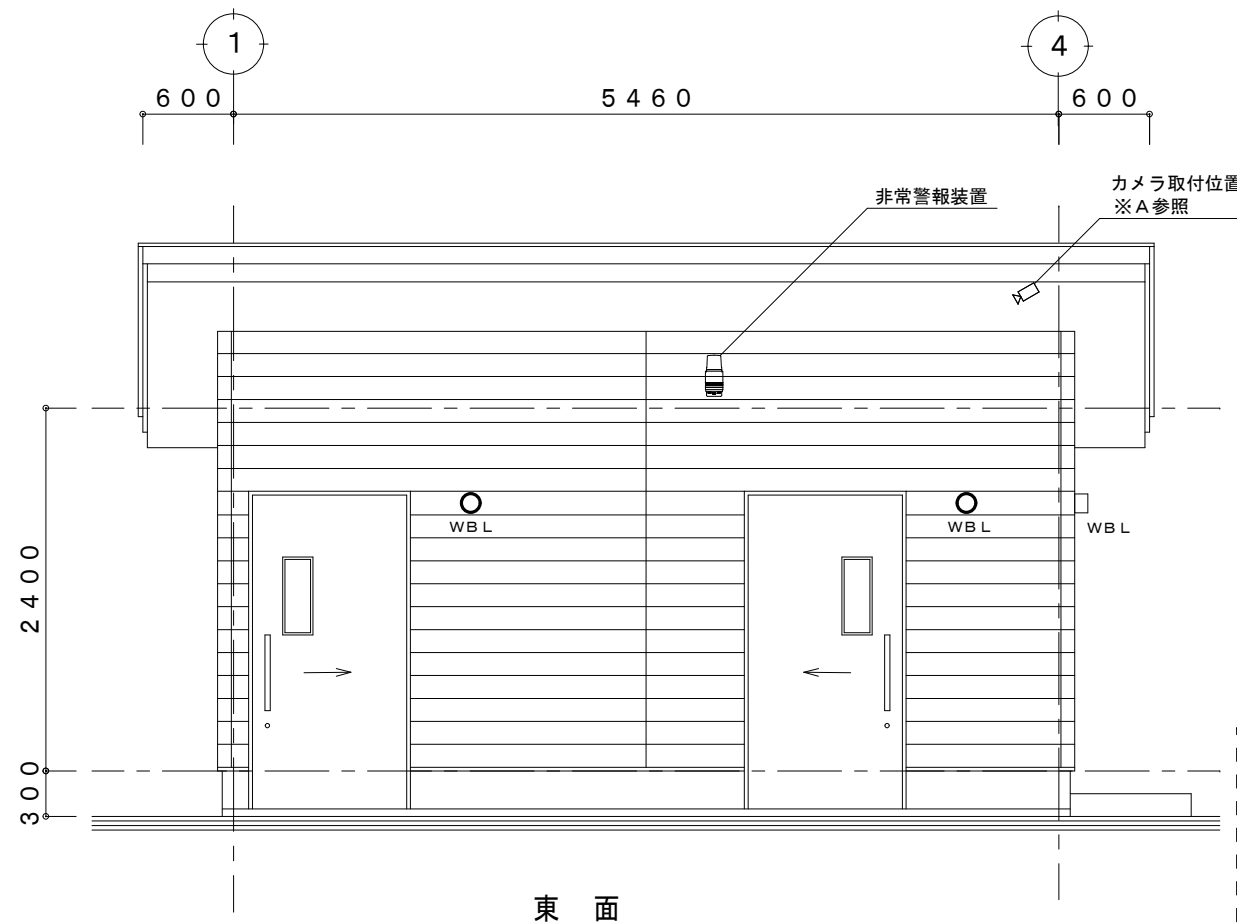
特記無き配管配線は下記による

—	EM-EEF 1.6-2C
—//— ^{2.0}	EM-EEF 2.0-3C (1線接地)

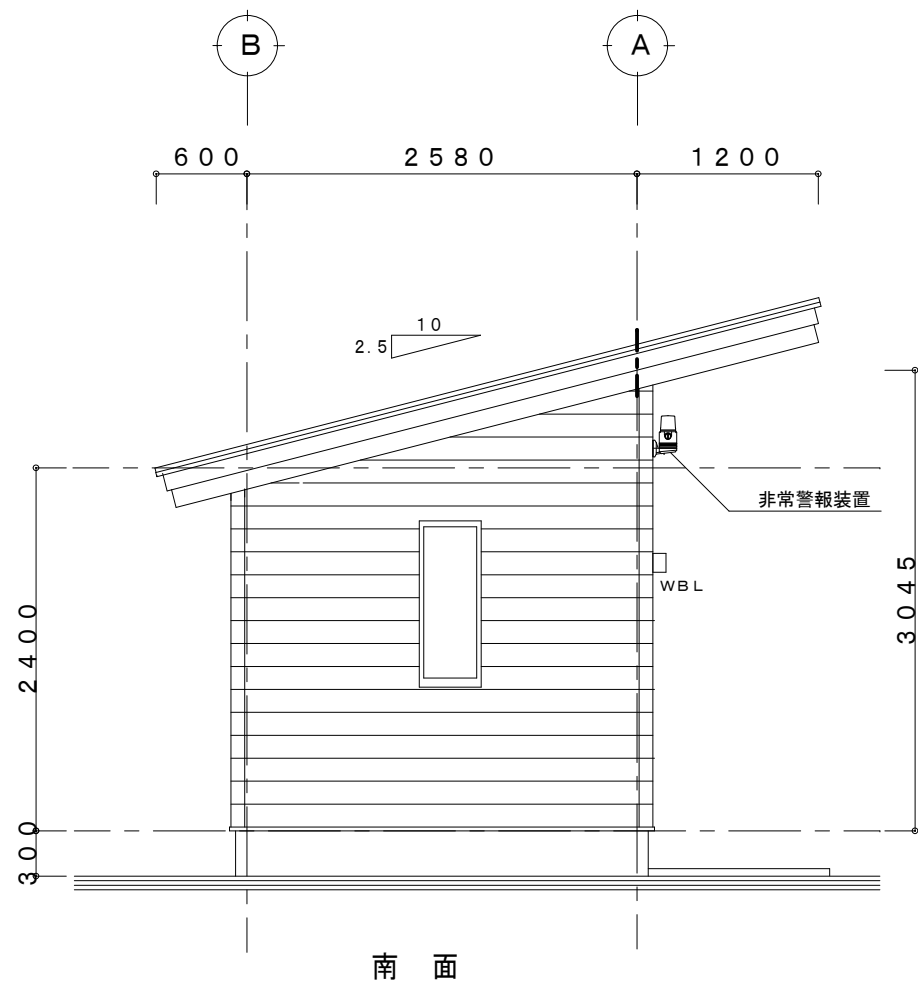
壁内配線、貫通部はP F 管にて保護すること



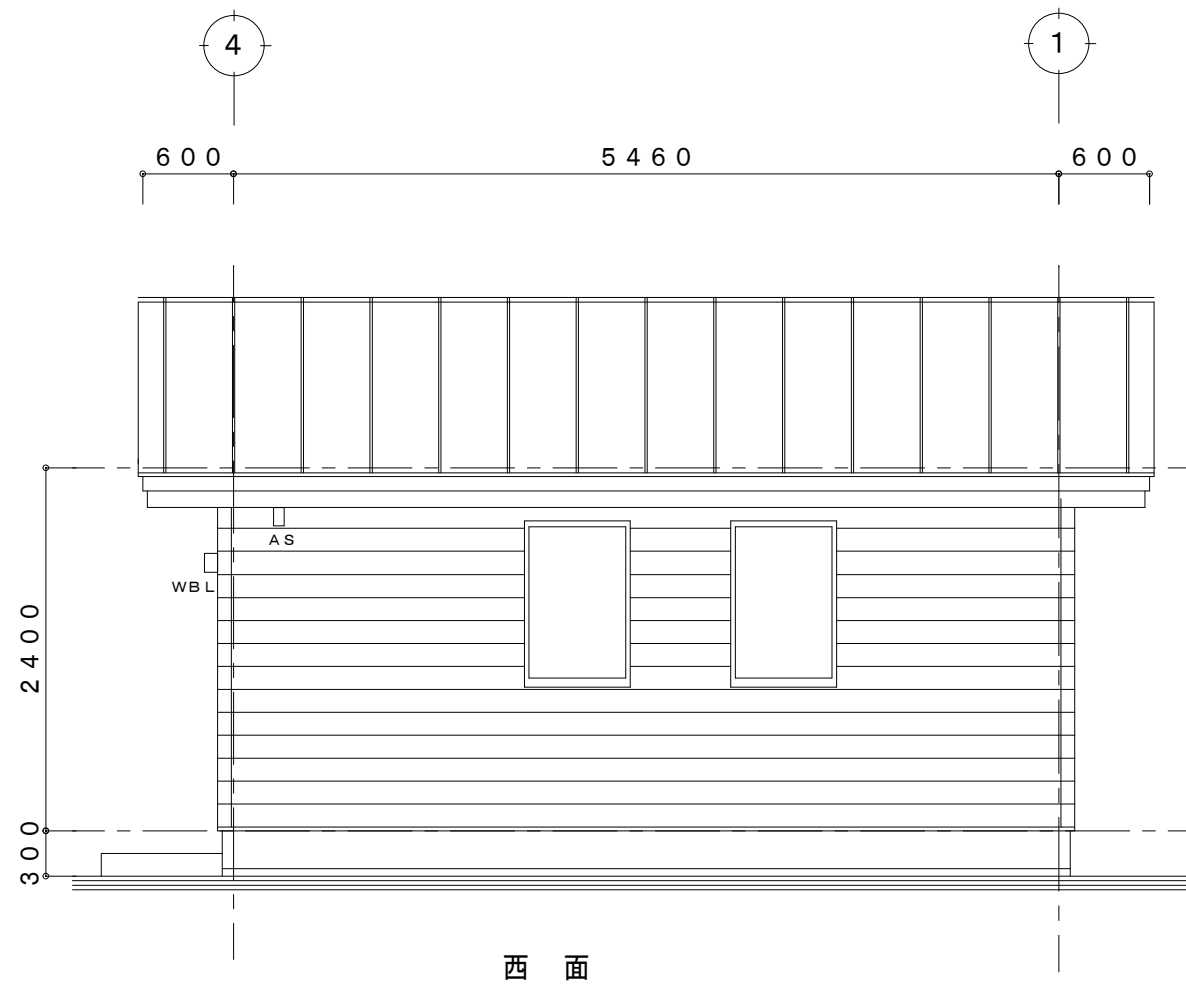
北面



東面

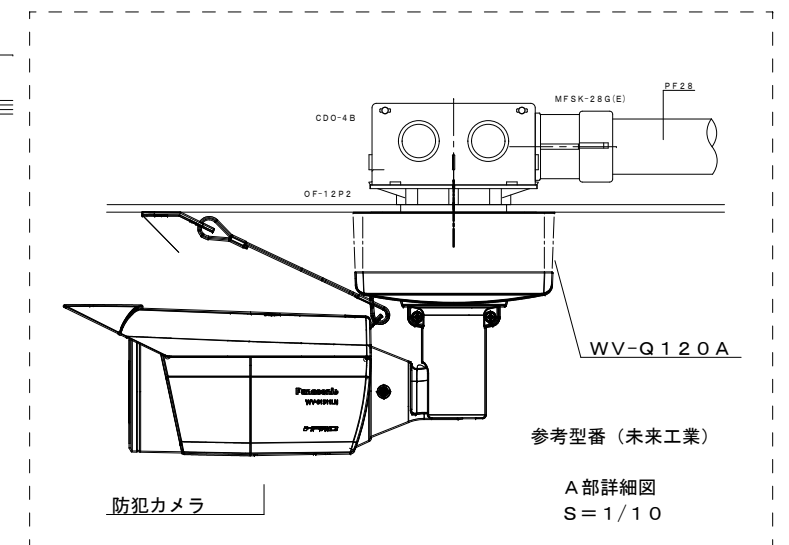


南面



西面

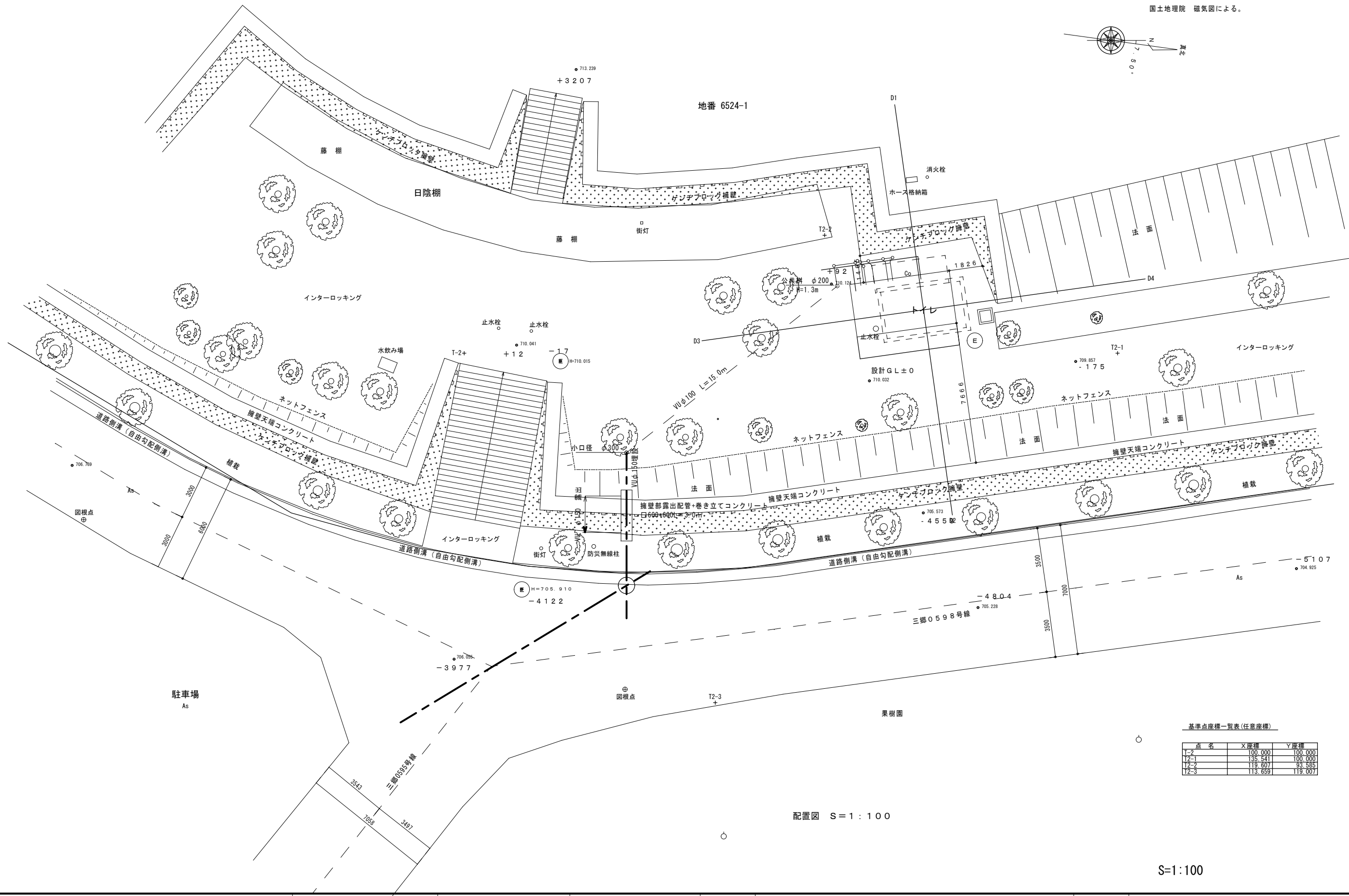
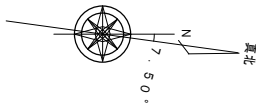
立面図 S=1:50



				検印	工事名称 令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事	日付	図面名 立面プロット図	No. E-09
							縮尺 A3 : S = 1/50	

室山アグリパーク

国土地理院 磁気図による。

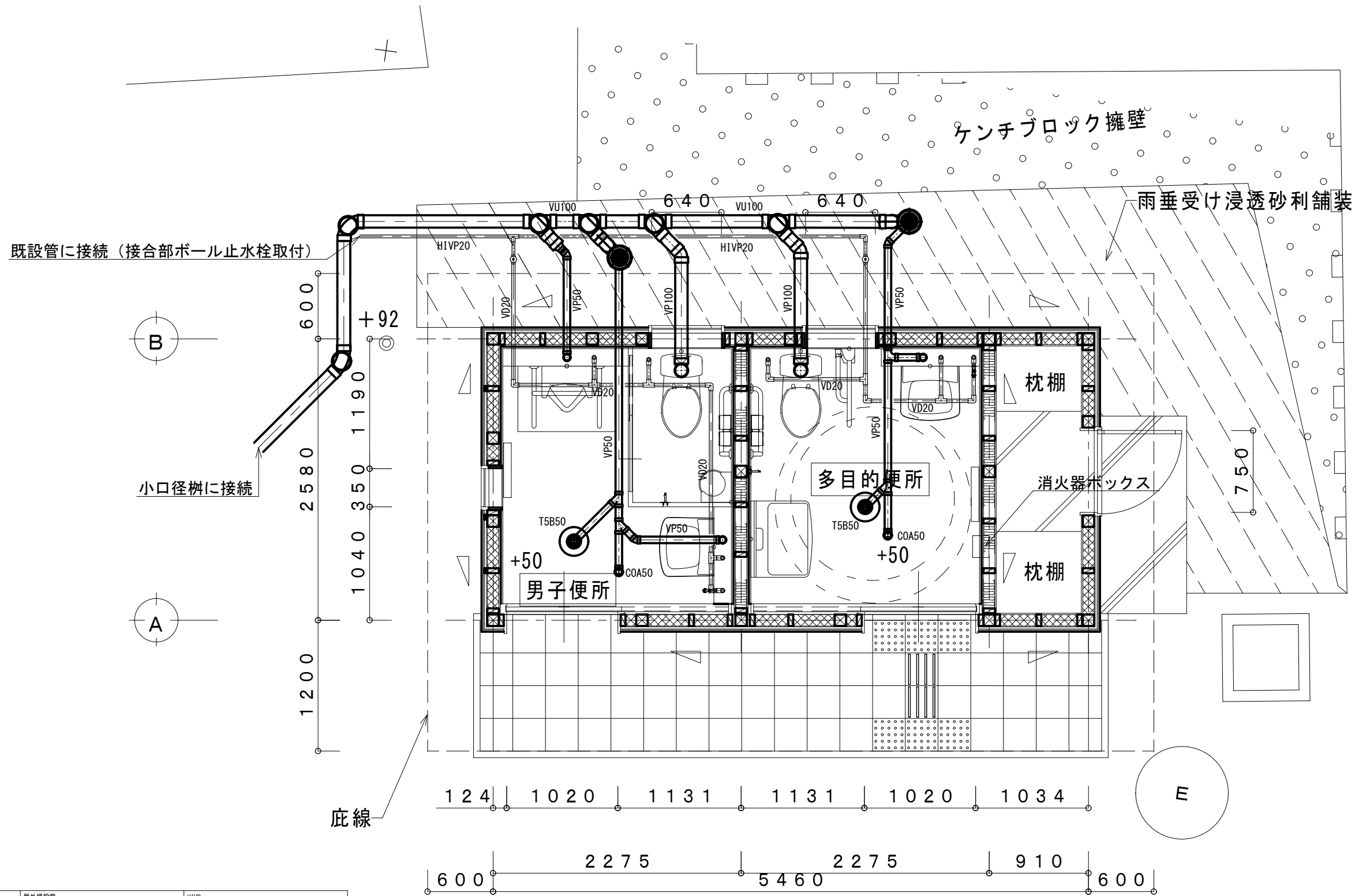


配置図 S = 1 : 1 0 0

S=1 : 100

点 名	X座標	Y座標
T-2	100.000	100.000
T2-1	135.541	100.000
T2-2	119.607	93.510
T2-3	113.659	119.000

器 具 名 称	参 考 品 番	付 属 品 ・ 仕 様	合 計	男子トイレ	多目的トイレ
洋風便器	TOTO CS597BCS	TOTO 掃除口付置床床排水大便器 CS597BCS・密結タンク SH596BAYR	2	1	1
ウォシュレット	TOTO WLアブリコット P AP2	TOTO TCF5831AU	1	1	
スベア付き紙巻き器（棚付）	TOTO YH191KL		1	1	
シングルフック	TOTO YKH20R		3	2	1
多用途手すり L型	TOTO T113BL9	TOTO 多用途手すり T113BL9・コイエイ金具 アンカーボルト T110D3R	1	1	
ベビーチェア コーナー設置タイプ	TOTO YKA16S	TOTO ベビーチェア コーナー設置タイプ YKA16S・アンカーボルト M6×85 YPH62017W2・固定金具 樹脂プラグ T110D28	1	1	
壁掛壁排水自動洗浄小便器	TOTO UFS900WR	TOTO UFS900WR	1	1	
小便器用手すり	TOTO T113BU22	TOTO 小便器用手すり T113BU22・固定金具 アンカーボルト T110D3R	1	1	
壁掛洗面器	TOTO L270CM	TOTO 壁掛洗面器 L270CM・台付自動水栓 TLDP2105JA・壁排水金具 TLDP2105JA・水石けん入れ TLK05202J・バックハンガーTL220D	2	1	1
耐食鏡	TOTO YM3545FE 盗難防止形350×450		1	1	
可動式手すり はね上げ・ロック付	TOTO T113HK7R	TOTO 可動式手すり はね上げ・ロック付 T113HK7R・ 固定金具 アンカーボルト T110D17S	1		1
ベビーシート	TOTO YKA25N	TOTO ベビーシート YKA25N・ アンカーボルト M10×83・ 固定金具 樹脂プラグ T110D28	1		1
耐食鏡	TOTO YM4560FE 盗難防止形450×600		1		1
横水栓	TOTO T28AKUH13		2	1	1
消火器・消火器格納箱	初田製作所 消火器 PEP-10N	初田製作所 蓄圧式ABC消火器 10型 PEP-10N・リサイクルシール 消火器Aグループ分・消火器格納箱 半埋込 HH-1M型・下地材 SH1型	1		1
便座クリーナー	サラヤ 便座クリーナー用 SC-460R	サラヤ 便座クリーナー用 SC-460R・便座きれいくんV 5L（3本単位）	2	1	1



給水管	屋外埋設管	HIVP
	屋内埋設管	SGP-VD
	屋内架空	SGP-VB
排水配管	屋外埋設管	VU
	屋内埋設管	VP
	屋内架空	VP

◎ 設計 G L ± 0

平面図 S = 1 : 20

1

2

3

4

E

B

A

底線

ケンチブロック擁壁

雨垂受け浸透砂利舗装

枕棚

枕棚

消火器ボックス

多目的便所

男子便所

6 4 0

6 4 0

6 4 0

+ 92

+ 50

+ 50

1 2 4

1 0 2 0

1 1 3 1

1 1 3 1

1 0 2 0

1 0 3 4

6 0 0

2 2 7 5

5 4 6 0

2 2 7 5

9 1 0

6 0 0

検印

工事名称

令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事

日付

図面名

平面図

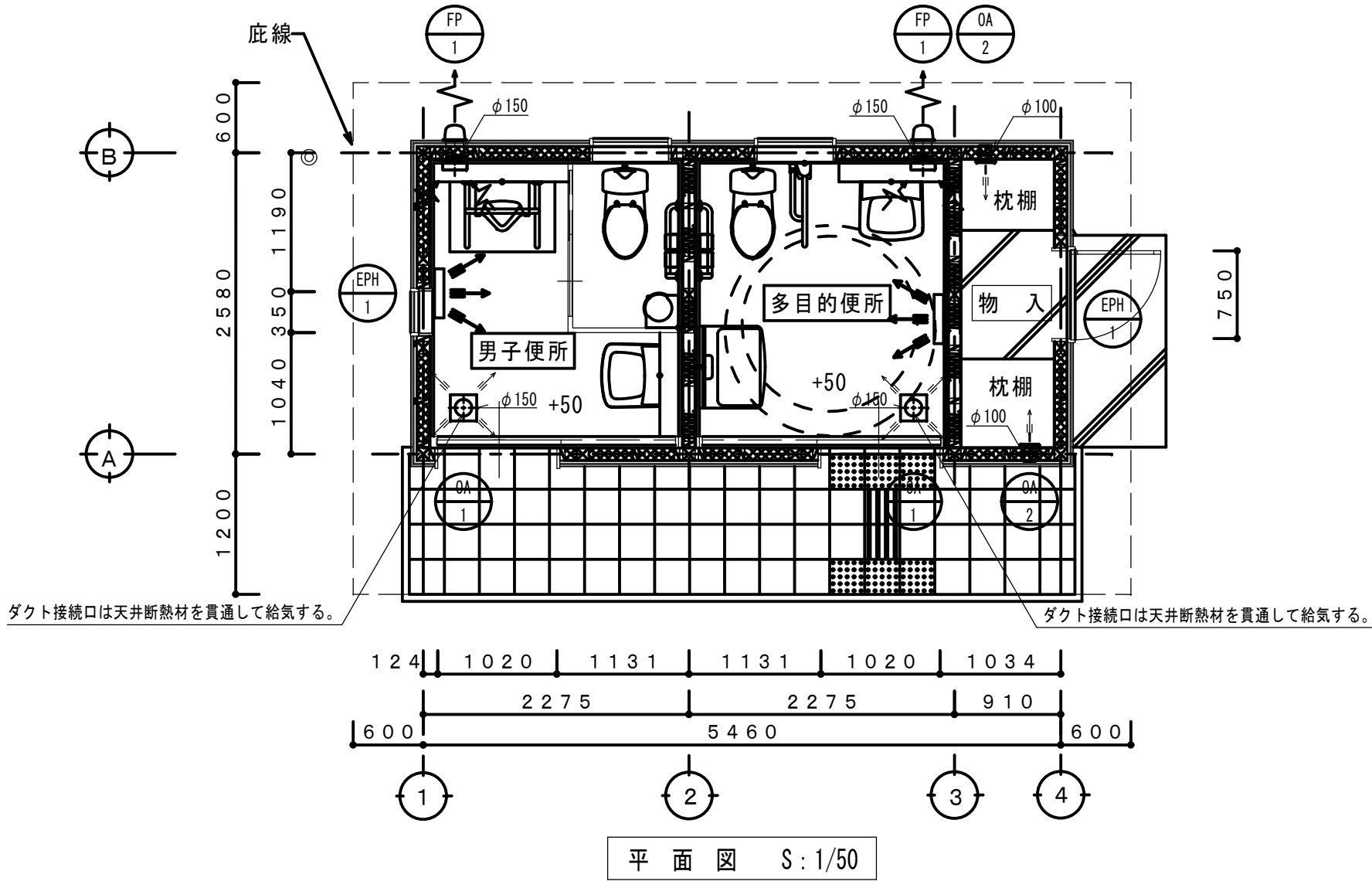
縮尺 A1:1:20

No.

M-04

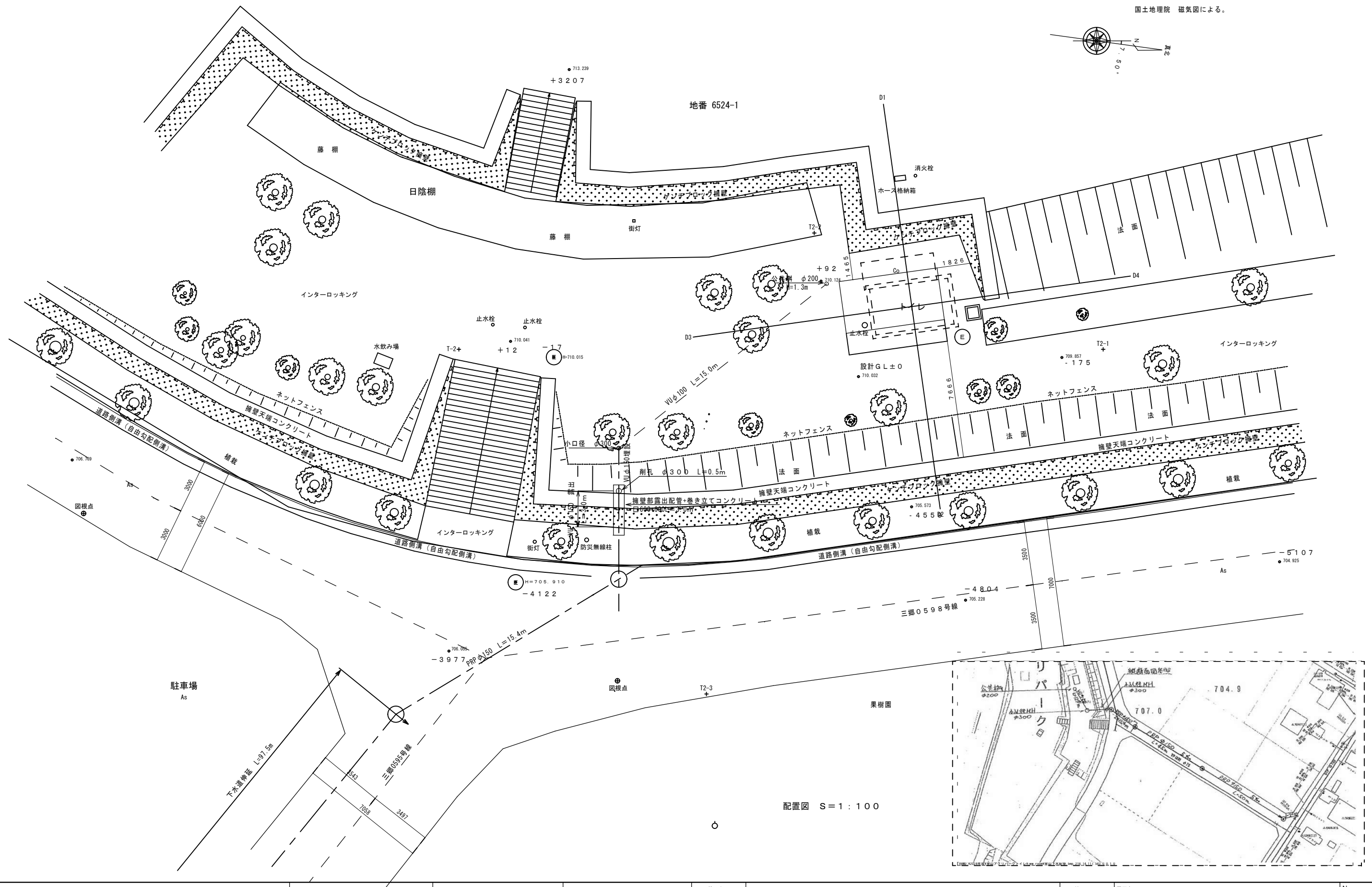
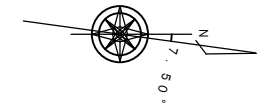
換気・暖房機器表

記 号	名 称	設 置 場 所	仕 様	電 気 (60Hz)			台数	品 番 (参考)	備 考
				相	電 圧	消費電力			
				φ	V	W			
EPH-1	パネルヒーター	男子便所	縦型 デジタル式サーモスタット内蔵	1φ	100	500	2	インターセントラル	
		多目的便所	最大放熱量：1,800kJ/h 430kcal/h					型番：TPN-0501A	
FP-1	パイプファン	男子便所	角形格子グリル 人感センサータイプ	1φ	100	6.7	2	三菱	
		多目的便所	風量：145m3/h ダクト接続パイプ径：φ150					品番：V-12PAS ₈	
			深形フード ステンレス製 ギャラリ付					品番：P-18VS ₄	
OA-1	給(排)気グリル	男子便所	ネットフィルター付 風量調節機構付	—	—	—	2	三菱	
		多目的便所	ダクト接続径：φ150					品番：P-18GLF ₆	
OA-2	給(排)気グリル	物 入	ネットフィルター付 風量調節機構付	—	—	—	2	三菱	
			ダクト接続径：φ100					品番：P-13GLF ₆	

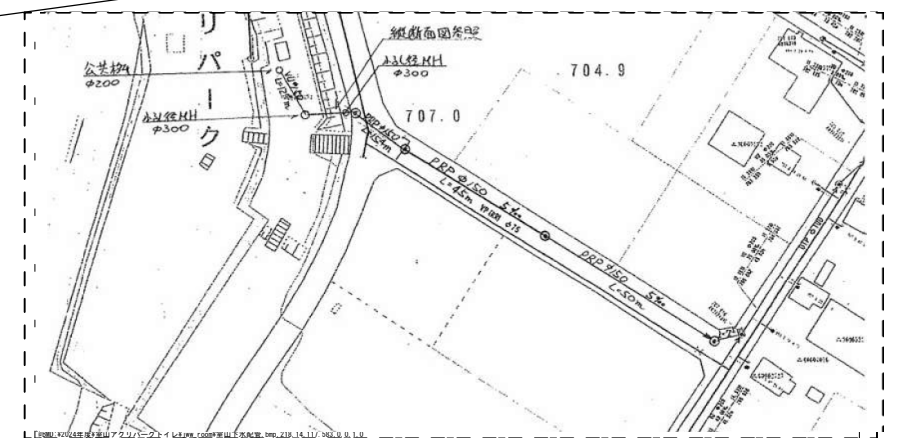


室山アグリパーク

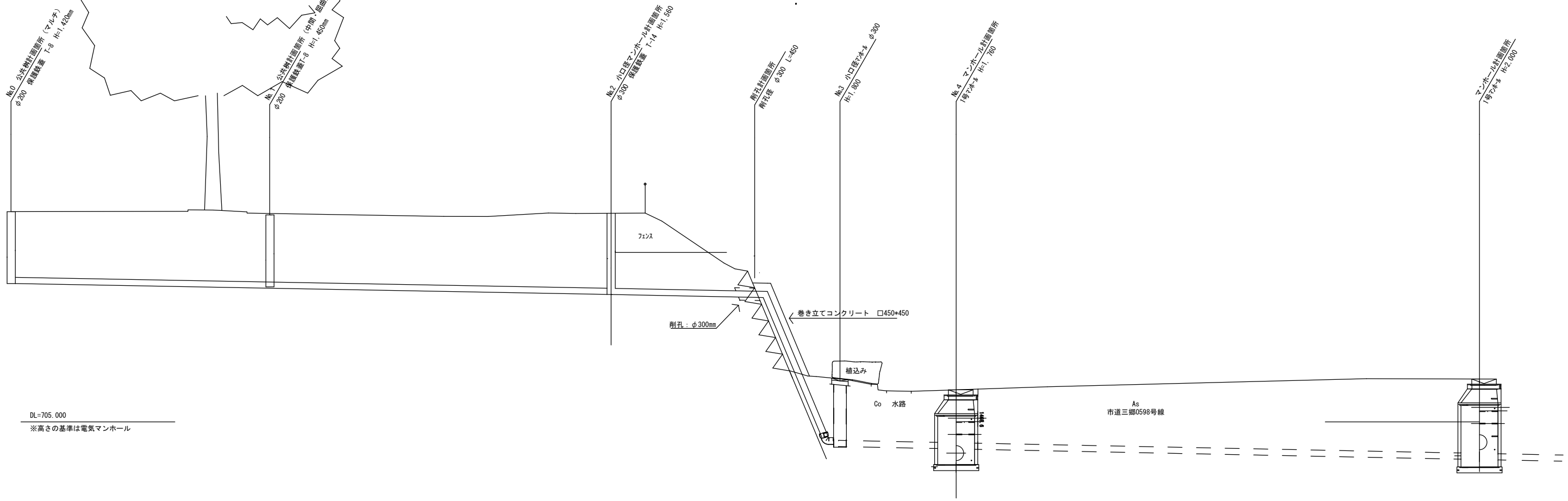
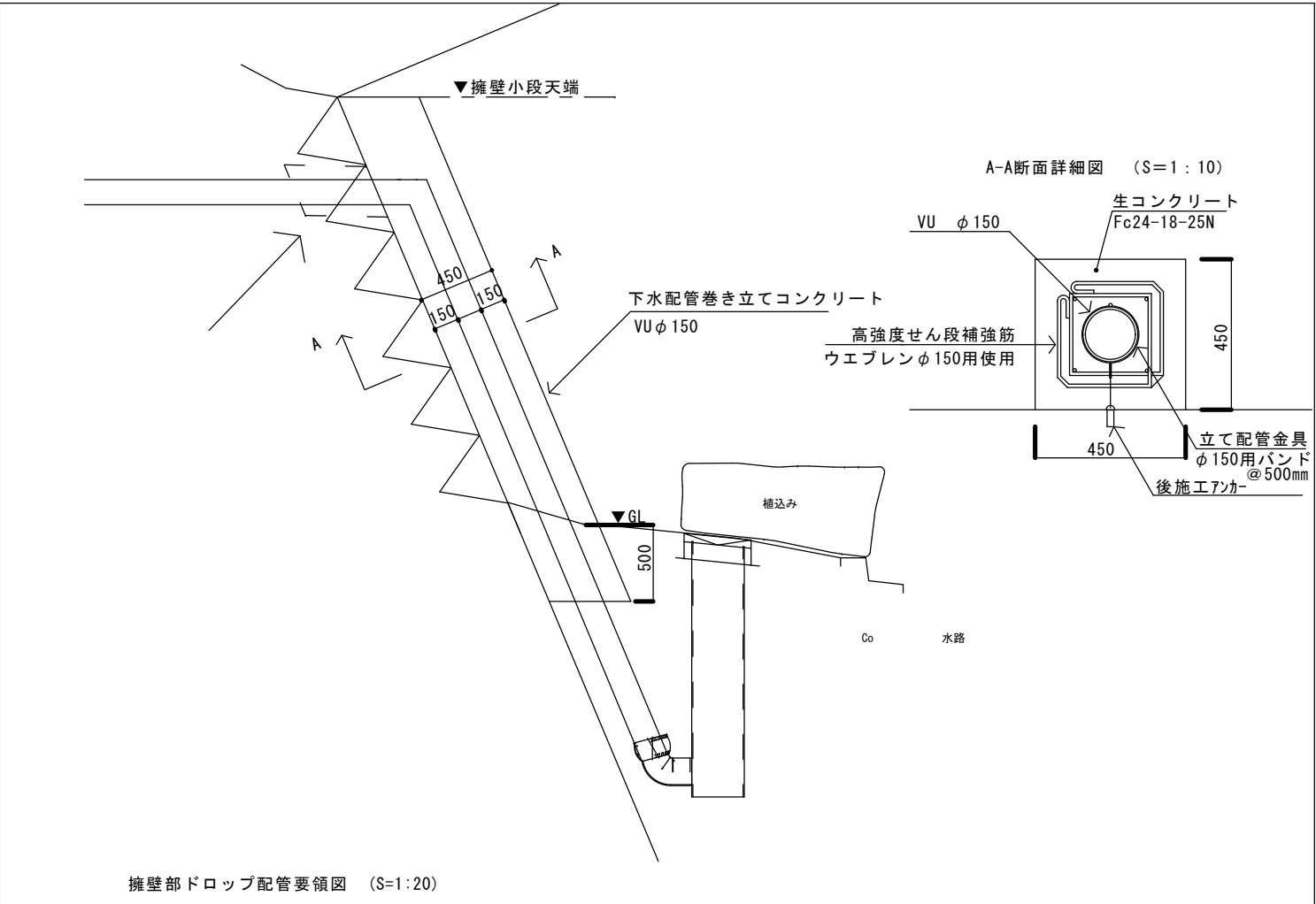
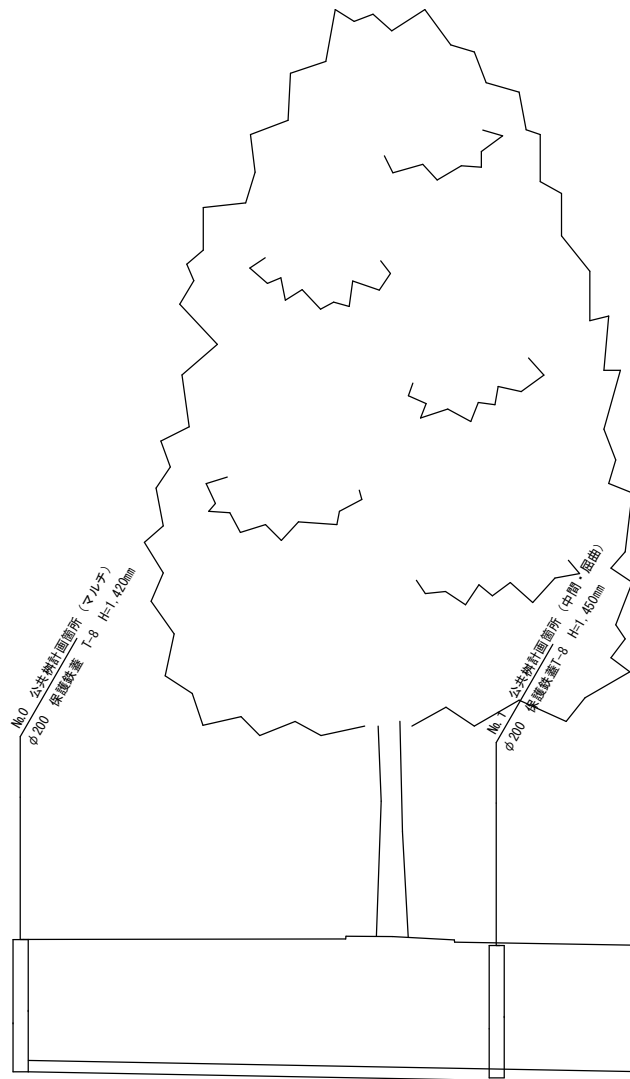
国土地理院 磁気図による。



配置図 S = 1 : 100



断面図 室山アグリパーク S=1:50



縮尺 1 : 20

小口径マンホール構造参考図_{S=1:10}

内径 300

防護蓋 T25 or T14
(標準型)

150

$L=H-(h+150)$

400

台座

立上り管 VU300

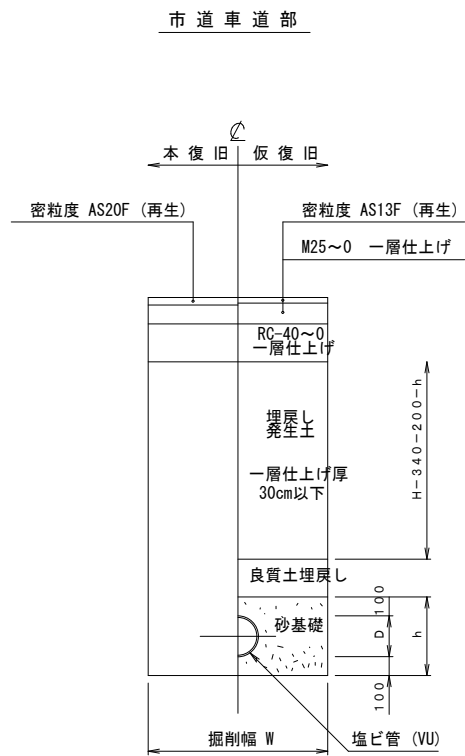
本管用自在継手
(回転式)

150-300 or 200-300
(ST. 15L~90L)

[illegible]

本管土工・舗装復旧標準図

S=1:20

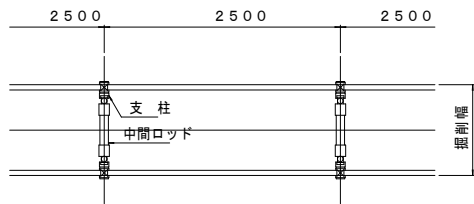


土留め工標準図

S=1:40

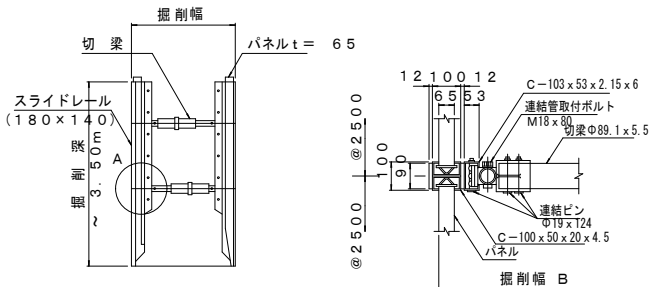
たて込み簡易土留（軽量型）
本管掘削深さ ≤ 3.50m

平面図



断面図

スライドレール A 詳細図



掘削幅選定表

適用最大掘削深 (m)	矢板規格（深さ） (m)	BH機種 (m ³)	掘削幅 (mm)			
			φ150	φ200	φ250	φ300
H ≤ 3.0	2.0, 2.5, 3.0	0.28	900	950	1000	1050

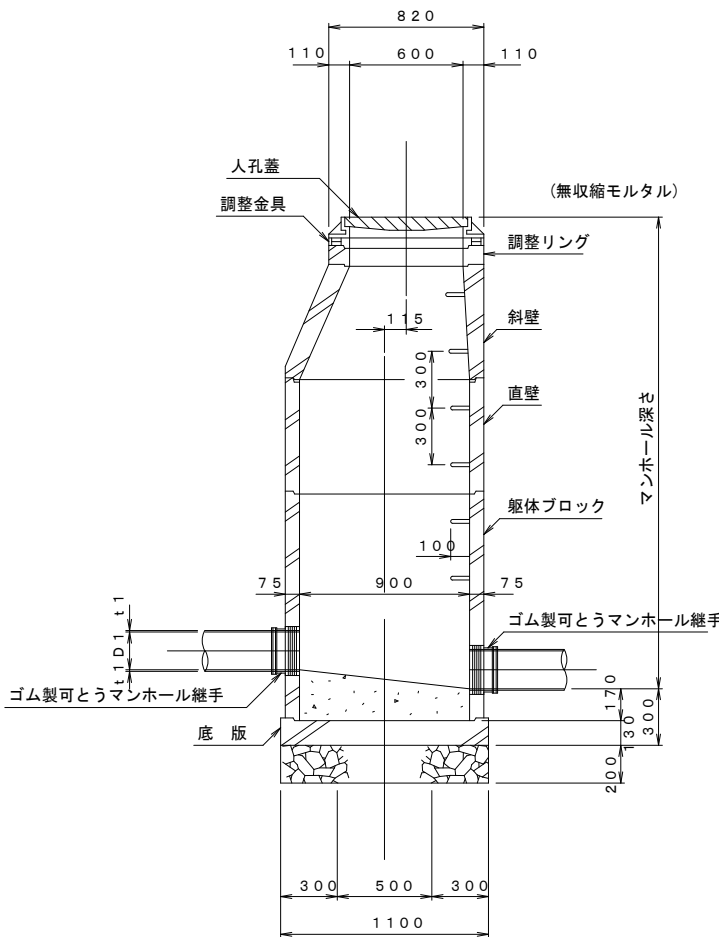
本管砕石基礎寸法表

本管径	管外径 D	h (mm)
φ200	216	416

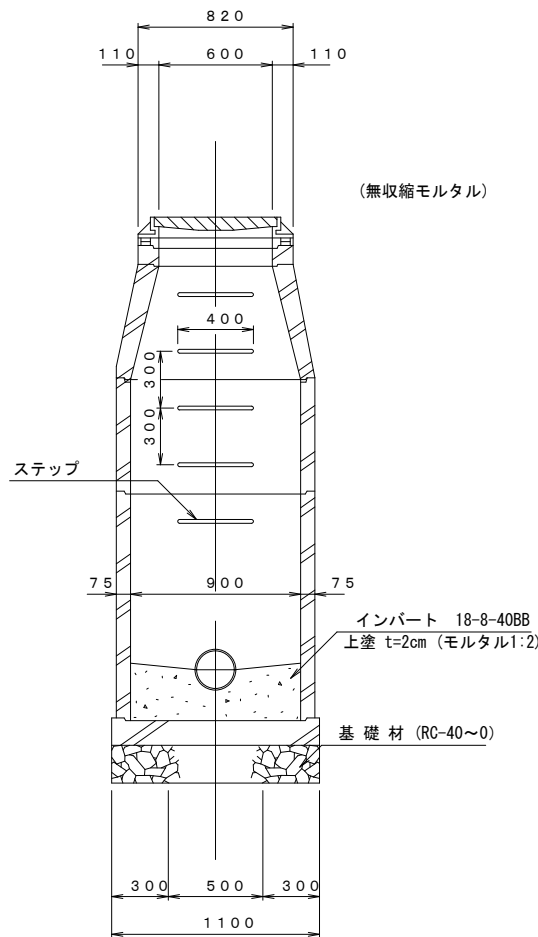
1号マンホール構造図

S=1:20

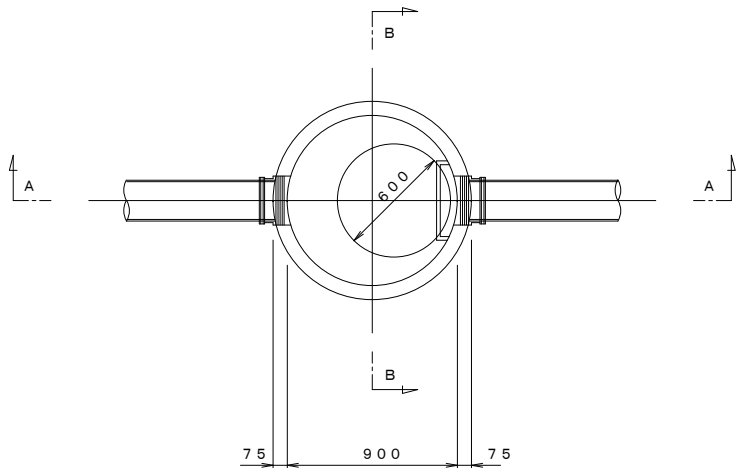
A-A断面図



B-B断面図



平面図



令和7年度 室山アグリパークトイレ改築工事					
番号	2 / 3	土留め・土工 1号マンホール構造図	縮尺	図 示	
安曇野市 三郷 小倉					
市長		課長	照査	設計	
安 曇 野 市					
設計会社			管理技術者		
			照査技術者		
測量会社			主任技術者		
調査会社			現場代理人		

検印

工事名称

令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事

日付

図面名 土留め・土工 1号マンホール構造図
縮尺 1:40 1:20

No.

M-09

縮尺 1 : 30

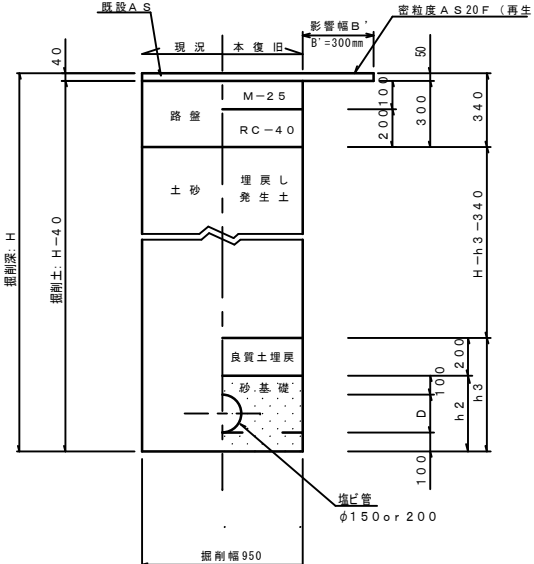
(建て込み簡易土留)

本 管 土 工 標 準 図

本管土工・舗装復旧標準図 S=1:20

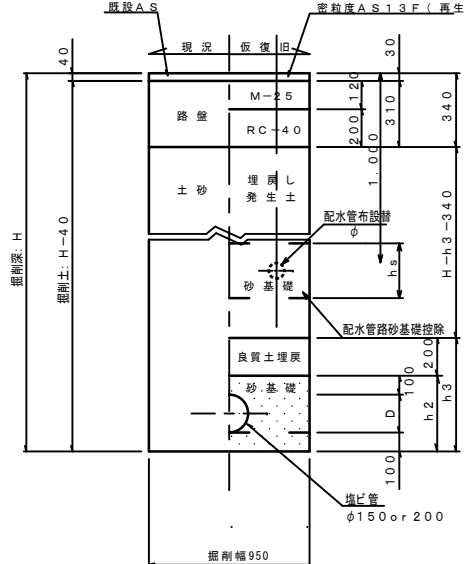
市道A s 舖裝

(本復旧)



市道A s 舖裝

(仮復旧)



配水管布設替寸法

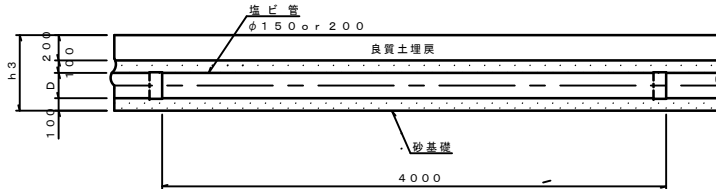
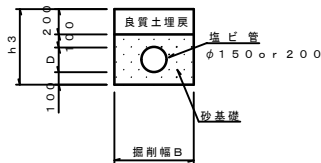
配水管口径	h s
φ13~25	25
φ30~50	30
φ75~100	35
φ150	37

管渠基礎構造図

S = 1 : 3 6

砂 基 礎

縱断面図



掘削幅寸法表(塩ビ管)

BH	掘削深	寸法表	
		B(mm)	
		φ150	φ200
0.20m ¹	~3.00m	900	950
0.35m ²	3.01m~3.50m	1000	1000
	3.51m~4.00m	1050	1050
0.60m ³	4.01m~5.00m	—	1200
	5.01m ⁴ (ダブルリール別途)	—	—

本管砂基礎十良質土埋戻寸法表(塩ビ管)

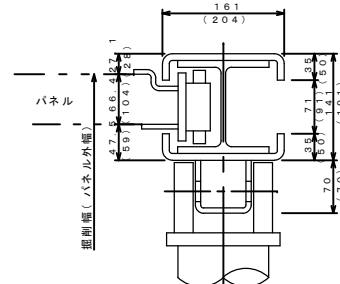
本 管 径	管 外 径 D	h 2	h 3
φ 1 5 0	1 6 5	3 6 5	5 6 5
φ 2 0 0	2 1 6	4 1 6	6 1 6

寸 法 表 (参 考)

種 別 (H)	適 用	パネル高 (1 ~ 3)			切梁位置 (H 1 ~ H 5)					据附幅 V U ϕ 20
		1	2	3	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	
2.00	1.51 ≤ h ≤ 2.00	0.500	-	1.500	0.200	0.750	-	1.050	-	0.950
2.50	2.01 ≤ h ≤ 2.50	0.500	1.000	1.000	0.200	1.000	-	1.300	-	0.950
3.00	2.51 ≤ h ≤ 3.00	0.500	1.000	1.500	0.300	1.000	0.950	0.750	-	0.950
3.50	3.01 ≤ h ≤ 3.50	1.000	1.000	1.500	0.350	1.000	1.050	1.100	-	1.000
4.00	3.51 ≤ h ≤ 4.00	2.000	-	2.000	0.200	1.250	1.250	1.300	-	1.050
4.50	4.01 ≤ h ≤ 4.50	0.500	2.000	2.000	0.200	1000	1.000	1.000	1.300	1.200

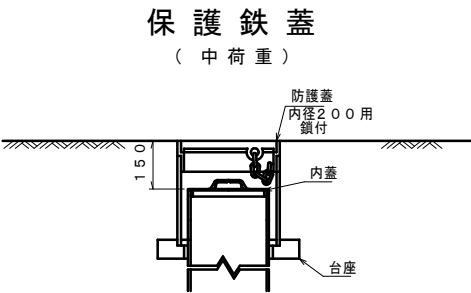
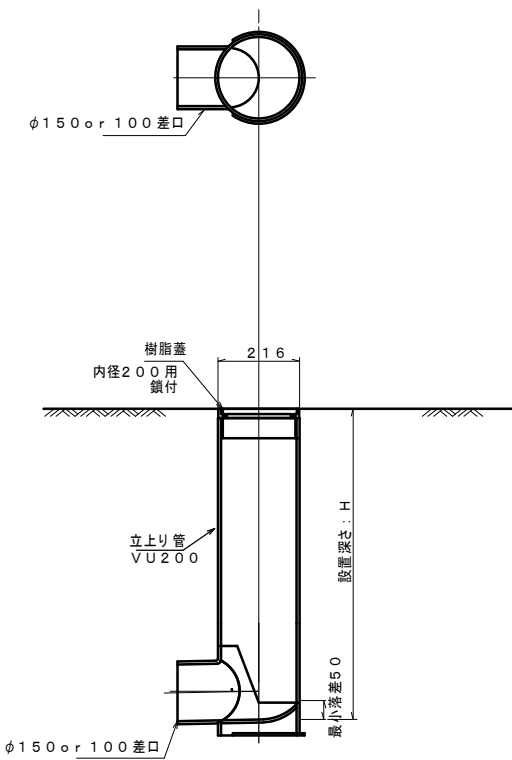
スライドレール断面詳細図

※()内は、H4.0m以上



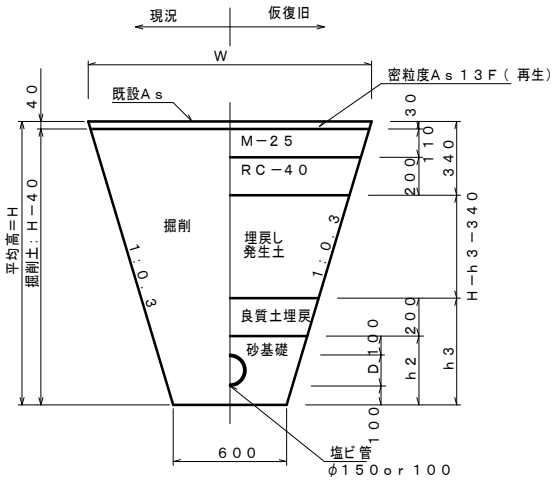
令和 6 年度	室山トイレ改築工事		工事
番号	／	本管土工標準図 土留工参考図	縮尺 図 示
安曇野市 三郷 小倉			
部長	課長	監査	設計
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

流入受口取付型公共マス参考図 S = 1 : 1 0

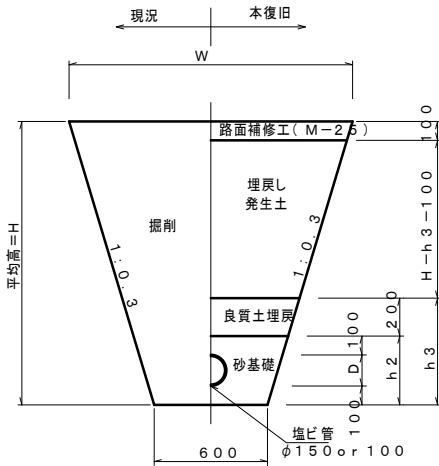


土工図 S = 1 : 2 0

市道As舗装



砂利道



取付管砂基礎+良質土埋戻寸法表(塩ビ管)

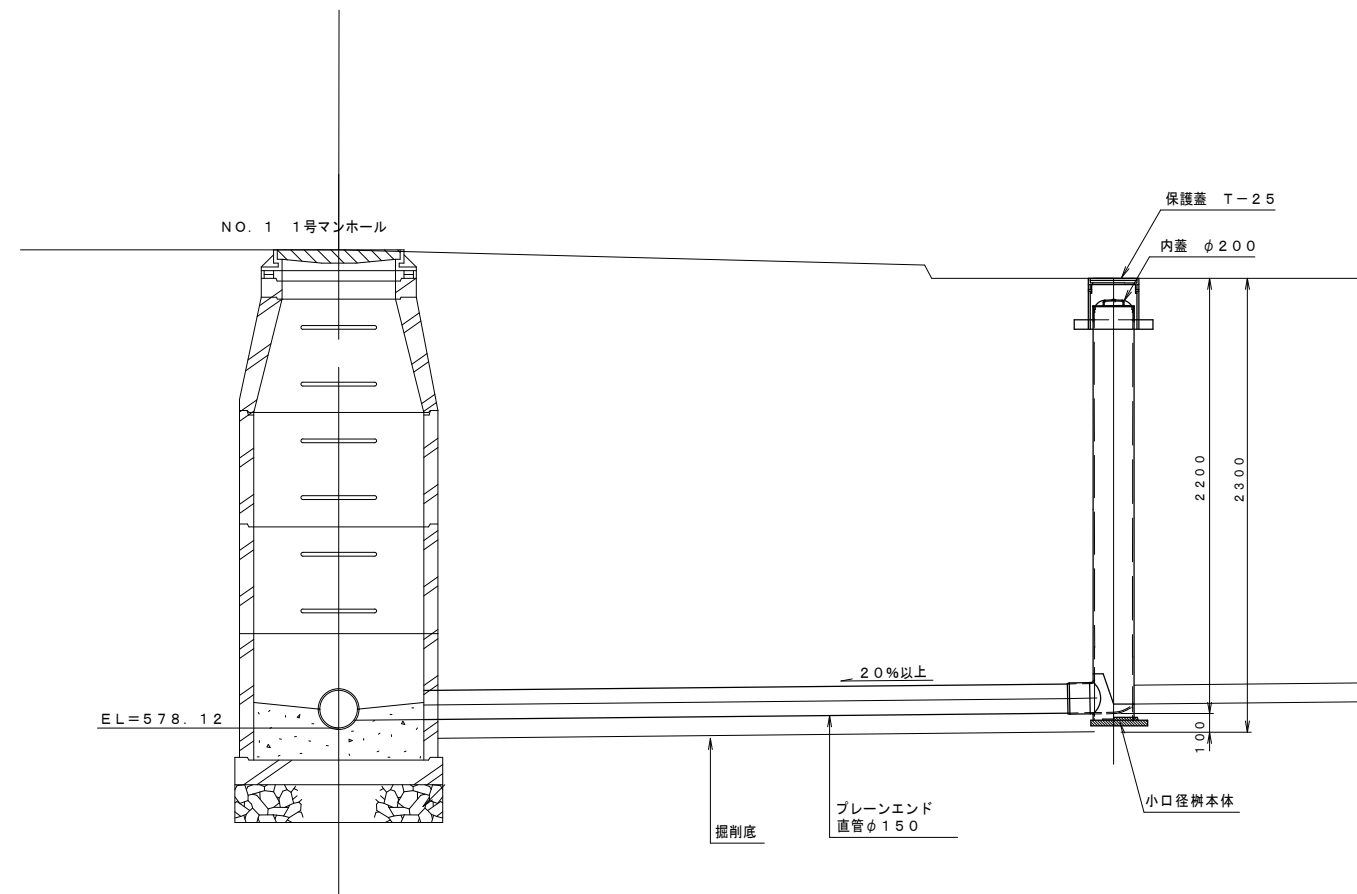
取付管径	管外径D	h 2	h 3
φ150	165	365	565
φ100	114	314	514

S=1 : 5

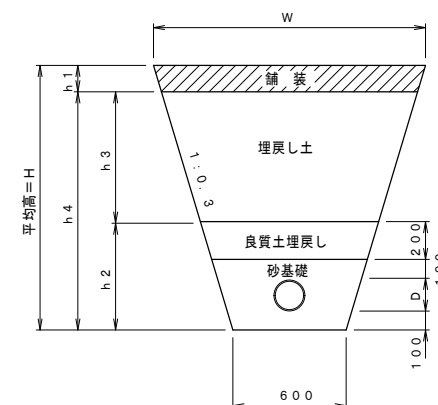
Technical drawing of a mechanical part, showing a cross-section with dimensions: 252, 242, 10, 300, and 165.

[illegible]

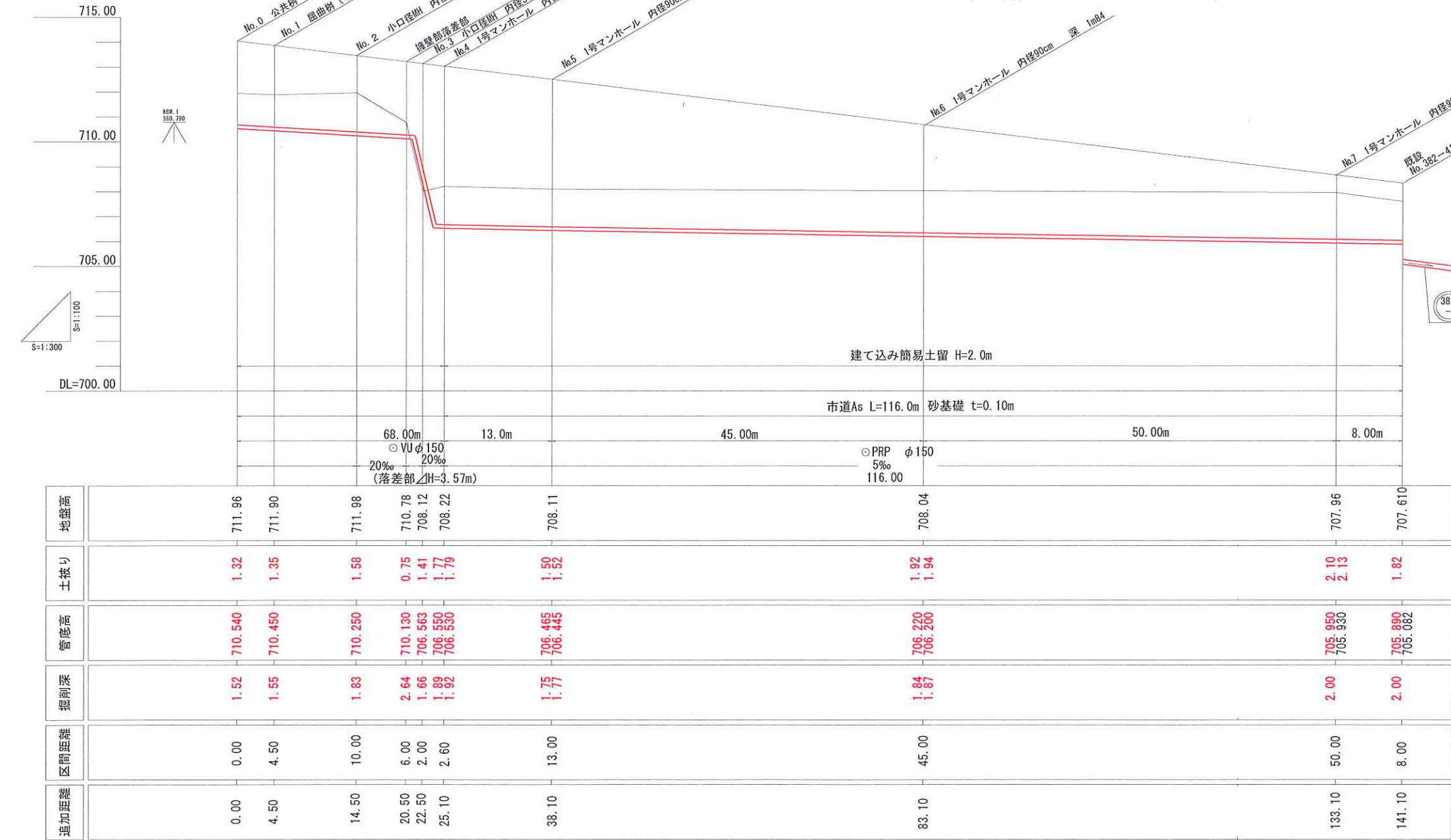
S=1 : 20



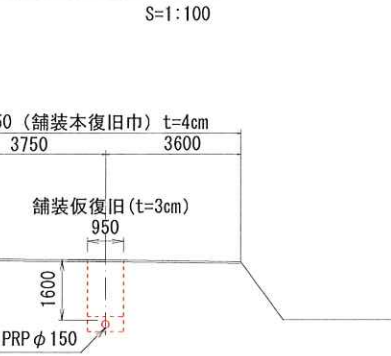
S=1 : 20

[illegible]

縦断図



横断図



凡例

○	橋脚組立マンホール
○	0号マンホール
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	塩ビ製小口径マンホール
○	小型レジンマンホール
○	塩ビ製小口径樹

公共汚水樹設置記入凡例 (m)	
H=	公共樹深さ
L=	取付長
縦断面図上段	地権者名
縦断面図下段	本管上取付管底高

路線番号

令和7年度 室山アグリパーク便所改築工事			
第1/3	平面・縦断面図	図示	
安曇野市 三郷 小倉			
市長	副市長	議員	議員
安曇野市			
設計会社	管理技術者	調査技術者	
測量会社	主任技術者		
経費会社	現場代理人		